目　次

目　次

1　はじめに

はじめに

東京１２チャンネル(現･テレビ東京)にて「なつかしの歌声」、日本テレビ系列にて「帰ってきた歌謡曲」といったなつメロ番組がテレビで毎週放送されていた昭和４０年代当時、ラジオでも「なつメロ大行進」(ニッポン放送)、「芥川隆行の歌謡日本史」(文化放送)、「わが青春の歌」(ラジオ関東（現・アール・エフ・ラジオ日本)）などのなつメロ番組が放送されていた。

その中でもコアななつメロファンに愛好されていたラジオ番組が「この歌あの人」である。全国のコアななつメロファンが集う「なつメロ愛好会」の会報に、司会を務めていた宇井昇が番組のことを複数回寄稿している他、聴取者からの感想も寄せられていた。ゲストに毎回様々な関係者を呼んで話を聞きながらオリジナルのＳＰレコードを流すという番組のスタイルが共感を呼んだからであろう。

同番組となつメロ愛好会との関係性は深く、宇井昇が会報に寄稿していたという事実の他にも、会長の福田俊二がゲスト出演（第６９回～７０回、第１２８回～１２９回、第１７９回）したり、番組の中で全国大会の開催が宣伝（第３５６回）されたこともあった。筆者自身なつメロ愛好会に所属しているが、同番組を聴取していた時の思い出を懐かしく聞かせてくれた会員の方も複数いらっしゃった。

また、「戦後の“なつメロ・ブーム”の引き金役」「“なつメロ”番組の第一号」と紹介されることもあった。番組終了５か月後の昭和５２年９月３日付読売新聞朝刊の都民版にレコード誕生１００年にちなんだ記事が掲載されているが、以下のように紹介されている。

> 戦後の“なつメロ・ブーム”の引き金役となったのは、ラジオ関東が、さる四十三年十月から放送を始めた三十分番組「この歌あの人」(週一回)。テレビの全盛時代に入り、斜陽化巻き返しのため、ヤング志向に走っていたラジオ界の中で、この番組だけは中年以上の聴取者をねらった。昭和十年代の流行歌を、ＬＰではなく、七十八回転のＳＰ盤で流し、曲の合間に、スタジオに読んだ作詞家や作曲家に、曲が生まれるまでの裏話や、当時の世相を語ってもらう趣向だったが、この企画は大ヒット、毎週百通を超えるファンレターがくるほどの人気を呼び、七年間(筆者注:実際は九年間)続いた。

同じく昭和５２年１０月２２日付読売新聞朝刊の都民版においても、宇井昇のことが以下のように紹介されている。

> 宇井さんは、“なつメロ”番組の第一号として、ラジオ関東が、さる四十三年十月から放送を開始した「この歌あの人」(週一回）の司会者。この番組をきっかけに、“なつメロ・ブーム”が起き、全国各地に愛好会ができたが、(以下後略)

このように、昭和４０年代のなつメロブームの一翼を担ったと言える当番組の実態を記録として残すことは、当該なつメロブームを考察する上で十分な意義があると思われる。

調査方法は、主として放送期間中の各新聞のラジオ欄の記述を元にした。特に中部日本放送のお膝元の中日新聞と、近畿放送（現・京都放送）のお膝元の京都新聞に放送内容が数多く紹介されており、「３　放送記録」の情報の９割以上が両紙面によるところとなった。

また、番組の企画構成を初回から最終回まで務めた木村孝雄が制作した『〔受難の世代〕に捧ぐる　あゝ愛おしの青春歌　東海林太郎・上原敏　名作選』というＬＰに第２７４回までの放送リストが同封されており、こちらも大いに役立った。このＬＰについては１３５～１３７ページで解説しているが、同封物が複雑なため、前もってここで紹介しておきたい。

①歌詞カード及び曲目解説（Ａ面（東海林太郎篇）とＢ面（上原敏篇）とで両面印刷）
②当該ＬＰの予約申込書（関係者からの推薦文等も満載）
③第２７４回までの放送リスト
④『わが想い出と歌ごころを語る　不滅の名歌手　東海林太郎』カセットテープの頒布予約案内（シンポ工業株式会社取締役社長の中溝二郎による「ごあいさつ」及び同社広告宣伝課長の木村孝雄による「内容紹介」付き）

以上４点が同封物であるが、以降本誌で上記の同封物に言及する際は、「木村孝雄自費制作ＬＰ同封③」といった形で記述することとしたい。このＬＰ自体は筆者が以前ネットオークションで落札し所蔵しているが、同封物は①と②のみであった。これに対し、Ａ氏が所有している同じＬＰには、①と②に加え③と④も同封されていたことから、本誌作成時に大いに参照した。なお、③と④は一枚の紙に両面印刷されている。



木村孝雄自費制作ＬＰ同封③（Ａ氏所蔵）

２　地域別放送日時リスト

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
1	上原敏	S43. 11. 10(日)	16:30～17:00	S43. 12. 03(火)	22:00～22:30			S43. 11. 28(木)	20:00～20:30
2	上原敏	S43. 11. 17(日)	17:00～17:30	S43. 12. 10(火)	22:00～22:30			S43. 12. 05(木)	20:00～20:30
3	ディック・ミネ	S43. 11. 24(日)	17:00～17:30	S43. 12. 17(火)	22:00～22:30			S43. 12. 12(木)	20:00～20:30
4	ディック・ミネ	S43. 12. 01(日)	17:00～17:30	S43. 12. 24(火)	22:00～22:30			S43. 12. 19(木)	20:00～20:30
5	渡辺はま子	S43. 12. 08(日)	17:00～17:30	S43. 12. 31(火)	22:00～22:30			S43. 12. 26(木)	20:00～20:30
6	渡辺はま子	S43. 12. 15(日)	17:00～17:30	S44. 01. 07(火)	22:00～22:30			S44. 01. 02(木)	20:00～20:30
7	灰田勝彦	S43. 12. 22(日)	17:00～17:30	S44. 01. 14(火)	22:00～22:30			S44. 01. 09(木)	20:00～20:30
8	灰田勝彦	S43. 12. 29(日)	17:00～17:30	S44. 01. 21(火)	22:00～22:30			S44. 01. 16(木)	20:00～20:30
9	東海林太郎	S44. 01. 05(日)	17:00～17:30	S44. 01. 28(火)	22:00～22:30			S44. 01. 23(木)	20:00～20:30
10	東海林太郎	S44. 01. 12(日)	17:00～17:30	S44. 02. 04(火)	22:00～22:30			S44. 01. 30(木)	20:00～20:30
11	霧島昇	S44. 01. 19(日)	17:00～17:30	S44. 02. 11(火)	22:00～22:30			S44. 02. 06(木)	20:00～20:30
12	霧島昇	S44. 01. 26(日)	17:00～17:30	S44. 02. 18(火)	22:00～22:30			S44. 02. 13(木)	20:00～20:30
13	淡谷のり子	S44. 02. 02(日)	17:00～17:30	S44. 02. 25(火)	22:00～22:30			S44. 02. 20(木)	20:00～20:30
14	淡谷のり子	S44. 02. 09(日)	17:00～17:30	S44. 03. 04(火)	22:00～22:30			S44. 02. 27(木)	20:00～20:30
15	二葉あき子	S44. 02. 16(日)	17:00～17:30	S44. 03. 11(火)	22:00～22:30			S44. 03. 06(木)	20:00～20:30
16	二葉あき子	S44. 02. 23(日)	17:00～17:30	S44. 03. 18(火)	22:00～22:30			S44. 03. 13(木)	20:00～20:30
17	田端義夫	S44. 03. 02(日)	17:00～17:30	S44. 03. 25(火)	22:00～22:30			S44. 03. 23(日)	19:00～19:30
18	田端義夫	S44. 03. 09(日)	17:00～17:30	S44. 04. 01(火)	22:00～22:30			S44. 03. 27(木)	20:00～20:30
19	榎本健一	S44. 03. 16(日)	17:00～17:30	S44. 04. 08(火)	22:00～22:30			S44. 04. 03(木)	20:00～20:30
20	榎本健一	S44. 03. 23(日)	17:00～17:30	S44. 04. 15(火)	22:00～22:30			S44. 04. 10(木)	20:00～20:30
21	小畑実	S44. 03. 30(日)	17:00～17:30	S44. 04. 22(火)	22:00～22:30			S44. 04. 14(月)	19:30～20:00
22	小畑実	S44. 04. 06(日)	17:00～17:30	S44. 04. 29(火)	22:00～22:30			S44. 04. 21(月)	19:30～20:00
23	小唄勝太郎	S44. 04. 13(日)	17:00～17:30	S44. 05. 06(火)	22:00～22:30			S44. 04. 28(月)	19:30～20:00
24	小唄勝太郎	S44. 04. 20(日)	17:00～17:30	S44. 05. 13(火)	22:00～22:30			S44. 05. 05(月)	19:30～20:00
25	藤山一郎	S44. 04. 27(日)	17:00～17:30	S44. 05. 20(火)	22:00～22:30			S44. 05. 12(月)	19:30～20:00

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
26	藤山一郎	S44.05.04(日)	17:00～17:30	S44.05.27(火)	22:00～22:30			S44.05.19(月)	19:30～20:00
27	伊藤久男	S44.05.11(日)	17:00～17:30	S44.06.03(火)	22:00～22:30			S44.05.26(月)	19:30～20:00
28	伊藤久男	S44.05.18(日)	17:00～17:30	S44.06.10(火)	22:00～22:30			S44.06.02(月)	19:30～20:00
29	岡本敦郎	S44.05.25(日)	17:00～17:30	S44.06.17(火)	22:00～22:30			S44.06.09(月)	19:30～20:00
30	岡本敦郎	S44.06.01(日)	17:00～17:30	S44.06.24(火)	22:00～22:30			S44.06.16(月)	19:30～20:00
31	高峰三枝子	S44.06.08(日)	17:00～17:30	S44.07.01(火)	22:00～22:30			S44.06.23(月)	19:30～20:00
32	高峰三枝子	S44.06.15(日)	17:00～17:30	S44.07.08(火)	22:00～22:30			S44.06.30(月)	19:30～20:00
33	岡晴夫	S44.06.22(日)	17:00～17:30	S44.09.09(火)	22:00～22:30			S44.09.08(月)	19:30～20:00
34	岡晴夫	S44.06.29(日)	17:00～17:27	S44.09.16(火)	22:00～22:30			S44.09.15(月)	19:30～20:00
35	東海林太郎	S44.07.06(日)	17:00～17:30	S44.09.23(火)	22:00～22:30			S44.07.07(月)	19:30～20:00
36	阿部武雄	S44.07.13(日)	17:00～17:27	S44.07.15(火)	22:00～22:30			S44.07.14(月)	19:30～20:00
37	阿部武雄	S44.07.20(日)	17:00～17:30	S44.07.22(火)	22:00～22:30			S44.07.21(月)	19:30～20:00
38	中山晋平	S44.07.27(日)	17:00～17:30	S44.07.29(火)	22:00～22:30			S44.07.28(月)	19:30～20:00
39	中山晋平	S44.08.03(日)	17:00～17:27	S44.08.05(火)	22:00～22:30			S44.08.04(月)	19:30～20:00
40	菅原都々子	S44.08.10(日)	17:00～17:30	S44.08.12(火)	22:00～22:30			S44.08.11(月)	19:30～20:00
41	徳山璉	S44.08.17(日)	17:00～17:30	S44.08.19(火)	22:00～22:30			S44.08.18(月)	19:30～20:00
42	物故歌手特集	S44.08.24(日)	17:00～17:30	S44.08.26(火)	22:00～22:30			S44.08.25(月)	19:30～20:00
43	菅原都々子	S44.08.31(日)	17:00～17:30	S44.09.02(火)	22:00～22:30			S44.09.01(月)	19:30～20:00
44	東海林太郎	S44.09.07(日)	17:00～17:30	S44.09.30(火)	22:00～22:30			S44.09.22(月)	19:30～20:00
45	近江俊郎	S44.09.14(日)	17:00～17:30	S44.10.07(火)	22:00～22:30			S44.09.29(月)	19:30～20:00
46	近江俊郎	S44.09.21(日)	17:00～17:30	S44.10.14(火)	22:00～22:30			S44.10.07(火)	19:30～20:00
47	松平晃	S44.09.28(日)	17:00～17:30	S44.10.21(火)	22:00～22:30			S44.10.14(火)	19:30～20:00
48	松平晃	S44.10.05(日)	17:00～17:30	S44.10.28(火)	22:00～22:30			S44.10.21(火)	19:30～20:00
49	楠木繁夫	S44.10.12(日)	17:00～17:30	S44.11.04(火)	21:00～21:30			S44.10.28(火)	19:30～20:00
50	一周年記念リクエスト	S44.10.19(日)	17:00～17:30	S44.11.11(火)	21:00～21:30			S44.11.04(火)	19:30～20:00

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
51	一周年記念リクエスト	S44.10.26(日)	17:00〜17:30	S44.11.18(火)	21:00〜21:30			S44.11.11(火)	19:30〜20:00
52	藤田まさと	S44.11.02(日)	17:00〜17:30	S44.11.25(火)	21:00〜21:30	S44.11.30(日)	21:30〜22:00	S44.11.18(火)	19:30〜20:00
53	藤田まさと	S44.11.09(日)	17:00〜17:30	S44.12.02(火)	21:00〜21:30	S44.12.07(日)	21:30〜22:00	S44.11.25(火)	19:30〜20:00
54	藤田まさと	S44.11.16(日)	17:00〜17:30	S44.12.09(火)	21:00〜21:30	S44.12.14(日)	21:30〜22:00	S44.12.02(火)	19:30〜20:00
55	音丸	S44.11.23(日)	17:00〜17:30	S44.12.16(火)	21:00〜21:30	S44.12.21(日) S45.01.04(日) S45.02.15(日)	21:30〜22:00 21:30〜22:00 21:30〜22:00	S44.12.09(火)	19:30〜20:00
56	島田磬也	S44.11.30(日)	17:00〜17:30	S45.02.03(火)	21:00〜21:30	S44.12.28(日) S45.01.25(日)	21:30〜22:00 21:30〜22:00	S44.12.16(火)	19:30〜20:00
57	島田磬也	S44.12.07(日)	17:00〜17:30	S45.02.10(火)	21:00〜21:30	S45.02.01(日)	21:30〜22:00	S44.12.23(火)	19:30〜20:00
58	島田磬也	S44.12.14(日)	17:00〜17:30	S45.02.17(火)	21:00〜21:30	S45.02.08(日)	21:30〜22:00	S44.12.30(火)	19:30〜20:00
59	佐伯孝夫	S44.12.21(日)	17:00〜17:30	S44.12.23(火)	21:00〜21:30			S45.02.03(火)	19:30〜20:00
60	佐伯孝夫	S44.12.28(日)	17:00〜17:30	S44.12.30(火)	21:00〜21:30			S45.02.10(火)	19:30〜20:00
61	時雨音羽・服部良一・古関裕而	S45.01.04(日)	17:00〜17:30	S45.01.06(火)	21:00〜21:30			S45.01.06(火)	19:30〜20:00
62	榎本健一追悼	S45.01.11(日)	17:00〜17:30	S45.01.13(火)	21:00〜21:30			S45.01.13(火)	19:30〜20:00
63	時雨音羽・服部良一・古関裕而	S45.01.18(日)	17:00〜17:30	S45.01.20(火)	21:00〜21:30	S45.01.11(日)	21:30〜22:00	S45.01.20(火)	19:30〜20:00
64	時雨音羽・服部良一・古関裕而	S45.01.25(日)	17:00〜17:30	S45.01.27(火)	21:00〜21:30	S45.01.18(日)	21:30〜22:00	S45.01.27(火)	19:30〜20:00
65	菊池章子	S45.02.01(日)	17:00〜17:30	S45.05.19(火)	21:00〜21:30	S45.05.18(月)	20:30〜21:00		
66	菊池章子	S45.02.08(日)	17:00〜17:30						
67	田村しげる	S45.02.15(日)	17:00〜17:30	S45.02.24(火)	21:00〜21:30	S45.02.22(日)	21:30〜22:00	S45.02.17(火)	19:30〜20:00
68	田村しげる	S45.02.22(日)	17:00〜17:30	S45.03.03(火)	21:00〜21:30	S45.03.01(日)	21:30〜22:00	S45.02.24(火)	19:30〜20:00

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
69	青葉笙子	S45.03.01(日)	17:00〜17:30	S45.03.10(火)	21:00〜21:30	S45.03.08(日)	21:30〜22:00	S45.03.03(火)	19:30〜20:00
70	青葉笙子	S45.03.08(日)	17:00〜17:30	S45.03.17(火)	21:00〜21:30	S45.03.15(日)	21:30〜22:00	S45.03.10(火)	19:30〜20:00
71	上原げんと	S45.03.15(日)	17:00〜17:30	S45.03.24(火)	21:00〜21:30	S45.03.22(日)	21:30〜22:00	S45.03.17(火)	19:30〜20:00
72	上原げんと	S45.03.22(日)	17:00〜17:30	S45.03.31(火)	21:00〜21:30	S45.03.29(日)	21:30〜22:00	S45.03.24(火)	19:30〜20:00
73	軍歌特集	S45.03.29(日)	17:00〜17:30	S45.04.07(火)	21:00〜21:30	S45.04.05(日)	21:30〜22:00	S45.03.31(火)	19:30〜20:00
74	軍歌特集	S45.04.05(日)	17:00〜17:30	S45.04.14(火)	21:00〜21:30	S45.04.13(月)	20:30〜21:00	S45.04.07(火)	19:30〜20:00
75	林伊佐緒	S45.04.12(日)	17:00〜17:30	S45.04.21(火)	21:00〜21:30	S45.04.20(月)	20:30〜21:00	S45.04.13(月)	20:30〜21:00
76	林伊佐緒	S45.04.19(日)	17:00〜17:30	S45.04.28(火)	21:00〜21:30	S45.04.27(月)	20:30〜21:00	S45.04.20(月)	20:30〜21:00
77	中野忠晴	S45.04.26(日)	17:00〜17:30	S45.05.05(火)	21:00〜21:30	S45.05.04(月)	20:30〜21:00	S45.04.27(月)	20:30〜21:00
78	中野忠晴	S45.05.03(日)	17:00〜17:30	S45.05.12(火)	21:00〜21:30	S45.05.11(月)	20:30〜21:00	S45.05.04(月)	20:30〜21:00
79	江口夜詩	S45.05.10(日)	17:00〜17:30	S45.05.26(火)	21:00〜21:30	S45.05.25(月)	20:30〜21:00	S45.05.18(月)	20:30〜21:00
80	江口夜詩	S45.05.17(日)	17:00〜17:30	S45.06.02(火)	21:00〜21:30	S45.06.01(月)	20:30〜21:00	S45.05.25(月)	20:30〜21:00
81	岡晴夫追悼	S45.05.24(日)	17:00〜17:30						
82	江口夜詩	S45.05.31(日)	17:00〜17:30	S45.06.09(火)	21:00〜21:30	S45.06.08(月)	20:30〜21:00	S45.06.01(月)	20:30〜21:00
83	藤原義江	S45.06.07(日)	17:00〜17:30	S45.06.16(火)	21:00〜21:30	S45.06.15(月)	20:30〜21:00	S45.06.08(月)	20:30〜21:00
84	藤原義江	S45.06.14(日)	17:00〜17:30	S45.06.23(火)	21:00〜21:30	S45.06.29(月)	20:30〜21:00	S45.06.15(月)	20:30〜21:00
85	東海林太郎 1	S45.06.21(日)	17:00〜17:30	S45.06.30(火)	21:00〜21:30	S45.07.06(月)	20:30〜21:00	S45.06.22(月)	20:30〜21:00
86	東海林太郎 2	S45.06.28(日)	17:00〜17:30	S45.07.07(火)	21:00〜21:30	S45.07.13(月)	20:30〜21:00	S45.06.29(月)	20:30〜21:00
87	東海林太郎 3	S45.07.05(日)	17:00〜17:30	S45.07.14(火)	21:00〜21:30	S45.07.20(月)	20:30〜21:00	S45.07.12(日)	17:30〜18:00
88	東海林太郎 4	S45.07.12(日)	17:00〜17:30	S45.07.21(火)	21:00〜21:30	S45.07.27(月)	20:30〜21:00	S45.07.19(日)	17:30〜18:00
89	高橋掬太郎	S45.07.19(日)	17:00〜17:30	S45.07.28(火)	21:00〜21:30	S45.08.03(月)	20:30〜21:00	S45.07.20(月)	20:30〜21:00
90	女性歌手集	S45.07.26(日)	17:00〜17:30	S45.08.04(火)	21:00〜21:30	S45.08.10(月)	20:30〜21:00	S45.07.27(月)	20:30〜21:00
91	東海林太郎 5	S45.08.02(日)	17:00〜17:30	S45.08.11(火)	21:00〜21:30	S45.08.17(月)	20:30〜21:00	S45.08.03(月)	20:30〜21:00

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
92	東海林太郎6	S45.08.09(日)	17:00〜17:30	S45.08.18(火)	21:00〜21:30	S45.08.24(月)	20:30〜21:00	S45.08.16(日)	17:30〜18:00
93	美ち奴	S45.08.16(日)	17:00〜17:28	S45.08.25(火)	21:00〜21:30	S45.08.31(月)	20:30〜21:00	S45.08.17(月)	20:30〜21:00
94	美ち奴	S45.08.23(日)	17:00〜17:30	S45.09.01(火)	21:00〜21:30	S45.09.07(月)	20:30〜21:00	S45.08.30(日)	17:30〜18:00
95	上原敏1	S45.08.30(日)	17:00〜17:30	S45.09.08(火)	21:00〜21:30	S45.09.14(月)	20:30〜21:00	S45.08.31(月)	20:30〜21:00
96	上原敏2	S45.09.06(日)	17:00〜17:30	S45.09.15(火)	21:00〜21:30	S45.09.21(月)	20:30〜21:00	S45.09.07(月)	20:30〜21:00
97	上原敏3	S45.09.13(日)	17:00〜17:30	S45.09.22(火)	21:00〜21:30	S45.09.28(月)	20:30〜21:00	S45.09.14(月)	20:30〜21:00
98	上原敏4	S45.09.20(日)	17:00〜17:30	S45.09.29(火)	21:00〜21:30	S45.10.07(水)	20:30〜21:00	S45.09.21(月)	20:30〜21:00
99	100回記念リクエスト	S45.09.27(日)	17:00〜17:30	S45.10.06(火)	21:00〜21:30	S45.10.14(水)	20:30〜21:00	S45.09.28(月)	20:30〜21:00
100	100回記念リクエスト	S45.10.04(日)	17:00〜17:30	S45.10.13(火)	21:00〜21:30	S45.10.21(水)	20:30〜21:00	S45.10.06(火)	20:30〜21:00
101	100回記念リクエスト	S45.10.11(日)	17:00〜17:30	S45.10.20(火)	21:00〜21:30	S45.10.28(水)	20:30〜21:00	S45.10.13(火)	20:30〜21:00
102	上原敏5	S45.10.18(日)	17:00〜17:30	S45.10.27(火)	21:00〜21:30	S45.11.04(水)	20:30〜21:00	S45.10.20(火)	20:30〜21:00
103	上原敏6	S45.10.25(日)	17:00〜17:30	S45.11.03(火)	21:00〜21:30	S45.11.11(水)	20:30〜21:00	S45.10.27(火)	20:30〜21:00
104	サトウハチロー	S45.11.01(日)	17:00〜18:00	S45.11.10(火)	21:00〜21:30	S45.11.18(水)	20:30〜21:00	S45.11.03(火)	20:30〜21:00
105	サトウハチロー	S45.11.08(日)	17:00〜17:30	S45.11.17(火)	21:00〜21:30	S45.11.25(水)	20:30〜21:00	S45.11.10(火)	20:30〜21:00
106	松島詩子・細川潤一	S45.11.15(日)	17:00〜17:30	S45.11.24(火)	21:00〜21:30	S45.12.02(水)	20:30〜21:00	S45.11.17(火)	20:30〜21:00
107	松島詩子・細川潤一	S45.11.22(日)	17:00〜17:30	S45.12.01(火)	21:00〜21:30	S45.12.09(水)	20:30〜21:00	S45.11.24(火)	20:30〜21:00
108	松島詩子・細川潤一	S45.11.29(日)	17:00〜17:30	S45.12.08(火)	21:00〜21:30	S45.12.16(水)	20:30〜21:00	S45.12.01(火)	20:30〜21:00
109	古関裕而	S45.12.06(日)	17:00〜17:30	S45.12.15(火)	21:00〜21:30	S45.12.23(水)	20:30〜21:00	S45.12.08(火)	20:30〜21:00
110	古関裕而	S45.12.13(日)	17:00〜17:30	S45.12.22(火)	21:00〜21:30	S45.12.30(水)	20:30〜21:00	S45.12.17(木)	20:30〜21:00
111	古関裕而	S45.12.20(日)	17:00〜17:30	S45.12.29(火)	21:00〜21:30	S46.01.13(水)	20:30〜21:00	S45.12.22(火)	20:30〜21:00
112	服部良一・富子	S45.12.27(日)	17:00〜17:30	S46.01.05(火)	21:00〜21:30	S46.01.20(水)	20:30〜21:00	S45.12.29(火)	20:30〜21:00

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
113	服部良一・富子	S46.01.03(日)	17:00〜17:30	S46.01.12(火)	21:00〜21:30	S46.01.27(水)	20:30〜21:00	S46.01.05(火)	20:30〜21:00
114	服部良一・富子	S46.01.10(日)	17:00〜17:30	S46.01.19(火)	21:00〜21:30	S46.02.03(水)	20:30〜21:00	S46.01.12(火)	20:30〜21:00
115	レイモンド服部	S46.01.17(日)	17:00〜17:30	S46.01.26(火)	21:00〜21:30	S46.02.10(水)	20:30〜21:00	S46.01.19(火)	20:30〜21:00
116	レイモンド服部	S46.01.24(日)	17:00〜17:30	S46.02.02(火)	21:00〜21:30	S46.02.17(水)	20:30〜21:00	S46.01.26(火)	20:30〜21:00
117	レイモンド服部	S46.01.31(日)	17:00〜17:30	S46.02.09(火)	21:00〜21:30			S46.02.02(火)	20:30〜21:00
118	清水みのる	S46.02.07(日)	17:00〜17:30	S46.02.16(火)	21:00〜21:30	S46.02.24(水)	20:30〜21:00	S46.02.09(火)	20:30〜21:00
119	清水みのる	S46.02.14(日)	17:00〜17:30	S46.02.23(火)	21:00〜21:30	S46.03.03(水)	20:30〜21:00	S46.02.16(火)	20:30〜21:00
120	奥田良三	S46.02.21(日)	17:00〜17:30	S46.03.02(火)	21:00〜21:30	S46.03.10(水)	20:30〜21:00	S46.02.23(火)	20:30〜21:00
121	奥田良三	S46.02.28(日)	17:00〜17:30	S46.03.09(火)	21:00〜21:30	S46.03.17(水)	20:30〜21:00	S46.03.02(火)	20:30〜21:00
122	竹岡信幸	S46.03.07(日)	17:00〜17:30	S46.03.16(火)	21:00〜21:30	S46.03.24(水)	20:30〜21:00	S46.03.09(火)	20:30〜21:00
123	竹岡信幸	S46.03.14(日)	17:00〜17:30	S46.03.23(火)	21:00〜21:30	S46.03.31(水)	20:30〜21:00	S46.03.16(火)	20:30〜21:00
124	竹岡信幸	S46.03.21(日)	17:00〜17:30	S46.03.30(火)	21:00〜21:30	S46.04.07(水)	20:00〜20:30	S46.03.23(火)	20:30〜21:00
125	飯田景応	S46.03.28(日)	17:00〜17:30	S46.04.06(火)	21:00〜21:30	S46.04.12(月)	20:00〜20:30	S46.03.30(火)	20:30〜21:00
126	飯田景応	S46.04.04(日)	17:00〜17:30	S46.04.13(火)	21:00〜21:30	S46.04.19(月)	20:00〜20:30	S46.04.06(火)	20:30〜21:00
127	飯田景応	S46.04.11(日)	17:00〜17:30	S46.04.20(火)	21:00〜21:30	S46.04.26(月)	20:00〜20:30	S46.04.12(月)	21:30〜22:00
	岡晴夫			S46.04.27(火)	21:00〜21:30				
128	小野巡	S46.04.18(日)	17:00〜18:45			S46.05.03(月)	20:00〜20:30	S46.04.19(月)	21:00〜21:30
129	小野巡	S46.04.25(日)	17:00〜17:30			S46.05.10(月)	20:00〜20:30	S46.04.26(月)	21:00〜21:30
130	藤山一郎	S46.05.02(日)	17:00〜18:00	S46.05.04(火)	21:00〜21:30	S46.05.17(月)	20:00〜20:30	S46.05.03(月)	21:30〜22:00
131	藤山一郎	S46.05.09(日)	17:00〜18:00	S46.05.11(火)	21:00〜21:30	S46.05.24(月)	20:00〜20:30	S46.05.10(月)	21:30〜22:00
132	藤山一郎	S46.05.16(日)	17:00〜17:30	S46.05.18(火)	21:00〜21:30	S46.05.31(月)	20:00〜20:30	S46.05.17(月)	21:00〜21:30
133	コロムビア戦後篇	S46.05.23(日)	17:00〜17:30	S46.05.25(火)	21:00〜21:30			S46.05.24(月)	21:00〜21:30
134	コロムビア戦後篇	S46.05.30(日)	17:00〜18:00	S46.06.01(火)	21:00〜21:30			S46.05.31(月)	21:00〜21:30

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
135	長津義司	S46.06.06(日)	17:00〜17:30	S46.06.08(火)	21:00〜21:30	S46.06.07(月)	20:00〜20:30	S46.06.07(月)	21:30〜22:00
136	長津義司	S46.06.13(日)	17:00〜17:30	S46.06.15(火)	21:00〜21:30	S46.06.14(月)	20:00〜20:30	S46.06.14(月)	21:00〜21:30
137	長津義司	S46.06.20(日)	17:00〜17:30	S46.06.22(火)	21:00〜21:30	S46.06.21(月)	20:00〜20:30	S46.06.21(月)	21:30〜22:00
138	伊藤久男	S46.06.27(日)	17:00〜17:30	S46.06.29(火)	21:00〜21:30	S46.06.28(月)	20:00〜20:30	S46.06.28(月)	20:30〜21:00
139	伊藤久男	S46.07.04(日)	17:00〜17:30	S46.07.06(火)	21:00〜21:30	S46.07.05(月)	20:00〜20:30	S46.07.05(月)	21:00〜21:30
140	番組総括篇	S46.07.11(日)	17:00〜17:30	S46.07.13(火)	21:00〜21:30	S46.07.12(月)	20:00〜20:30	S46.07.12(月)	21:30〜22:00
141	番組総括篇	S46.07.18(日)	17:00〜17:30	S46.07.20(火)	21:00〜21:30	S46.07.19(月)	20:00〜20:30		
142	番組総括篇	S46.07.25(日)	17:00〜17:30	S46.07.27(火)	21:00〜21:30	S46.07.26(月)	20:00〜20:30	S46.07.26(月)	21:00〜21:30
143	船と波止場			S46.08.03(火)	21:00〜21:30				
144	船と波止場			S46.08.10(火)	21:00〜21:30				
145	船と波止場			S46.08.17(火)	21:00〜21:30				
146	誰か故郷を想わざる			S46.08.24(火)	21:00〜21:30				
147	誰か故郷を想わざる			S46.08.31(火)	21:00〜21:30				
148	赤い夕日の満州で			S46.09.07(火)	21:00〜21:30				
149	赤い夕日の満州で			S46.09.14(火)	21:00〜21:30				
150	道中旅がらす			S46.09.21(火)	21:00〜21:30				
151	道中旅がらす			S46.09.28(火)	21:00〜21:30				
152	松原操（ミス・コロムビア）	S46.10.03(日)	17:30〜18:00	S46.10.05(火)	21:00〜21:30	S46.10.09(土)	19:30〜20:00	S46.10.04(月)	20:30〜21:00
153	松原操（ミス・コロムビア）	S46.10.10(日)	17:30〜18:00	S46.10.12(火)	21:00〜21:30	S46.10.16(土)	19:30〜20:00	S46.10.12(火)	20:30〜21:00

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
154	松原操（ミス・コロムビア）	S46.10.17(日)	17:30～18:00	S46.10.19(火)	21:00～21:30	S46.10.23(土)	19:30～20:00	S46.10.19(火)	20:30～21:00
155	音丸	S46.10.24(日)	17:30～18:00	S46.10.26(火)	21:00～21:30	S46.10.30(土)	19:30～20:00	S46.10.26(火)	20:30～21:00
156	音丸	S46.10.31(日)	17:30～18:00	S46.11.02(火)	21:00～21:30	S46.11.06(土)	19:30～20:00	S46.11.02(火)	20:30～21:00
157	音丸	S46.11.07(日)	17:30～18:00	S46.11.09(火)	21:00～21:30	S46.11.13(土)	19:30～20:00	S46.11.09(火)	20:30～21:00
158	灰田勝彦	S46.11.14(日)	17:30～18:00	S46.11.16(火)	21:00～21:30	S46.11.20(土)	19:30～20:00	S46.11.16(火)	20:30～21:00
159	灰田勝彦	S46.11.21(日)	17:30～18:00	S46.11.23(火)	21:00～21:30	S46.11.27(土)	19:30～20:00	S46.11.23(火)	20:30～21:00
160	灰田勝彦	S46.11.28(日)	17:30～18:00	S46.11.30(火)	21:00～21:30	S46.12.04(土)	19:30～20:00	S46.11.30(火)	20:30～21:00
161	ポリドール戦前篇	S46.12.05(日)	17:30～18:00	S46.12.07(火)	21:00～21:30	S46.12.11(土)	19:30～20:00	S46.12.07(火)	20:30～21:00
162	ポリドール戦前篇	S46.12.12(日)	17:30～18:00	S46.12.14(火)	21:00～21:30	S46.12.18(土)	19:30～20:00	S46.12.14(火)	20:30～21:00
163	清水みのる	S46.12.19(日)	17:30～18:00	S46.12.21(火)	21:00～21:30	S46.12.25(土)	19:30～20:00	S46.12.21(火)	20:30～21:00
164	清水みのる	S46.12.26(日)	17:30～18:00	S46.12.28(火)	21:00～21:30	S47.01.01(土)	19:30～20:00	S46.12.28(火)	20:30～21:00
165	東海林太郎	S47.01.02(日)	17:30～18:00	S47.01.04(火)	21:00～21:30	S47.01.08(土)	19:30～20:00	S47.01.04(火)	20:30～21:00
166	東海林太郎	S47.01.09(日)	17:30～18:00	S47.01.11(火)	21:00～21:30	S47.01.15(土)	19:30～20:00	S47.01.11(火)	20:30～21:00
167	東海林太郎	S47.01.16(日)	17:30～18:00	S47.01.18(火)	21:00～21:30	S47.01.22(土)	19:30～20:00	S47.01.18(火)	20:30～21:00
168	リクエスト1	S47.01.23(日)	17:30～18:00	S47.01.25(火)	21:00～21:30	S47.01.29(土)	19:30～20:00	S47.01.25(火)	20:30～21:00
169	リクエスト2	S47.01.30(日)	17:30～18:00	S47.02.01(火)	21:00～21:30	S47.02.05(土)	19:30～20:00	S47.02.01(火)	20:30～21:00
170	岡晴夫	S47.02.06(日)	17:30～18:00	S47.02.08(火)	21:00～21:30	S47.02.12(土)	19:30～20:00	S47.02.08(火)	20:30～21:00
171	岡晴夫	S47.02.13(日)	17:30～18:00	S47.02.15(火)	21:00～21:30	S47.02.19(土)	19:30～20:00	S47.02.15(火)	20:30～21:00
172	リクエスト3	S47.02.20(日)	17:30～18:00	S47.02.22(火)	21:00～21:30	S47.02.26(土)	19:30～20:00	S47.02.22(火)	20:30～21:00
173	リクエスト4	S47.02.27(日)	17:30～18:00	S47.02.29(火)	21:00～21:30	S47.03.04(土)	19:30～20:00	S47.02.29(火)	20:30～21:00
174	リクエスト5	S47.03.05(日)	17:30～18:00	S47.03.07(火)	21:00～21:30	S47.03.11(土)	19:30～20:00	S47.03.07(火)	20:30～21:00

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
175	リクエスト6	S47.03.12(日)	17:30～18:00	S47.03.14(火)	21:00～21:30	S47.03.18(土)	19:30～20:00	S47.03.14(火)	20:30～21:00
176	リクエスト7	S47.03.19(日)	17:30～18:00	S47.03.21(火)	21:00～21:30	S47.03.25(土)	19:30～20:00	S47.03.21(火)	20:30～21:00
177	リクエスト8	S47.03.26(日)	17:30～18:00	S47.03.28(火)	21:00～21:30	S47.04.01(土)	19:30～20:00	S47.03.28(火)	20:30～21:00
178	小野巡			S47.04.04(火)	21:00～21:30				
179	小野巡			S47.04.11(火)	21:00～21:30				
180	船と波止場（再）			S47.04.18(火)	21:00～21:30				
181	船と波止場（再）			S47.04.25(火)	21:00～21:30				
182	楠木繁夫			S47.05.02(火)	21:00～21:30				
183	楠木繁夫			S47.05.09(火)	21:00～21:30				
184	楠木繁夫			S47.05.16(火)	21:00～21:30				
185	岡晴夫			S47.05.23(火)	21:00～21:30				
186	岡晴夫			S47.05.30(火)	21:00～21:30				
187	松平晃			S47.06.06(火)	21:00～21:30				
188	松平晃			S47.06.13(火)	21:00～21:30				
189	松平晃			S47.06.20(火)	21:00～21:30				
190	野村俊夫			S47.06.27(火)	21:00～21:30				
191	野村俊夫			S47.07.04(火)	21:00～21:30				
192	野村俊夫			S47.07.11(火)	21:00～21:30				
193	映画主題歌集			S47.07.18(火)	21:00～21:30				
194	映画主題歌集			S47.07.25(火)	21:00～21:30				
195	映画主題歌集			S47.08.01(火)	21:00～21:30				
196	終戦特集 1			S47.08.08(火)	21:00～21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
197	終戦特集２			S47.08.15(火)	21:00〜21:30				
198	股旅オンパレード			S47.08.22(火)	21:00〜21:30				
199	股旅オンパレード			S47.08.29(火)	21:00〜21:30				
200	股旅オンパレード			S47.09.05(火)	21:00〜21:30				
201	モダンソング１			S47.09.12(火)	21:00〜21:30				
202	モダンソング２			S47.09.19(火)	21:00〜21:30				
203	モダンソング３			S47.09.26(火)	21:00〜21:30				
204	日本調特集			S47.10.03(火)	21:00〜21:30				
205	東海林太郎追悼			S47.10.10(火)	21:00〜21:30				
206	東海林太郎追悼			S47.10.17(火)	21:00〜21:30				
207	東海林太郎追悼			S47.10.24(火)	21:00〜21:30				
208	モダンソング４			S47.10.31(火)	21:00〜21:30				
209	モダンソング５			S47.11.07(火)	21:00〜21:30				
210	リクエスト１			S47.11.14(火)	21:00〜21:30				
211	リクエスト２			S47.11.21(火)	21:00〜21:30				
212	リクエスト３			S47.11.28(火)	21:00〜21:30				
213	なつかしのホームソング			S47.12.05(火)	21:00〜21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
214	なつかしのホームソング			S47.12.12(火)	21:00〜21:30				
215	ビクター戦前篇			S47.12.19(火)	21:00〜21:30				
216	ビクター戦前篇			S47.12.26(火)	21:00〜21:30				
217	新春オールスターパレード			S48.01.02(火)	21:00〜21:30				
218	新春オールスターパレード			S48.01.09(火)	21:00〜21:30				
219	新春オールスターパレード			S48.01.16(火)	21:00〜21:30				
220	リクエスト			S48.01.23(火)	21:00〜21:30				
221	上原敏名作集			S48.01.30(火)	21:00〜21:30				
222	上原敏名作集			S48.02.06(火)	21:00〜21:30				
223	戦時歌謡集1			S48.02.13(火)	21:00〜21:30				
224	戦時歌謡集2			S48.02.20(火)	21:00〜21:30				
225	戦時歌謡集3			S48.02.27(火)	21:00〜21:30				
226	リクエスト			S48.03.06(火)	21:00〜21:30				
227	リクエスト			S48.03.13(火)	21:00〜21:30				
228	リクエスト			S48.03.20(火)	21:00〜21:30				
229	テイチク戦前篇			S48.03.27(火)	21:00〜21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
230	上原敏 1			S48. 04. 03(火)	21:00〜21:30				
231	上原敏 2			S48. 04. 10(火)	21:00〜21:30				
232	上原敏 3			S48. 04. 17(火)	21:00〜21:30				
233	豆千代			S48. 04. 24(火)	21:00〜21:30				
234	豆千代			S48. 05. 01(火)	21:00〜21:30				
235	豆千代			S48. 05. 08(火)	21:00〜21:30				
236	霧島昇			S48. 05. 15(火)	21:00〜21:30				
237	霧島昇			S48. 05. 22(火)	21:00〜21:30				
238	霧島昇			S48. 05. 29(火)	21:00〜21:30				
239	倉若晴生			S48. 06. 05(火)	21:00〜21:30				
240	倉若晴生			S48. 06. 12(火)	21:00〜21:30				
241	倉若晴生			S48. 06. 19(火)	21:00〜21:30				
242	倉若晴生			S48. 06. 26(火)	21:00〜21:30				
243	淡谷のり子			S48. 07. 03(火)	21:00〜21:30				
244	淡谷のり子			S48. 07. 10(火)	21:00〜21:30				
245	淡谷のり子			S48. 07. 17(火)	21:00〜21:30				
246	大久保徳次郎			S48. 07. 24(火)	21:00〜21:30				
247	大久保徳次郎			S48. 07. 31(火)	21:00〜21:30				
248	楠木繁夫			S48. 08. 07(火)	21:00〜21:30				
249	楠木繁夫			S48. 08. 14(火)	21:00〜21:30				
250	楠木繁夫			S48. 08. 21(火)	21:00〜21:30				
251	レイモンド服部追悼			S48. 08. 28(火)	21:00〜21:30				
252	レイモンド服部追悼			S48. 09. 04(火)	21:00〜21:30				
253	レイモンド服部追悼			S48. 09. 11(火)	21:00〜21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
254	門田ゆたか			S48.09.18(火)	21:00〜21:30				
255	門田ゆたか			S48.09.25(火)	21:00〜21:30				
256	山田栄一			S48.10.02(火)	21:00〜21:30				
257	山田栄一			S48.10.09(火)	21:00〜21:30				
258	山田栄一			S48.10.16(火)	21:00〜21:30				
259	渡辺はま子			S48.10.23(火)	21:00〜21:30				
260	渡辺はま子			S48.10.30(火)	21:00〜21:30				
261	渡辺はま子			S48.11.06(火)	21:00〜21:30				
262	上原敏			S48.11.13(火)	21:00〜21:30				
263	上原敏			S48.11.20(火)	21:00〜21:30				
264	サトウハチロー追悼			S48.11.27(火)	21:00〜21:30				
265	サトウハチロー追悼			S48.12.04(火)	21:00〜21:30				
266	青葉笙子			S48.12.11(火)	21:00〜21:30				
267	青葉笙子			S48.12.18(火)	21:00〜21:30				
268	青葉笙子			S48.12.25(火)	21:00〜21:30				
269	新春なつメロ大行進			S49.01.01(火)	21:00〜21:30				
270	新春なつメロ大行進			S49.01.08(火)	21:00〜21:30				
271	新春なつメロ大行進			S49.01.15(火)	21:00〜21:30				
272	リクエスト特集			S49.01.22(火)	21:00〜21:30				
273	リクエスト特集			S49.01.29(火)	21:00〜21:30				
274	リクエスト特集			S49.02.05(火)	21:00〜21:30				
275				S49.02.12(火)	21:00〜21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
276				S49.02.19(火)	21:00～21:30				
277				S49.02.26(火)	21:00～21:30				
278				S49.03.05(火)	21:00～21:30				
279				S49.03.12(火)	21:00～21:30				
280				S49.03.19(火)	21:00～21:30				
281				S49.03.26(火)	21:00～21:30				
282	流離			S49.04.02(火)	21:00～21:30				
283				S49.04.09(火)	21:00～21:30				
284				S49.04.16(火)	21:00～21:30				
285	藤山一郎特集戦後編			S49.04.23(火)	21:00～21:30				
286	藤山一郎特集戦後編			S49.04.30(火)	21:00～21:30				
287	二葉あき子特集			S49.05.07(火)	21:00～21:30				
288	二葉あき子特集			S49.05.14(火)	21:00～21:30				
289	小畑実特集			S49.05.21(火)	21:00～21:30				
290	小畑実特集			S49.05.28(火)	21:00～21:30				
291	コミック・ソング			S49.06.04(火)	21:00～21:30				
292	コミック・ソング			S49.06.11(火)	21:00～21:30				
293	リクエスト特集			S49.06.18(火)	21:00～21:30				
294	リクエスト特集			S49.06.25(火)	21:00～21:30				
295	勝太郎特集①			S49.07.02(火)	21:00～21:30				
296	勝太郎特集②			S49.07.09(火)	21:00～21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
297	夏のなつメロ特集			S49.07.16(火)	21:00〜21:30				
298	夏のなつメロ特集			S49.07.23(火)	21:00〜21:30				
299				S49.07.30(火)	21:00〜21:30				
300				S49.08.06(火)	21:00〜21:30				
301				S49.08.13(火)	21:00〜21:30				
302	レコード歌手しのぶ草			S49.08.20(火)	21:00〜21:30				
303	レコード歌手しのぶ草			S49.08.27(火)	21:00〜21:30				
304	リクエスト特集			S49.09.03(火)	21:00〜21:30				
305	リクエスト特集			S49.09.10(火)	21:00〜21:30				
306				S49.09.17(火)	21:00〜21:30				
307				S49.09.24(火)	21:00〜21:30				
308	秋のなつメロ特集			S49.10.01(火)	21:00〜21:30				
309	秋のなつメロ特集			S49.10.08(火)	21:00〜21:30				
310	戦時歌謡と軍歌			S49.10.15(火)	21:00〜21:30				
311	戦時歌謡と軍歌			S49.10.22(火)	21:00〜21:30				
312				S49.10.29(火)	21:00〜21:30				
313				S49.11.05(火)	21:00〜21:30				
314				S49.11.12(火)	21:00〜21:30				
315				S49.11.19(火)	21:00〜21:30				
316	東海林太郎特集			S49.11.26(火)	21:00〜21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
317	東海林太郎特集			S49.12.03(火)	21:00～21:30				
318	田端義夫特集			S49.12.10(火)	21:00～21:30				
319	田端義夫特集			S49.12.17(火)	21:00～21:30				
320				S49.12.24(火)	21:00～21:30				
321				S49.12.31(火)	21:00～21:30				
322				S50.01.07(火)	21:00～21:30				
323				S50.01.14(火)	21:00～21:30				
324				S50.01.21(火)	21:00～21:30				
325				S50.01.28(火)	21:00～21:30				
326				S50.02.04(火)	21:00～21:30				
327				S50.02.11(火)	21:00～21:30				
328				S50.02.18(火)	21:00～21:30				
329				S50.02.25(火)	21:00～21:30				
330	古川ロッパ特集			S50.03.04(火)	21:00～21:30				
331				S50.03.11(火)	21:00～21:30				
332	上原敏、東海林太郎幻の歌謡傑作集			S50.03.18(火)	21:00～21:30				
333				S50.03.25(火)	21:00～21:30				
335	童謡・唱歌特集			S50.04.01(火)	21:00～21:30				
336				S50.04.08(火)	21:00～21:30				
337				S50.04.15(火)	21:00～21:30				
338				S50.04.22(火)	21:00～21:30				
339				S50.04.29(火)	21:00～21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
340				S50.05.06(火)	21:00〜21:30				
341				S50.05.13(火)	21:00〜21:30				
342				S50.05.20(火)	21:00〜21:30				
343				S50.05.27(火)	21:00〜21:30				
344	万城目正特集			S50.06.03(火)	21:00〜21:30				
345	万城目正特集			S50.06.10(火)	21:00〜21:30				
346	伊藤久男特集			S50.06.17(火)	21:00〜21:30				
347	伊藤久男特集			S50.06.24(火)	21:00〜21:30				
348	大村能章特集			S50.07.01(火)	21:00〜21:30				
349	大村能章特集			S50.07.08(火)	21:00〜21:30				
350				S50.07.15(火)	21:00〜21:30				
351				S50.07.22(火)	21:00〜21:30				
352	軍歌特集			S50.07.29(火)	21:00〜21:30				
353	軍歌特集			S50.08.05(火)	21:00〜21:30				
354				S50.08.12(火)	21:00〜21:30				
355				S50.08.19(火)	21:00〜21:30				
356	北廉太郎特集			S50.08.26(火)	21:00〜21:30				
357	北廉太郎特集			S50.09.02(火)	21:00〜21:30				
358				S50.09.09(火)	21:00〜21:30				
359				S50.09.16(火)	21:00〜21:30				
360	京都の唄特集			S50.09.23(火)	21:00〜21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
361	京都の歌特集			S50.09.30(火)	21:00〜21:30				
362				S50.10.07(火)	21:00〜21:30				
363				S50.10.14(火)	21:00〜21:30				
364	思い出のタンゴ集			S50.10.21(火)	21:00〜21:30				
365	思い出のタンゴ集			S50.10.28(火)	21:00〜21:30				
366				S51.02.03(火)	21:00〜21:30				
367				S51.02.10(火)	21:00〜21:30				
368				S51.02.17(火)	21:00〜21:30				
369	藤原義江特集			S51.02.24(火)	21:00〜21:30				
370	藤原義江特集			S51.03.02(火)	21:00〜21:30				
371	田端義夫特集			S51.03.09(火)	21:00〜21:30				
372	田端義夫特集			S51.03.16(火)	21:00〜21:30				
373	リクエスト特集			S51.03.23(火)	21:00〜21:30				
374	リクエスト特集			S51.03.30(火)	21:00〜21:30				
375	一人二役特集			S51.04.02(金)	22:00〜22:30				
376	一人二役特集			S51.04.13(火)	21:00〜21:30				
377				S51.04.20(火)	21:00〜21:30				
378				S51.04.27(火)	21:00〜21:30				
379				S51.05.04(火)	21:00〜21:30				
380				S51.05.11(火)	21:00〜21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
381	昭和１０年代コロムビア名曲選			S51.05.18(火)	21:00～21:30				
382	昭和１０年代コロムビア名曲選			S51.05.25(火)	21:00～21:30				
383	ポリドールなつかしの歌謡名曲選			S51.06.01(火)	21:00～21:30				
384	ポリドールなつかしの歌謡名曲選			S51.06.08(火)	21:00～21:30				
385	テイチクなつかしの名作選			S51.06.15(火)	21:00～21:30				
386	テイチクなつかしの名作選			S51.06.22(火)	21:00～21:30				
387				S51.06.29(火)	21:00～21:30				
388				S51.07.06(火)	21:00～21:30				
389				S51.07.13(火)	21:00～21:30				
390				S51.07.20(火)	21:00～21:30				
391	リクエスト特集			S51.07.27(火)	21:00～21:30				
392	リクエスト特集			S51.08.03(火)	21:00～21:30				
393	リクエスト特集			S51.08.10(火)	21:00～21:30				
394				S51.08.17(火)	21:00～21:30				
395				S51.08.24(火)	21:00～21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
396	日本で親しまれた外国のポピュラー・ソング特集			S51.08.31(火)	21:00〜21:30				
397	日本で親しまれた外国のポピュラー・ソング特集			S51.09.07(火)	21:00〜21:30				
398	リクエスト特集			S51.09.14(火)	21:00〜21:30				
399	リクエスト特集			S51.09.21(火)	21:00〜21:30				
400	リクエスト特集			S51.09.28(火)	21:00〜21:30				
401	リクエスト特集			S51.10.05(火)	21:00〜21:30				
402	リクエスト特集			S51.10.12(火)	21:00〜21:30				
403				S51.10.19(火)	21:00〜21:30				
404				S51.10.26(火)	21:00〜21:30				
405	東海林太郎歌謡名作選			S51.11.02(火)	21:00〜21:30				
406	東海林太郎歌謡名作選			S51.11.09(火)	21:00〜21:30				
407				S51.11.16(火)	21:00〜21:30				
408				S51.11.23(火)	21:00〜21:30				
409				S51.11.30(火)	21:00〜21:30				
410				S51.12.07(火)	21:00〜21:30				
411				S51.12.14(火)	21:00〜21:30				
412				S51.12.21(火)	21:00〜21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
413				S51. 12. 28(火)	21:00～21:30				
414				S52. 01. 04(火)	21:00～21:30				
415				S52. 01. 11(火)	21:00～21:30				
416				S52. 01. 18(火)	21:00～21:30				
417				S52. 01. 25(火)	21:00～21:30				
418	人生流転			S52. 02. 01(火)	21:00～21:30				
419				S52. 02. 08(火)	21:00～21:30				
420				S52. 02. 15(火)	21:00～21:30				
421				S52. 02. 22(火)	21:00～21:30				
422	岡晴夫特集			S52. 03. 01(火)	21:00～21:30				
423	岡晴夫特集			S52. 03. 08(火)	21:00～21:30				
424				S52. 03. 15(火)	21:00～21:30				
425				S52. 03. 22(火)	21:00～21:30				
426				S52. 03. 29(火)	21:00～21:30				
427				S52. 04. 05(火)	21:00～21:30				
428				S52. 04. 12(火)	21:00～21:30				
429				S52. 04. 19(火)	21:00～21:30				
430				S52. 04. 26(火)	21:00～21:30				
431				S52. 05. 03(火)	21:00～21:30				
432				S52. 05. 10(火)	21:00～21:30				
433				S52. 05. 17(火)	21:00～21:30				
434				S52. 05. 24(火)	21:00～21:30				
435				S52. 05. 31(火)	21:00～21:30				
436				S52. 06. 07(火)	21:00～21:30				
437				S52. 06. 14(火)	21:00～21:30				
438				S52. 06. 21(火)	21:00～21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
439				S52.06.28(火)	21:00〜21:30				
440				S52.07.05(火)	21:00〜21:30				
441	リクエスト特集			S52.07.12(火)	21:00〜21:30				
442	リクエスト特集			S52.07.19(火)	21:00〜21:30				
443	一色皓一郎特集			S52.07.26(火)	21:00〜21:30				
444	一色皓一郎特集			S52.08.02(火)	21:00〜21:30				
445				S52.08.09(火)	21:00〜21:30				
446	若原一郎特集			S52.08.16(火)	21:00〜21:30				
447	若原一郎特集			S52.08.23(火)	21:00〜21:30				
448	若原一郎特集			S52.08.30(火)	21:00〜21:30				
449				S52.09.06(火)	21:00〜21:30				
450				S52.09.13(火)	21:00〜21:30				
451	菅原都々子特集			S52.09.20(火)	21:00〜21:30				
452	菅原都々子特集			S52.09.27(火)	21:00〜21:30				
453	菅原都々子特集			S52.10.04(火)	21:00〜21:30				
454				S52.10.11(火)	21:00〜21:30				
455				S52.10.18(火)	21:00〜21:30				
456				S52.10.25(火)	21:00〜21:30				
457				S52.11.01(火)	21:00〜21:30				
458				S52.11.08(火)	21:00〜21:30				
459	小笠原美都子特集			S52.11.15(火)	21:00〜21:30				

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
460	小笠原美都子特集			S52.11.22(火)	21:00～21:30				
461	小笠原美都子特集			S52.11.29(火)	21:00～21:30				
462				S52.12.06(火)	21:00～21:30				
463				S52.12.13(火)	21:00～21:30				
464	なつかしのポピュラー名曲選			S52.12.20(火)	21:00～21:30				
465	なつかしのポピュラー名曲選			S52.12.27(火)	21:00～21:30				
466				S53.01.03(火)	21:00～21:30				
467				S53.01.10(火)	21:00～21:30				
468				S53.01.17(火)	21:00～21:30				
469				S53.01.24(火)	21:00～21:30				
470				S53.01.31(火)	21:00～21:30				
471				S53.02.07(火)	21:00～21:30				
472				S53.02.14(火)	21:00～21:30				
473				S53.02.21(火)	21:00～21:30				
474				S53.02.28(火)	21:00～21:30				
475				S53.03.07(火)	21:00～21:30				
476				S53.03.14(火)	21:00～21:30				
477				S53.03.21(火)	21:00～21:30				
478				S53.03.28(火)	21:00～21:30				

（注）・RKB毎日放送の昭和４５年１０月～４６年５月放送分は正確な放送回が不明なため、推測により記載。
・ラジオ関東の第１０４回及び１２８回は放送時間が３０分となっていないが、新聞のラジオ欄から３０分であることが断定できなかったため。木村孝雄自費制作ＬＰ同封③には「毎回30分構成」と書かれていることから、実際には他の回と同様に３０分の放送時間であったと思われる。
・第３３４回が登場しない理由は１３５ページを参照。

内容不明回

回	サブタイトル	ラジオ関東		近畿放送		RKB毎日放送		中部日本放送	
		放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯	放送日時	時間帯
								S45.05.11(月)	20:30～21:00

（注）中部日本放送の昭和４５年５月１１日放送分は、もともとナイター中継（中日対巨人戦）の予定だったが、雨天中止のため雨傘番組として放送されたもの。具体的な放送内容は不明。

3　放送記録

第1回～第142回

☆放送局及び期間☆

放送局	期間
ラジオ関東	昭和43年11月～46年7月
中部日本放送	昭和43年11月～46年7月
近畿放送	昭和43年12月～46年7月
RKB毎日放送	昭和44年11月～46年7月

RKB毎日放送は第52回から放送

司会：宇井昇

☆放送リスト凡例

①サブタイトル・放送回	**②出演者**
③曲目	**④放送概要**

・年月日は、4局の中で一番放送日時が早いラジオ関東の放送日を記載。

・「①サブタイトル」は木村孝雄自費制作LP同封③に準拠。

・「②出演者」にはスタジオへの出演者のみを記し、電話での出演者は「④放送概要」に記述。

・「③曲目」は各新聞（主に中日新聞と京都新聞）のラジオ欄の記述を元にした。そのため、放送されたすべての曲目を網羅しているわけではない。また、放送された音源の歌唱者が明示されている場合のみ、括弧書きで歌唱者名を付した。

・「④放送概要」は各新聞（主に中日新聞と京都新聞）のラジオ欄の記述を元にした。

昭和43年11月10日
①「上原敏」 ＃1
②上原未亡人、島田磬也
③「妻恋道中」「流転」「裏町人生」「波止場気質」
④　かつて活躍した歌謡曲歌手や作曲家、作詞家などをゲストになつかしのメロディーを聞く。第1回は、かつてポリドールの専属歌手だった上原敏の特集。
　スタジオには「裏町人生」「波止場気質」など上原敏と組み、一連の”人生もの”でヒットを飛ばした詩人・島田磬也と、上原敏の未亡人・松本澄子を招き、過ぎし日の上原敏を偲びつつ対談、その間に上原敏のデビュー曲「妻恋道中」や「流転」などの道中もの、「裏町人生」や「波止場気質」などのヒット曲を聞く。

11月17日
①「上原敏」 ＃2
②上原未亡人、島田磬也
③「従軍記者」「上海だより」「声なき凱旋」「鴛鴦道中」
④　上原敏特集その2。スタジオには「裏町人生」や「波止場気質」など一連の人生ものの詩を書いた島田磬也と、未亡人の松本澄子を招き、上原敏のヒット曲を聞きながら思い出話にふける。
　ニューギニア戦線で戦病死した上原敏の文字通り「声なき凱旋」の歌は、スタジオの未亡人を激しい感動の渦に巻き込み、歳月を忘れた新しい思い出で、未亡人が涙にくれるという情景も見られた。

11月24日
①「ディック・ミネ」 ＃3
②ディック・ミネ
③「ダイナ」「上海リル」「林檎の樹の下で」
④　今夜はディック・ミネ特集その1。
　流行歌全盛の時代に、新しいリズムのジャズを持ち込み、一世を風靡した「ダイナ」でデビュー、当時の若者たちの心をつかんだディック・ミネに、デビュー当時の思い出話を語ってもらい、彼のヒット曲を綴る。
　その他ディック・ミネの名前の由来やミネのファン層の幅広さなどについても聞く。

12月1日
①「ディック・ミネ」 ＃4
②ディック・ミネ
③「人生の並木路」「夜霧のブルース」「旅姿三人男」「或る雨の午後」
④　今週は、先週に引き続きディック・ミネ特集その2。今夜は主としてディック・ミネが終戦直後の思い出話を語り、映画出演した時のエピソードなど珍談奇談を紹介する。

12月8日
①「渡辺はま子」 ＃5
②渡辺はま子
③「いとしあの星」「支那の夜」
④

12月15日

①「渡辺はま子」 ＃6
②渡辺はま子
③「雨のオランダ坂」
④　先週に引き続き渡辺はま子特集その2。
　中国大陸の各地を戦線慰問で旅行したり「支那の夜」「蘇州夜曲」など中国を歌った曲が多いため、中国人ではないか？と噂された彼女は、終戦後も「雨のオランダ坂」「あゝモンテンルパの夜は更けて」など、数多くのヒット曲を生み出した。今夜は終戦後の話や、今の歌手と当時の歌手の違いなどについて話す。

12月22日

①「灰田勝彦」 ＃7
②灰田勝彦
③「森の小径」「鈴懸の径」「燦めく星座」
④　今夜は往年のスター歌手、灰田勝彦特集その1。
　明治44年ハワイで生まれた灰田は、戦前、戦中、そして戦後と数々のヒット曲を生み出したが、中でも「森の小径」や「鈴懸の径」は戦争という暗い世相の中で、人々の心に明るい灯を与え、特に「森の小径」は若い女性の心をつかんだ。こうした頃の思い出話や兵隊として満州へ行った時の思い出、それに最大のヒット曲と言われる「燦めく星座」のレコーディングの思い出などを聞く。
　また、「歌手になっていなかったらプロ野球の選手になっていた」と語る”野球の虫”灰田が、「われもし巨人軍の監督であれば」などの話を語る。

12月29日

①「灰田勝彦」 ＃8
②灰田勝彦
③「新雪」「野球小僧」「アルプスの牧場」「アロハ東京」
④　先週に引き続き、灰田勝彦特集その2を送る。
　子どもから老人まで広い層にわたって人気のあった灰田勝彦の思い出話は、戦前及び終戦直後のファン気質。当時は、今のグループ・サウンズ・ファンのような熱狂的ファンは少なかったが、マイクやステージを離れてもファンとのつながりが強く、友達付き合いをしたり、親身に相談し合えるようなファンが多かったという。

昭和44年1月5日

①「東海林太郎」 ＃9
②東海林太郎
③「赤城の子守唄」「国境の町」「野崎小唄」「むらさき小唄」
④　今週は歌謡界の大御所、東海林太郎をスタジオに迎え、「赤城の子守唄」や「国境の町」「野崎小唄」が流行した当時の世相を中心に、東海林自身の思い出、戦前と戦後の流行歌手の違いなどについて語ってもらう。

1月12日

①東海林太郎　＃10
②東海林太郎
③「すみだ川」「麦と兵隊」「名月赤城山」
④　東海林太郎特集の2回目。
　スタジオに東海林太郎を迎え、「麦と兵隊」ほかのレコードを聞きながら、当時の思い出話を語ってもらう。
　「すみだ川」で当時の大スター田中絹代とかけあいのセリフを入れた話、「麦と兵隊」の原作者・火野葦平の思い出、「名月赤城山」の舞台となった赤城山を訪れた時のエピソードなど、とっておきの思い出話を紹介する。

昭和44年

1月19日

①「霧島昇」 ＃11

②霧島昇

③「旅の夜風」「目ン無い千鳥」

④　今週は、霧島昇特集の第1回。

「誰か故郷を想わざる」の大ヒットで一世を風靡した霧島のヒット曲には「旅の夜風」「新妻鏡」「人妻椿」「三百六十五夜」など映画の主題歌が多い。上原謙、田中絹代のコンビで全国の女性の紅涙をしぼった「愛染かつら」をはじめ、昭和初期の代表的メロドラマのバックには、霧島昇とその夫人のミス・コロムビア（松原操）の歌声が流れ、映画主題歌の魅力を盛り上げていた。

今夜は霧島昇を迎えて、ヒット曲を聞きながら「愛染かつら」主題歌吹込み当時の思い出などを語ってもらう。

1月26日

①「霧島昇」 ＃12

②霧島昇

③「露営の歌」（霧島）、「赤城しぐれ」「燃ゆる大空」「純情二重奏」

④　霧島昇特集その2。

最近はちょっとした”軍歌ブーム”。逆コースとかミリタリズムの復活だなどと一方で言われながらも、年配層にとっては青春時代へのノスタルジアを感じさせる”なつメロ”に変わりはない。

そこで今夜は、霧島昇の歌う「露営の歌」などのレコードを聞きながら、彼が体験した戦争中の思い出話などを語り、戦中、戦後に至る世相の移り変わりを振り返る。

2月2日

①「淡谷のり子」 ＃13

②淡谷のり子

③「ルンバ・タンバ」「聞かせてよ愛の言葉を」「待ちましょう」「小雨降る径」

④　淡谷のり子特集その1。

”ブルースの女王”として、後年歌謡界の女王となった淡谷のり子の歌手生活は、文字通り”赤貧洗うがごとき”苦難の毎日でスタートした。アルバイトとして裸のモデルをしたのも、その頃のこと。今夜は、流行歌手としてデビューした当時の生活体験談、シャンソンの魅力、最近の女性の生き方などについて聞く。

2月9日

①「淡谷のり子」 ＃14

②淡谷のり子

③「別れのブルース」「君忘れじのブルース」

④　今夜は”ブルースの女王”淡谷のり子特集の第2夜。戦争の黒い影が急速に忍び寄った昭和12年、淡谷のり子の歌う「別れのブルース」が世に出、この後の「雨のブルース」とともに大ヒットして”ブルースの女王”が誕生した。

スタジオでの淡谷のり子の話は、吹込みの思い出話とともに”ウタ屋論争”に及び、最近の若い歌手はスターになること、ウケることばかり考えているところに問題があると忠告する。

2月16日
①「二葉あき子」 ＃15
②二葉あき子
③「新妻鏡」「巴里の屋根の下」「白蘭の歌」「春よいづこ」「別れても」
④　二葉あき子特集その1。
　淡谷のり子、渡辺はま子らとともに、戦前から戦後にかけて歌謡曲を歌い続けてきた二葉あき子の人生体験は、そのまま歌の心に歌い込まれ、豊かな表現を伴った歌唱力は、歌謡界のトップスターとしての地位を譲らなかった。
　今夜はスタジオに彼女を迎え、戦前から戦後にかけての歌謡生活を振り返ってもらいながら「新妻鏡」「白蘭の歌」などのヒット曲をレコードで聞く。

2月23日
①「二葉あき子」 ＃16
②二葉あき子
③「水色のワルツ」「夜のプラットホーム」
④　今夜は二葉あき子特集その2。
　終戦後の荒廃した世相の中で、人々にうるおいと励ましを与えてくれたのが流行歌。二葉あき子の歌う「水色のワルツ」や「恋の曼珠沙華」なども、ラジオを通じて全国に大ヒットした。
　二葉あき子の思い出話は、モンペ姿でステージに立った終戦直後の頃に始まり、今なおシャンソンなどに意欲を燃やし、フランス語を勉強中という近況まで興味深い話が尽きない。

3月2日
①「田端義夫」 ＃17
②田端義夫
③「島の船唄」「別れ船」「大利根月夜」「梅と兵隊」「かえり船」
④　田端義夫特集の第1回。
　今夜は、6歳まで伊勢の松坂で過ごした後大阪に出て丁稚奉公するなど苦闘時代の頃のエピソードに始まる。
　夜逃げすること6回、小学校3年半しかない学歴、そうした貧苦の生活が、後の彼の情感ある歌い方にあらわれている。

3月9日
①「田端義夫」 ＃18
②田端義夫
③「かよい船」「島育ち」
④　田端義夫特集その2。
　「オス！」のあいさつで親しまれた”バタやん”こと田端義夫の青春時代はまさに苦闘の連続。丁稚奉公にはじまり、橋下学校に通ったり、夜逃げを6回もしたり……これらの苦労が後の彼の情感豊かな唱法に活かされた。
　今夜はこうした貧苦の時代の思い出や最前線での慰問の話などを進めながら、ヒット曲を聞く。

3月16日

①「榎本健一」 ＃19

②榎本健一

③「道化の唄」「恋はやさし」「洒落男」「モンパパ」「雨に唄えば」「法界坊」「ベアトリねえちゃん」「マイ・ブルー・ヘブン」

④ 今夜は榎本健一特集その1。

榎本健一をゲストに、思い出のヒット曲と、それにまつわるエピソードを紹介する。

芸能生活45年、まず小学校時代の思い出として、人を笑わせる才能がこの頃からあったという話。それに浅草オペラ華やかなりし頃、サトウ・ハチローとエノケンだけは、浅草付近の乞食も避けて通ったという話などから、当時の浅草と現代の浅草を比較する。

3月23日

①「榎本健一」 ＃20

②榎本健一

③「洒落男」「モンパパ」「雨に唄えば」

④ 今夜は榎本健一特集その2。

芸能生活45年……浅草でデビューして以来”日本の喜劇王”として万人に親しまれてきたエノケンの舞台、ステージには、芸の年輪が深く刻まれた味がある。

今夜はスタジオにエノケンを迎え、45年の芸能生活を振り返りヒット曲を聞きながら、芸能界の過去、現在、将来を語ってもらう。

3月30日

①「小畑実」 ＃21

②小畑実

③「勘太郎月夜唄」「湯島の白梅」「高原の駅よさようなら」

④ 小畑実特集の第1夜。

戦後の荒廃した世相の中で、小畑実の歌う明るい歌声は人々にやすらぎと明るさを取り戻してくれた。

このベテラン歌手・小畑実が最近「勘太郎いつ帰る」でカムバックしたが、今夜はスタジオに小畑実を迎え、カムバック論、音楽論について大いに語ってもらう。

4月6日

①「小畑実」 ＃22

②小畑実

③「小判鮫の歌」「星影の小径」「長崎のザボン売り」「勘太郎いつ帰る」

④ 小畑実特集の第2回。

アメリカでの生活を通じて「日本にはおとなの歌が少なすぎる」と実感した小畑実は、このほど「勘太郎いつ帰る」の新曲をレコードに吹込んでカムバック。

「これをきっかけに、もう一人小畑実がスタートする。これからも”おとなの歌”をどんどん歌って行きたい」と抱負を語る。

新曲の「勘太郎いつ帰る」は、長谷川一夫の振付で踊りの曲にもなっているが、小畑と長谷川の交友関係は、小畑実初期のヒット曲「小判鮫の歌」からはじまる。思い出話となつかしい歌を聞く。

4月13日
①「小唄勝太郎」 ＃23
②小唄勝太郎
③「島の娘」「東京音頭」
④　今夜は小唄勝太郎特集その1。

現在、歌謡界ではミリオン・セラーと呼ばれる百万枚が大ヒットの目安とされているが、日本の歌謡史上空前絶後と言われる記録は、昭和8年に小唄勝太郎と三島一声が吹き込んだ「東京音頭」。

そのレコード売り上げ枚数は280万枚ということであった。

今夜はスタジオに勝太郎を迎え、三島一声と電話対談を交えながら思い出話を聞く。

4月20日
①「小唄勝太郎」 ＃24
②小唄勝太郎
③「柳の雨」「大島おけさ」「祇園ばやし」
④　小唄勝太郎特集その2。

大島三原山での投身自殺が相次いだ頃、この暗いムードをなくすために吹き込んだ「大島おけさ」が自殺防止のキャンペーンになったこと、戦場へ夫を送る妻の気持ちを歌い込んだ「明日はお立ちか」が戦地で兵士の涙を誘ったことなど、ヒット曲「東京音頭」以降のエピソードを勝太郎が語る。

4月27日
①「藤山一郎」 ＃25
②藤山一郎
③「酒は涙か溜息か」
④　今夜は、長年歌謡界の王座に君臨してきた藤山一郎特集の第1回。

日本の歌謡曲史を振り返ってまず浮かぶのが、古賀政男、藤山一郎のコンビによる数々のヒット曲だ。そして30年近くに及ぶ藤山一郎の長い歌手生活は特筆されるものがある。明るい藤山の歌声は戦争をはさんで、日本国中の人にやすらぎや励ましを与えてきた。

今夜は往年のヒット曲を聞きながら、デビュー当時の思い出などを聞く。

5月4日
①「藤山一郎」 ＃26
②藤山一郎
③「青い山脈」「三日月娘」「夢淡き東京」
④　今夜は、藤山一郎特集第2回。

戦前、数々の大ヒットを飛ばした藤山は、一時戦死したと伝えられていたが、終戦後まもなく復員し、昭和22年に「三日月娘」でカムバックした。

焼け野原の東京に再興の夢を託して歌ったのが「夢淡き東京」、そして終戦後の虚脱した国民に明るさを取り戻してくれた映画主題歌「青い山脈」など大ヒットが続く。この頃の一番思い出深い歌が「長崎の鐘」。この歌をステージで歌うたびに、自ら原爆症にもかかわらず、数百人の患者を救った永井博士のことが偲ばれ、いまだに涙が浮かんでくるという。

5月11日
①「伊藤久男」 ＃27
②伊藤久男
③「高原の旅愁」「白蘭の歌」「お島千太郎旅唄」「暁に祈る」
④　伊藤久男特集その1。

今はなくなったが、伊藤久男がデビューした時のリーガル盤の話から「高原の旅愁」の思い出話を聞く。また、戦時中兵隊はもちろん一般の人にも歌われ、替え歌も作られたほどヒットした「暁に祈る」の思い出として、硫黄島での生活の話を聞く。

5月18日
①「伊藤久男」 ＃28
②伊藤久男
③「君の名は」「イヨマンテの夜」「山のけむり」
④　伊藤久男特集の第2回。
　伊藤久男といえば、すぐ「イヨマンテの夜」と言われるほど、男性的な力強い歌唱で大ヒットを飛ばしたが、本人は「イヨマンテの夜」よりも「君の名は」「山のけむり」のようなムードのある曲の方が好きだという。
　彼のヒット曲とともに「君の名は」にまつわる思い出を聞く。

5月25日
①「岡本敦郎」 ＃29
②岡本敦郎
③「朝はどこから」「白い花の咲く頃」「あこがれの郵便馬車」
④　今夜は岡本敦郎特集その1。
　荒廃した終戦直後の世相にさわやかな明るさを与えてくれた岡本敦郎。彼が歌手の道へ入ったのは全くの偶然から。中学時代からアナウンサーを志望していた彼は、NHKのアナウンサー試験を受けたが不合格、気晴らしに映画でもと、試験に落ちたその足で日劇へ出かけたが、ステージに立っていた伊藤久男の歌を聞いて大変に感激、歌手になることを志したという。

6月1日
①「岡本敦郎」 ＃30
②岡本敦郎
③「草笛の歌」「チャペルの鐘」「ピレネエの山の男」
④　今夜は岡本敦郎特集その2。
　「朝はどこから」「白い花の咲く頃」など、一連のラジオ歌謡で荒廃した戦後の世相に明るさを取り戻してくれた岡本敦郎は、無類の乗り物好き。
　こうした趣味と歌とが一致して彼の歌う曲には「あこがれの郵便馬車」「自転車旅行」「高原列車は行く」など乗り物をテーマにしたものが多く、最近では宇宙ロケットの歌も歌っている。
　今夜はスタジオに岡本敦郎を迎え、乗り物との結びつきを始め、色々なエピソードを紹介する。

6月8日
①「高峰三枝子」 ＃31
②高峰三枝子
③「宵待草」「純情二重奏」「湖畔の宿」「小雨の丘」「南の花嫁さん」
④　”歌う映画スター”男性の第一号が高田浩吉なら、女性の第一号は高峰三枝子である。最初のレコード吹込み「宵待草」が昭和13年というから、デビュー以来30年になる。
　今夜はスタジオに高峰三枝子を迎え、思い出のヒット曲をレコードで聞きながら、隠されたエピソードの数々を聞く、その第1回。
　昭和15年に吹込んだ「湖畔の宿」が”脆弱”という理由で軍部からにらまれ、発売禁止になったものの、ビルマのバーモ長官がこの歌を大変気に入り、このため東条首相から呼び出しを受けて、モンペ姿で歌った話などエピソードは多い。

6月15日
①「高峰三枝子」 ＃32
②高峰三枝子
③「懐しのブルース」
④　高峰三枝子特集のその2。
　戦前「暖流」をはじめ数多くのメロドラマのヒロインを演じ”銀幕の女王”としての地位を占めた高峰三枝子は、”歌う映画スター”としても大活躍、終戦後も「懐しのブルース」「情熱のルンバ」などのヒット曲を生み出した。
　しかしその後、声が出なくなったため、歌謡界を引退した形だったが、今では奇跡的にカムバック、今年の9月には初のリサイタルも予定されている。

6月22日
①「岡晴夫」 ＃33
②岡晴夫
③「東京の花売娘」「上海の花売り娘」「男一匹の唄」「港シャンソン」
④　粋なリーゼント・スタイルで颯爽と現れ、混乱した終戦後の世相に明るさを与えた岡晴夫特集その1。
　東京上野のデパートの店員だった岡晴夫が歌手の道に入ったのは全くの偶然から。たまたま下宿先の近所に、当時流しをしていた作曲家・上原げんとが引っ越してきたのが第一の縁。そして上原げんととコンビを組んでいた人が病気で倒れたという第二の縁が重なって、歌謡界に入った。岡はその後、上原とコンビを組んだ形で、進駐軍の払い下げのイキなジャンパー、リーゼント・スタイルで歌いまくり、各地のステージで絶大な人気を博した。
　今夜はスタジオに岡晴夫を迎えて、ヒット曲とともに思い出話を聞く。

6月29日
①「岡晴夫」 ＃34
②岡晴夫
③「啼くな小鳩よ」「逢いたかったぜ」「あこがれのハワイ航路」
④　岡晴夫特集の2回目。
　岡と言えばマドロススタイルを思い出すが、これはデビュー後、自分の歌に行き詰まりを感じた岡が、観客にとけこむのにどうしたらよいかを考え、舞台でその歌に合った衣装を着ることを考えつき実行したのが始まり。今でこそ趣向を凝らした衣装で客席や花道から歌手が出るのは当たり前だが、当時としては新しい試みとして評判になった。その頃のヒット曲を聞く。

7月6日
①「東海林太郎」 ＃35
②東海林太郎
③「赤城の子守唄」「国境の町」「名月赤城山」
④　今夜は、なつメロ・ファンの圧倒的なリクエストにこたえて、東海林太郎が再登場する。
　今年の2月にこの番組に出演した東海林太郎の話を聞いて、「人生経験豊かな話に感激した」といった手紙が殺到、今後も歌い続けてほしいという激励文も寄せられている。
　なお、中部日本放送ではこの日、中日対阪神戦のナイター中継が組まれていたが、雨天中止となったため雨傘番組として放送された。

7月13日
①「阿部武雄」 ＃36
②阿部未亡人、橋本一郎、岡大作
③「国境の町」「むらさき小唄」「流転」「裏町人生」
④ 昭和のはじめ、数多くのヒット曲を作曲した故・阿部武雄の特集。
人生の哀歌を歌った「国境の町」などを作曲した阿部武雄は、”流し”出身の歌謡作曲家のひとり。昭和のはじめ、毎日ギターを持って銀座一帯を流して歩き、自分が作曲した歌をリクエストする客に出会うと、喜んでお金を受け取らなかったという。
今夜はスタジオに未亡人の八重子、そして昔一緒に”流し”をしていた岡大作（現・作曲家）をゲストに迎え、故人を偲び、思い出話を語る。

7月20日
①「阿部武雄」 ＃37
②藤田まさと
③「妻恋道中」「裏町の灯」「鴛鴦道中」
④ 昭和のはじめ数多くのヒット曲を作曲した故・阿部武雄特集のその2。
「妻恋道中」「鴛鴦道中」など”道中もの”をはじめ多くのヒット曲を作曲した阿部武雄は数々の奇行の持ち主。
今夜はスタジオに故人と親しかった作詞家の藤田まさとを迎え、ヒット曲を聞きながら阿部武雄を偲ぶ。

7月27日
①「中山晋平」 ＃38
②森一也
③「煙草のめのめ」「紅屋の娘」「てるてる坊主」「東京行進曲」「銀座の柳」「東京音頭」
④ ”お盆特集”のきょうは、作曲家の中山晋平を偲び、なつかしのヒット・メロディーを、昔のSPレコードで聞く。
数々のヒット曲を作った中山晋平であるが、それだけに作曲中の態度は厳しかったという。作曲中には部屋に入ることも許さず大変な苦しみ方で、一曲一曲を作っていった。その半面、外の人に対しては温厚な人としての印象が強かったそうである。
ゲストに、珍品レコードの保存日本一と言われる音楽評論家・作曲家の森一也を招き、昔そのままのSPレコードをかけながら、思い出のエピソードで往時を偲ぶ趣向。「煙草のめのめ」「紅屋の娘」「銀座の柳」ほか、いずれも珍しいレコードを聞く。

8月3日
①「中山晋平」 ＃39
②森一也
③「鹿児島小原節」（中山晋平）、「京都行進曲」「祇園囃子」「琵琶湖シャンソン」「波浮の港」「鉾をおさめて」
④ 故・中山晋平特集その2。ゲストの作曲家・森一也の所有する珍品レコードを聞きながら、その曲にまつわるエピソードでつづっていく。
まず一曲目は、中山晋平歌うところの「鹿児島小原節」。三味線は故・豊吉という全く珍しいレコードを聞く。また、”比叡のケーブル灯ともし頃は、胸の想いの灯ともす”と歌われた「京都行進曲」や「祇園囃子」「琵琶湖シャンソン」など、京都にまつわる曲も聞く。

8月10日
①「菅原都々子」 ＃40
②菅原都々子
③「憧れは馬車に乗って」「パパは泣虫」「悲恋椿」「連絡船の唄」「月がとっても青いから」
④　菅原都々子特集その1。
　菅原節と言われて戦後の復興期に、独特のバイブレーション唱法で歌謡界にセンセーションを起こした菅原都々子は昭和2年青森の生まれ。少女時代には一時、古賀政男の養女になったこともあるという。また彼女の父は作曲家の陸奥明で、「パパは泣虫」や「月がとっても青いから」など彼女のための曲も作っている。
　今夜はスタジオに菅原都々子を迎え、「憧れは馬車に乗って」「連絡船の唄」などのヒット曲を聞きながら思い出話を聞く。

8月17日
①徳山璉　＃41
②徳山未亡人、四家文子
③「侍ニッポン」「ルンペン節」「天国に結ぶ恋」「百万人の合唱」「隣組」
④　今は亡き徳山璉の特集。
　今生きていたら66歳という徳山璉は、美声の持ち主であると同時に洒落の名人だったとも言われ、今日のマスコミ時代にはふさわしい人間と言える。彼はまたカツレツが大好きで徳山豚児というあだ名がつけられたほど。
　ゲストに未亡人の徳山ひさ子と、東京音楽学校で同級生かつビクターでも同僚であった声楽家の四家文子を迎え、徳山の人となりを偲ぶ。また、徳山のSPレコードを聞き、その経緯についても聞く。

8月24日
①物故歌手特集　＃42
②
③「君恋し」(二村定一)、「サーカスの唄」(松平晃)、「人生劇場」「緑の地平線」(楠木繁夫)、
「上海帰りのリル」(津村謙)、「東京シューシャイン・ボーイ」(暁テル子)
④　今夜は物故歌手特集で、亡き往年のスター歌手のレコードを聞き、在りし日の声を偲ぶ。
　まず、舞台での態度は一級品と折り紙がつけられていた二村定一の「君恋し」、今から41年前の曲としては大変モダンな感覚で歌われている。続いては松平晃の「サーカスの唄」。芸大出の彼は、しっかりした歌い方で数々のヒットを飛ばした。同じく学校から追放された楠木繁夫の「人生劇場」と「緑の地平線」、そのほか津村謙、終戦当時としては型破りの歌い方で人気を呼んだ暁テル子の歌を聞く。

8月31日
①菅原都々子　＃43
②菅原都々子
③「江の島エレジー」「広東エレジー」「佐渡ヶ島エレジー」「北上夜曲」
④　菅原都々子特集その2。
　多くのエレジーを歌ってエレジー歌手と言われた菅原都々子をスタジオに迎え、当時のエレジー談義を送る。
　静岡公演の際、夫に死なれて自殺をしようと思い立った子供連れの母親が、彼女の歌う「広東エレジー」を聞いて励まされ、自殺を思いとどまってお礼に来た話など、エピソードが紹介される。

9月7日
①東海林太郎　＃44
②東海林太郎
③「お駒恋姿」「すみだ川」「月形半平太の唄」
④　第35回に続いて、聴取者のアンコールに応えて東海林太郎が再出演し、思い出の歌を歌うとともに、当時のエピソードを紹介する。なお、近畿放送では第35回を9月23日、この第44回を9月30日に放送しているため、2週続けての東海林特集となっている（「地域別放送日時リスト」参照）。
　東海林は独特のポーズ――直立の姿勢でマイクに向かうが、その態度は現在の歌手には見られない誠実さを感じさせている。また、東海林は鉄棒の天才児と言われ、世が世ならオリンピックの体操の選手になっていたかもしれないという話など、隠れたエピソードを紹介する。

9月14日
①近江俊郎　＃45
②近江俊郎
③「湯の町エレジー」「山小舎の灯」「南の薔薇」
④　今夜は近江俊郎特集のその1。
　昭和23年、近江が歌った「湯の町エレジー」は、全国的に大ヒットし、当時レコード・プレーヤーが120万台しかなかった終戦直後でありながら、実に400万枚のレコードが売れた。
　今夜はスタジオに近江俊郎を迎え、なつかしのヒット曲を聞きながら、当時の思い出話に花を咲かせる。

9月21日
①近江俊郎　＃46
②近江俊郎
③「湯の町エレジー」「湯の町物語」「湯の町月夜」「湯の町夜曲」
④　近江俊郎特集のその2。
　昭和23年に吹き込んだ「湯の町エレジー」の爆発的ヒットは、温泉気分どころではなかった当時の人々に”湯の煙”に対する明るい郷愁を呼び戻した。
　今夜はスタジオに近江俊郎を迎え、なつかしいヒット曲を聞きながら当時の思い出話を聞く。

9月28日
①松平晃　＃47
②福田和禾子、渡辺敏治
③「急げ幌馬車」「サーカスの唄」「夕日は落ちて」
④　今夜は、聴取者の圧倒的リクエストにこたえて、生来の美声と美貌で一世を支配した松平晃を特集し、なつかしのメロディーを聞きながら故人を偲ぶ。
　ゲストには松平晃の遺児・福田和禾子と、当時松平晃と同じ楽団でアコーディオンを弾いていた渡辺敏治。そして聴取者代表として熱烈なファンだった大阪の井上二三夫が電話で参加する。

10月5日
①松平晃　＃48
②福田和禾子、渡辺敏治
③「花言葉の唄」「初恋日記」
④　先週に引き続き、生来の美声と美貌で一世を風靡した松平晃のアンコール特集その2。
　スタジオに遺児の福田和禾子、松平晃の音楽友達の渡辺敏治を迎え、故人の思い出話に花を咲かせながらなつかしのメロディーを聞く。
　和禾子は「父のような歌い方の歌手はその後、現れていない。父のような歌い方の歌手のため作曲したい。」と語る。

10月12日
①楠木繁夫　＃49
②吉田信
③「人生劇場」「緑の地平線」「白い椿の唄」
④　聴取者のリクエストに応えて、今は亡き楠木繁夫の特集を送る。
　昭和2年”学園の民主化”をめぐって上野の音楽学校から3人の学生が退校させられた。
　その3人とは楠木繁夫、高木東六、そして現在著作権協会常務理事の吉田信。これを1つの大きな体験として、3人それぞれの人生劇場を振り返る。

10月19日
①一周年記念リクエスト　＃50
②木村孝雄
③「旅の夜風」（霧島昇・松原操）、「妻恋道中」（上原敏）、「支那の夜」（渡辺はま子）、「旅笠道中」（東海林太郎）
④　50回記念特集として、今までに聴取者から寄せられた便りを紹介しながら、なつメロファンのリクエストに応える。特に今回はすべて原盤のレコードを使用している。

10月26日
①一周年記念リクエスト　＃51
②木村孝雄
③「人妻椿」（松平晃）、「湖畔の宿（高峰三枝子）」、「かえり船」「啼くな小鳩よ」
④　今夜はリクエスト特集の第2回。
　歌は世につれ、世は歌につれ…。一曲の流行歌には人さまざまの感慨や思い出があるものだが、今夜はなつかしのヒット・メロディーとその曲にまつわる聴取者の便りを織り込んで、30分を送る。レコードは、特にファンの要望に応えて、原盤のSPレコードで昔を偲ぶ。

11月2日
①藤田まさと　＃52
②藤田まさと
③「旅笠道中」（東海林太郎）、「お駒恋姿」（東海林太郎）、「明治一代女の唄」（喜代三）、不明（上原敏）
④　昭和4年、当時大流行した「女給の唄」の向こうをはって、「ウエートレスの唄」をデビュー曲として3人の若者が世に出た。
　1人は作詞家の藤田まさと、もう1人は作曲家の福田蘭童、そして四家文子。
　今夜はこの3人の中からこの道40年の藤田まさとにスポットを当て、彼の作詞した4千曲の中からリクエストの多い曲を原盤のSPレコードで聞く。

11月9日
①藤田まさと　＃53
②藤田まさと
③「流転」（上原敏）、「麦と兵隊」（東海林太郎）、「鴛鴦道中」
④　先週に引き続き、情熱の詩人・藤田まさとをスタジオに迎えて、彼の傑作”やくざものシリーズ”を原盤で聞く。
　藤田は昭和12年、故・上原敏（歌）、故・阿部武雄（作曲）との名コンビでやくざの世界を歌い上げた「流転」を世に送ったが、当時のニヒルな世相を反映し大ヒットとなった。

11月16日
①藤田まさと　＃54
②藤田まさと
③「妻恋道中」「親恋道中」「築地明石町」「大利根月夜」「岸壁の母」
④　昭和4年、作詞家として世に出た藤田まさとをゲストに迎えて、この道40年を振り返り、原盤でなつかしのメロディーを偲びながら当時の社会、風俗などについて話を聞く。
　藤田まさとの作詞を歌っている歌手の中から上原敏、東海林太郎、田端義夫、菊池章子ら往年の歌手の歌を送る。

11月23日
①音丸　＃55
②音丸
③「船頭可愛いや」「下田夜曲」「博多夜船」「満州想えば」
④　今夜は、東京麻布の下駄屋のおかみさんから、その美声を認められ「船頭可愛いや」で一躍スターになった音丸の特集。
　昭和10年「船頭可愛いや」の大ヒットで”音丸時代”を築いた音丸をゲストとしてスタジオに迎え、原盤のSPレコードで当時のヒット曲を聞きながら、思い出話に花を咲かせる。

11月30日
①島田磬也　＃56
②島田磬也
③「泣き笑いの人生」「女の階級」（楠木繁夫）、「裏町人生」（上原敏・結城道子）、不明（小畑実）、
不明（灰田勝彦）
④　熊本出身の人生詩人・島田磬也が世に出てから今日まで40年の歴史を”なつメロ”とともに振り返る。
　昭和8年、主婦之友社が募集した「地上の星座」主題歌（作詩）に当選した時、賞金300円の領収書を書く島田があまりにみすぼらしい格好をしていたため信用されず、筆跡鑑定を受けたという話。その後賞金で貧乏仲間にうな丼や天丼を腹いっぱいにふるまったが、普段粗食の仲間たちは全員腹痛を起こしてしまった話など、古き良き時代を島田磬也が涙ながらに語る。
　曲は原盤のSPレコードを使い、楠木繁夫の歌う「女の階級」、上原敏・結城道子の「裏町人生」など思い出の歌を聞く。

12月7日
①島田磬也　＃57
②島田磬也
③「湖底の故郷」（東海林太郎）、「上海ブルース」（ディック・ミネ）、波止場気質（上原敏）
④　今夜は”熱血の人生詩人”島田磬也がなつメロと共に思い出を語る。
　昭和12年6月に作られた「湖底の故郷」は、東京の新たな水源として湖底に沈んでいった小河内村をうたったもので、社会歌謡のはしりとさえ言われた。今夜は、島田磬也が600世帯、3千人の身の上に人生の哀別離苦の相を見たとして自作の和歌を朗詠。

12月14日
①島田磬也　＃58
②島田磬也
③「夜霧のブルース」（ディック・ミネ）、「長崎エレジー」「紫におう地平線」（楠木繁夫）、
「セトナ愛しや」（菅原都々子）
④　今夜は、先週、先々週に続いて島田磬也特集の第3夜。熊本出身の人生詩人、島田磬也が自作のなつメロと共に作詞家として歩んできた道を振り返り、交友録を紐解く。
　レコードは、特に原盤のSPレコードを使用する。

12月21日
①佐伯孝夫　＃59
②佐伯孝夫
③「僕の青春」「燦めく星座」「無情の夢」
④　佐伯孝夫特集その1。
　人情の機微を筆に託して40年。今夜は、昭和44年度レコード大賞特別賞を獲得した、永遠の青年詩人、佐伯孝夫をゲストに迎え、40年の作詞生活を振り返る。
　佐伯は、新聞記者時代にアルバイトで始めた作詞が本業となり、藤山一郎の「僕の青春」から青江三奈の「新宿サタデー・ナイト」に至るまで数多くの名作を作り上げている。思い出話を織り込みながら、ヒット曲を聞く。

12月28日
①佐伯孝夫　＃60
②佐伯孝夫
③「明日はお立ちか」（小唄勝太郎）、「新雪」（灰田勝彦）、「湯島の白梅」（小畑実・藤原亮子）、「銀座カンカン娘」（高峰秀子）、「有楽町で逢いましょう」（フランク永井）
④　今夜は先週に引き続き、今年のレコード大賞特別賞に輝く佐伯孝夫を迎え、作詞生活40年の思い出を聞く。
　曲目は、小唄勝太郎の「明日はお立ちか」からフランク永井の「有楽町で逢いましょう」まで戦前戦後の代表的なヒット曲を送る。

昭和45年1月4日
①時雨音羽・服部良一・古関裕而　＃61
②時雨音羽、服部良一、古関裕而
③「出船の港」（藤原義江）、「別れのブルース」（淡谷のり子）、「船頭可愛いや」（音丸）
④　新春特集第1回の今夜は、昨秋、紫綬褒章を受章した詩人の時雨音羽、作曲家の服部良一、古関裕而の三氏をゲストに迎えて、昭和初期の代表的な流行歌を集める。
　原盤のSPレコードで”なつメロ”を聞きながら、デビュー当時の苦心談や最初のヒット曲の喜びなどを語る。

1月11日
①榎本健一　追悼　＃62
②
③「モンパパ」「洒落男」「法界坊」
④　去る7日にこの世を去った”日本の喜劇王”榎本健一を偲び、エノケン最後のラジオ出演となった、この番組昨年3月の”榎本健一特集”を再放送する。
　芸能生活45年を振り返り、その泣き笑い人生を語るとともに、得意の歌を披露している。
　なお、放送当日の読売新聞東京版朝刊には「湖畔の宿」と書いてあり、もともとは第63回放送分をこの日に放送する予定であったと思われる。

1月18日
①時雨音羽・服部良一・古関裕而　＃63
②時雨音羽、服部良一、古関裕而
③「湖畔の宿」（高峰三枝子）、「暁に祈る」（伊藤久男）、「鉾をおさめて」（藤原義江）
④　今夜は、新春特集の第2回として、紫綬褒章受章の時雨音羽、服部良一、古関裕而の三氏をゲストに迎え、昭和15年頃ヒットした曲にまつわるエピソードなどを回顧し、原盤レコードで当時を偲ぶ。

昭和45年

1月25日
①時雨音羽・服部良一・古関裕而　＃64
②時雨音羽、服部良一、古関裕而
③「夢淡き東京」「君恋し」「蘇州夜曲」
④　今夜は、日本の歌謡界に数多くのヒット曲を生み出してきた、時雨音羽、服部良一、古関裕而の三氏をスタジオに迎え、ヒットする曲、ヒットしない曲、いわゆる三分芸術の宿命と哀感を聞く。
　特に今夜は、三氏が今後の抱負や夢を、1970 年代のビジョンとして発表する。

2月1日
①菊池章子　＃65
②菊池章子
③「九段の妻」「岸壁の母」「星の流れに」「九段の母」「春の舞妓」「真白き富士の嶺」
④　今夜は菊池章子特集を送る。
　戦後の荒廃した時期に世相を反映した曲で数々のヒットを出したが、中でも「九段の妻」「岸壁の母」それに「星の流れに」は、人々の涙を誘うとともに深い感銘を与えた。
　今夜はその他に彼女が多く歌った映画主題歌も含めて、当時の様子を振り返ってみる。

2月8日
①菊池章子　＃66
②菊池章子
③「春の舞妓」
④　菊池章子特集の第2回だが、ラジオ関東でしか放送されていない模様。

2月15日
①田村しげる　＃67
②田村しげる
③「山は夕焼け」「母をたずねて」「大地の春」
④　東海林太郎を世に送り出し、大成させたといわれる作曲家・田村しげる特集で、同氏が思い出を語る。その第1回。
　東海林太郎が今あるのは、田村しげるゆえと言われている。それは、関西のニットーレコードのテストを受けた東海林太郎が不合格となってしおしお帰っていくのを見た田村しげるが、自分が全責任を持つからとキングレコードのディレクターに頼んで東海林太郎をデビューさせたといういきさつがあるからである。その後、東海林は田村に師事し歌手への道を歩むことになったが、東海林の初期の作品はすべて田村の手になるものだ。
　東海林のデビュー当時からのエピソードを織り込み、原盤でヒット曲を聞く。

2月22日
①田村しげる　＃68
②田村しげる
③「白い花の咲く頃」「女の友情の唄」「夕月の歌」「アカシアの夢」
④　前回に続き、作曲家・田村しげるがゲスト出演し、思い出話を語る。
　明治41年、京に生まれた田村の愛妻は作詞家の故・寺尾智沙、そしてお嬢さんは女優の田村奈巳だが、昭和25年、岡本敦郎が歌ってヒットした「白い花の咲く頃」は、智沙と田村の合作だ。この3月には奥さんを偲んで自伝を発表するという。この道40年を振り返り、歌手としては東海林太郎、作詞家としては愛妻の智沙が最も気の合ったコンビだったと語る。
　特に今夜は「なつメロ愛好会」の福田俊二秘蔵のオリジナルSPレコードで当時を偲ぶ。

3月1日
①青葉笙子　＃69
②青葉笙子、福田俊二
③「関の追分」「夢の城ケ島」「戦場撫子」「鴛鴦道中」
④　戦前の人気歌手・青葉笙子の特集その1。
　昭和11年、読売新聞主催ののど自慢に17歳の少女が応募し、当時流行していた「下田夜曲」を歌って見事優勝した。
　この仙台出身の少女は、仙台の青葉城から名前をとって、歌手・青葉笙子が誕生した。
　彼女は、昭和13年に上原敏とコンビで歌った「鴛鴦道中」で一躍スターダムにのし上がったが、今日はその頃の思い出を”なつメロ愛好会”会長の福田俊二も加わって語り合う。

3月8日
①青葉笙子　＃70
②青葉笙子、福田俊二
③「七色の花」「兄妹」「島のあけくれ」「鴛鴦道中」
④　青葉笙子特集その2。
　昭和13年に上原敏と歌った「鴛鴦道中」で一躍スターになったが、その頃はいつも上原敏と一緒にいたために、夫婦と間違えられた話、また、戦争中に慰問に行った話などを、なつメロ愛好会の福田俊二を交えて話す。
　曲目は「七色の花」「兄妹」「島のあけくれ」、そしてアンコール曲として「鴛鴦道中」を原盤のSPレコードで聞く。

3月15日
①上原げんと　＃71
②岡晴夫
③「国境の春」「上海の花売り娘」「港シャンソン」
④　5年前急死した作曲家・上原げんと特集の第1夜。
　昭和13年のある日、銀座のバーで飲んでいた東海林太郎の前に、二人組の流しが入ってきた。岡晴夫と上原げんとで、これが2人が世に出るきっかけとなった。
　今夜はゲストに岡晴夫を迎え、上原の人間像や、2人が昭和14年2月に「国境の春」で華々しくデビューしてからも、流しやチンドン屋の経験が血となり肉となって数々のヒット曲を生み出した話などの当時のエピソードを回顧する。

3月22日
①上原げんと　＃72
②岡晴夫
③「東京の花売娘」「逢いたかったぜ」「ひばりのマドロスさん」
④　昭和14年2月に「国境の春」でキングレコードからデビューした上原げんとと岡晴夫の名コンビは、昭和26年の上原のコロムビア入りで袂を分かったが、昭和30年に岡晴夫は上原げんとを慕ってコロムビアに入り大ヒット曲の「逢いたかったぜ」を生んだ。

3月29日
①軍歌特集　＃73
②八巻明彦
③「討匪行」（藤原義江）、「露営の歌」（伊藤久男）、「麦と兵隊」（東海林太郎）、
「太平洋行進曲」（藤原義江・四家文子）、「同期の桜」
④　”軍歌は兵隊のシャンソン”だと言われる。特に青春を戦争に捧げた戦中派の心の拠り所は軍歌と言えるかもしれない。今夜と来週の2回にわたって、戦時歌謡曲を中心に支那事変当時を偲んでみる。ゲストは軍歌の研究でも知られる八巻明彦。

4月5日
①軍歌特集　＃74
②八巻明彦
③「加藤隼戦闘隊」(灰田勝彦)、「同期の桜」「空の神兵」「若鷲の歌」「轟沈」
④　先週に続いて、軍歌特集のその2。
　先週の支那事変当時の思い出の曲から、今週は太平洋戦争当時の戦時歌謡曲を中心にして送る。
　ゲストは軍歌の研究で知られる八巻明彦。当時の思い出話や裏話は大変興味深い。

4月12日
①林伊佐緒　＃75
②林伊佐緒
③「ダンスパーティーの夜」「若しも月給が上ったら」「女性の戦い」「黄昏の南海」「点数の唄」
④　林伊佐緒特集その1。
　歌手として作曲家として、それに編曲家として活躍している林伊佐緒は、最初は作曲家になるつもりだったという。
　今夜は「ダンスパーティーの夜」から始まり「若しも月給が上ったら」「女性の戦い」と続いて「黄昏の南海」「点数の唄」を聞く。この中で「黄昏の南海」は林伊佐緒自身の作曲で、自作自演という曲。なお全部SP原盤で送る。

4月19日
①林伊佐緒　＃76
②林伊佐緒
③「ダンスパーティーの夜」「高原の宿」「ブギ真室川音頭」「おこさルンバ」「麗人草の唄」「若しも月給が上ったら」
④　林伊佐緒特集その2。
　作曲家としても色々な曲を作っている林伊佐緒は、歌手になる以前から作曲の勉強をしていたそうである。
　今夜は彼自身の作曲になる「ダンスパーティーの夜」「高原の宿」の他、昭和29年に発売された「ブギ真室川音頭」「おこさルンバ」などのジャズ民謡を当時の思い出話と共に聞く。
　この他映画主題歌の「麗人草の唄」「若しも月給が上ったら」など原盤のSPレコードで送る。

4月26日
①中野忠晴　＃77
②中野未亡人、吉田信
③「走れ大地を」「山の人気者」「山寺の和尚さん」「おーい中村君」
④　去る2月19日、世を去った歌手で作曲家の中野忠晴の特集。
　中野は、昭和7年5月「夜霧の港」でデビューし、数々のヒット曲を生んできた。ゲストに未亡人の照子、日本音楽著作権協会常務理事の吉田信を迎え、その生涯を回想する。

5月3日
①中野忠晴　＃78
②中野未亡人、吉田信
③「小さな喫茶店」「バンジョーで唄えば」「チャイナ・タンゴ」「おさらば東京」
④　先週に続いて、故・中野忠晴特集の2回目。ゲストに夫人の中野照子と吉田信を迎えて、思い出話を聞く。
　一曲目の「小さな喫茶店」は昭和10年の曲で、当時としては新しい感覚のタンゴの曲で、喫茶店の流行と共に大いにヒットした。
　この他「バンジョーで唄えば」「チャイナ・タンゴ」など彼自身がプロデュースし自ら歌った曲などを原盤のSPレコードで聞く。

<u>5月10日</u>
①江口夜詩　＃79
②江口浩司
③「哀しき口笛」「忘られぬ花」「十九の春」「時雨ひととき」
④　今夜はギランバレー氏病という難病で病床生活を続けている作曲家・江口夜詩を激励する特集その1。
　海軍軍楽隊から作曲家へと転身した江口夜詩は、昭和7年「哀しき口笛」でデビュー。以後「忘られぬ花」「時雨ひととき」「十九の春」と大ヒットを飛ばすが、いわゆる江口調は不思議な魅力でファンにアピールした。
　なお、「十九の春」には、”美人コンテスト””水の江瀧子ストライキ事件”など多くのエピソードがある。
　今夜はポリドール時代とコロムビア時代にスポットを当て、病床の江口に代わって、子息の作曲家・江口浩司らが原盤のレコードを聞きながら当時を偲ぶ。

<u>5月17日</u>
①江口夜詩　＃80
②江口浩司
③「秋の銀座」「夕日は落ちて」「花嫁行進曲」「急げ幌馬車」「夜霧の波止場」
④　今夜は先週に引き続き、江口夜詩特集。
　作曲家・江口夜詩は歌手のスカウト育成にたけ、その門下から松平晃、ミス・コロムビア、近江俊郎、小畑実、津村謙、春日八郎、曽根史郎といった逸材が輩出しているが、今夜は、コロムビアの江口夜詩全盛時代を原盤のSPレコードを聞きながら偲ぶ。

<u>5月24日</u>
①岡晴夫追悼　＃81
②
③
④　読売新聞東京版朝刊には「江口夜詩特集」と書いてあり、当初は江口夜詩特集の3回目を放送する予定であったと思われる。
　ラジオ関東でしか放送されていない模様であるが、近畿放送の昭和46年4月27日放送分が岡晴夫特集（詳細不明）となっており、ひょっとしたらこの回を放送したのかもしれない。

<u>5月31日</u>
①江口夜詩　＃82
②江口浩司
③「長崎のザボン売り」
④

<u>6月7日</u>
①藤原義江　＃83
②藤原義江
③「出船の港」「出船」「波浮の港」
④　わが国オペラ運動の先駆者、テノール歌手の藤原義江をゲストに迎える。
　日本に外資系レコード会社が出現したのは昭和2年だが、藤原義江の「波浮の港」は記念すべき第一号レコードとなった。当時のレコードは大半が黒レーベルで定価が1円50銭だったが、藤原義江のレコードは全部赤レーベルで2円50銭と高かった。原盤でヒット曲を聞きながら、今年72歳になる藤原義江にエピソードの数々を聞く。
　また、はじめ日本一のハムレット役者になろうと志し、戸山英次郎の芸名でデビュー。その後、美声をかわれてオペラ歌手に転向したいきさつなどを語る。

6月14日
①藤原義江　＃84
②藤原義江
③「鉾をおさめて」「討匪行」「つわものの唄」「太平洋行進曲」
④　オペラ歌手・藤原義江特集の第2回。
　昭和7年、藤原の自作自演の曲「討匪行」は、反戦的な詩のため発禁になった。この時のエピソードを中心に、現代歌手、音楽界への批判、30年前のプロ野球の模様などを大いに語る。
　高音部のびょうようとした藤原の節回しはちょうど絹糸のようなテリとツヤがあり、これは「藤原ブシ」と言われたが、歌手は自分のフシを持たなければいけないという。
　今年72歳の長老・藤原義江が今の若い歌手に訴える言葉はそのまま社会時評にもなりそうだ。

6月21日
①東海林太郎1　＃85
②東海林太郎、榊原道雄
③「赤城の子守唄」「山は夕焼け」「国境の町」「むらさき小唄」
④　今夜から4回にわたって東海林太郎特集を送る。
　東海林太郎がスターになったのは「赤城の子守唄」の大ヒットからだが、それまではヤクザものなど縁もゆかりもなかった東海林は歌う時大変困ったという。オペラ調子で歌おうと決心したら佐藤惣之助に「男が泣く唄だよキミ」と言われたという。

6月28日
①東海林太郎2　＃86
②東海林太郎、榊原道雄
③「高瀬舟」「忠治子守唄」「麦と兵隊」「名月赤城山」
④　先週に引き続き、歌謡界の大御所・東海林太郎の歌に耳を傾けながら、これらの歌にまつわる数々のエピソードを披露する。
　今夜は「高瀬舟」から「名月赤城山」までをオリジナルの原盤SPレコードで聞きながら東海林太郎の人となりを浮き彫りにするが、いわゆる歌謡曲を文芸歌謡に昇華させたところに、人間東海林太郎の真骨頂がある。
　ゲストは東海林太郎と、日本音楽事業者協会事務局長の榊原道雄。東海林太郎の歌のよさが最もよく表れている「忠治子守唄」「麦と兵隊」も聞く。
　「高瀬舟」「忠治子守唄」は低音から高音に至るまで幅の広い音域を持ち、東海林が歌の道に精進するためにはもってこいの曲であった。
　また、東海林は、現代の歌手が裏声を使ったり、マイクを利用して器用に歌っているが、それは歌の邪道だと批判する。

7月5日
①東海林太郎3　＃87
②東海林太郎、島田磬也
③「湖底の故郷」「旅笠道中」
④　詩人の島田磬也を迎えての東海林太郎特集の1回目。作曲家の故・大村能章に対して東海林太郎が抱いた最初の印象は”歌手としては乙の下”だったという。大村は「甲の上になるよう努力します」と答えたが、勝手なことをいうなァと思った…など。
　思い出話をはさみ、往年のヒット曲を送る。なお朗詠の得意な島田が東海林太郎を讃える歌を歌う。

7月12日
①東海林太郎4　＃88
②東海林太郎、島田磬也
③「人生航海」「泣き笑いの人生」「東京物語」「軍事郵便」「小諸追分」
④　東海林太郎特集。詩人の島田磬也を迎えての2回目。
　島田は「泣き笑いの人生」「人生航海」などの作品がヒットし、人生詩人として一般に知られるようになったが、酔うと電信柱によじ登り大声で歌を歌うなど、仲間から電柱詩人と呼ばれていた。その他ほほえましいエピソードを交えて東海林太郎特集を送る。

7月19日
①高橋掬太郎　＃89
②松岡醇三
③「片瀬波」「酒は涙か溜息か」「下田夜曲」「利根の舟唄」
④　去る4月9日、69歳で世を去った作詞家・高橋掬太郎を偲ぶ特集。
　昭和6年のある日、コロムビアの文芸部に一通の投書が舞い込んだ。中身は一編の詩で、これを古賀政男先生に作曲してほしいと書いてあった。差出人は高橋掬太郎。これが名曲「酒は涙か溜息か」誕生のエピソードだが、これを契機にコロムビアで高橋掬太郎時代を築く。
　今夜は、特に今度発売になった日本コロムビア設立60周年記念オリジナル盤による「明治・大正・昭和日本流行歌の歩み」のレコードを使う。

7月26日
①女性歌手集　＃90
②松岡醇三
③「復活唱歌」「籠の鳥」「赤い睡蓮」
④　全国のレコード収集家が保存する古いレコードを集め、これをLPに復刻した「明治・大正・昭和日本流行歌の歩み」が、なつメロ愛好家の間で話題を呼んでいる。そこで、この中に収められた女性歌手の歌を、松井須磨子から李香蘭（山口淑子）まで聞きながら、当時のエピソードを探る。
　また、このレコードの制作に当たったコロムビアの松岡醇三が制作苦心談を披露する。
　「復活唱歌」は女優・松井須磨子が歌っているもので、上手ではないが珍しいもの。また、秋山静代の歌う「ジンジロゲ」は作詞者の高橋掬太郎が浅草で、あるインド人と大喧嘩したあと仲直りして教えてもらった歌をアレンジしたもの。後の森山加代子のヒット曲のもと歌である。

8月2日
①東海林太郎5　＃91
②東海林太郎、湯川容輔
③「流転まつり唄」「母に捧ぐる唄」「玄海の月」「島ちどり」
④　今夜から再び東海林太郎特集。
　東海林太郎には数多くのファンがいるが、今夜は、東海林太郎吹込みのレコード2千曲を収集し、”天皇陛下の次に偉いのが東海林太郎である”と信じている熱狂的なファン――神戸在住の公務員・湯川容輔が秘蔵レコードの中から珍品を披露する。

8月9日
①東海林太郎6　＃92
②東海林太郎、湯川容輔
③「どぶろくの辰」「さらば赤城よ」「椿姫の唄」「土と兵隊」
④　東海林太郎特集6回目。今夜も先週に続いて、熱狂的な東海林太郎ファン、神戸の公務員・湯川容輔が秘蔵のレコードから珍品を披露する。
　「自分の人生を東海林太郎にかけた」という湯川は、この貴重なコレクションを子孫まで伝えていきたいと目を輝かせ、東海林太郎と握手するとその場で泣き崩れてしまう。

8月16日
①美ち奴　＃93
②美ち奴、島田磬也
③「あゝそれなのに」「あゝ恋無情」「細君三日天下」
④　今夜は美ち奴特集の第1夜。
　昭和11年に大ヒットした「あゝそれなのに」は、発売禁止になるまでに当時としては記録的な数である90万枚のレコードを売りつくした。当時この曲の替え歌が多く作られそれをメモした手帳を美ち奴が取られ、それを返してもらう時に警察で絞られた話などをゲストの島田磬也を交えて聞く。
　また、当時一緒に仕事をした杉狂児にも電話で思い出話を聞く。大正6年、北海道で生まれた久保染子という少女が、美ち奴として華々しくデビューするまでの思い出を語り合う。

8月23日
①美ち奴　＃94
②美ち奴、島田磬也
③「鈴鹿追分」「軍国の母」「霧の四馬路」「吉良の仁吉」
④　先週に続いて美ち奴の特集を送る。
　昭和11年から12年にかけてテイチクレコードは古賀メロディーを藤山一郎、ディック・ミネ、楠木繁夫、美ち奴が歌って全盛時代を迎えたが、今夜は美ち奴の交友録を紐解きながら思い出の歌を原盤で聞く。

8月30日
①上原敏1　＃95
②秩父重剛、片桐鉄之助
③「露営の一夜」「暁の塹壕」「妻恋道中」
④　太平洋戦争で戦死した上原敏の歌を4回にわたり特集する。
　四分六に綺麗に分けた頭髪、痩せ型で面長のロイド眼鏡、美声ではないが伸びのある低音、淡々とした唱法は、昭和戦乱期における灰色の青春の心の糧として、心の泉として広く大衆の心を捉えた。
　昭和19年7月29日にニューギニアで戦死した上原敏の27回忌の法要が、去る7月25日、東京・芝の増上寺で営まれたが、今夜はスタジオに上原敏の義兄で作詞家の秩父重剛、東京在住のファン・片桐鉄之助の両氏を招いて、27回忌の模様を録音で聞きながら片桐秘蔵の珍品レコードを紹介してもらう。

9月6日
①上原敏2　＃96
②藤田まさと
③「妻恋道中」「流転」「鴛鴦道中」
④　上原敏特集その2。
　人気俳優上原謙の上原、フランス文学者上田敏の敏をとって上原敏という芸名ができたが、昭和12年、藤田まさと作詞の「妻恋道中」を歌って文字通りスターダムにのし上がった。
　今夜はスタジオに藤田まさとを招いて、ヒット曲をエピソードを伺いながら原盤で聞く。特に「流転」は藤田まさとと作曲家・阿部武雄が大森の料亭で芸者を総見、20日間居続けして芸者の反応を見ながら書き上げた話や、先日亡くなった西城八十が「流転」を聞くとあの世へ吸い込まれそうな甘美な味があると激賞した話など、裏話が多い。

<u>9月13日</u>
①上原敏3　＃97
②藤田まさと
③「親恋道中」「木曽の流れ唄」「石松旅だより」「波止場気質」
④　「上原敏、敏さんは本当にいる人だった。敏さんを失ったさびしさは27年前も今も変わらない。」作詞家・藤田まさとはしみじみ語る。

スタジオに藤田まさとを迎え思い出話を聞くが、特に今夜は、今は亡きエノケン司会の前線兵士慰問の珍品レコード「歌は前線へ」をかけ、生前の上原敏の肉声を聞く。エノケンのリクエストに応えて上原敏がコミカルに「波止場気質」を歌うのが面白い。

<u>9月20日</u>
①上原敏4　＃98
②藤田まさと
③「妻恋旅姿」「追分道中」「鴛鴦春姿」
④　上原敏特集の第4夜。

上原敏は堅い人物で浮いた話はないが、酒はめっぽう強いということであった。東海林太郎、高田浩吉、それに上原敏の3人が京都で酒を飲んだ時のこと、夕方5時から翌朝9時までぶっ続けで飲んだが、その後、東海林太郎を1キロ余りの道のりをホテルまで送っていったというエピソードがある。

こうした話をゲストの藤田まさとに聞きながら綴っていく。

<u>9月27日</u>
①100回記念リクエスト　＃99
②藤田まさと、広中雅幸、木村孝雄
③「旅姿三人男」（ディック・ミネ）、「国境の町」（東海林太郎）、「旅の夜風」、渡辺はま子の歌
④　この番組も来週で100回目を迎える。そこで今夜から3週にわたって100回記念特集を送る。

今までこの番組に登場した人々は、歌手30人、作詞家10人、作曲家10人で、なつメロ関係者全員を網羅した感があるが、聴取者からは、誰々の特集を聞き漏らした、何々の歌を聞き損なったので再放送をという要望がしきりで、この際、こういう聴取者のリクエストに応えようというもの。

<u>10月4日</u>
①100回記念リクエスト　＃100
②藤田まさと、広中雅幸、木村孝雄
③「湖畔の宿」（高峰三枝子）、「男の純情」（藤山一郎）、「明日はお立ちか」（小唄勝太郎）、「暁に祈る」（伊藤久男）
④　放送100回記念の”総集版”の第2夜。今夜は、今までこの番組に登場した歌手、作詞家の中で評判のよかったものから、勝太郎、藤山一郎、伊藤久男、高峰三枝子ほかの歌をダイジェストして放送する。

「湖畔の宿」が発売禁止になったのに東条首相に呼ばれた高峰三枝子がモンペ姿で灯火管制の首相官邸で灰田勝彦の伴奏で「湖畔の宿」を歌わせられた話とか、「男の純情」を聞いて藤山一郎が当時の録音風景を思い出し、ハワイアン・ギター伴奏のディック・ミネが梯子に足をかけてマイクに近づいたワンポイント（マイク一本のみ）の昔をなつかしがる話は、日本歌謡史に記録しておきたい裏話だ。

<u>10月11日</u>
①100回記念リクエスト　＃101
②藤田まさと、広中雅幸、木村孝雄
③「啼くな小鳩よ」「人生劇場」「東京の花売娘」、音丸の歌
④　100回特集の第3夜。
　過去の放送で色々反響があったが、楠木繁夫特集で、まだ楠木繁夫の墓がないことを放送すると、楠木繁夫夫妻の比翼塚を建てようと聴取者の方たちが、日本歌手協会長・東海林太郎、日本作曲家協会長・古賀政男、日本作詞家協会長・藤田まさとの各氏を動かし、近く楠木繁夫比翼塚建設運動が始まることになった。
　こうした思い出を振り返って、今夜は岡晴夫、楠木繁夫、菊池章子ほかの歌と声でつづる。
　なお比翼塚建立の話は、昭和45年3月21日付読売新聞東京版朝刊においても取り上げられている。

<u>10月18日</u>
①上原敏5　＃102
②鈴木幾三郎、秩父重剛
③「裏町人生」「上海だより」「いろは仁義」
④　再び上原敏特集を送る。
　スタジオに当時ポリドール・レコード社長の鈴木幾三郎と義兄の作詞家・秩父重剛を招いて、今までの歌謡史にない秘話を聞く。特に、上原敏のデビュー曲は「恋の絵日傘」であるという定説に対して鈴木社長が、実はその前に「恋の網笠」があったと証言するのは興味深い。

<u>10月25日</u>
①上原敏6　＃103
②鈴木幾三郎、秩父重剛
③「安兵衛ぶし」「北満だより」
④　今夜もスタジオに元ポリドール・レコード社長の鈴木幾三郎と義兄の作詞家・秩父重剛を招いて、上原敏にまつわる秘話を聞く。
　当時「格調高いビクター、甘い歌謡曲のコロムビア」に対抗して、ヤクザ路線で切り込んで成功したポリドールには、A面を東海林太郎で、B面を上原敏でという強力スタッフがあったからだという裏話など。

<u>11月1日</u>
①サトウハチロー　＃104
②サトウハチロー
③「麗人の唄」「二人は若い」「お蝶夫人の唄」「古き花園」
④　”永遠の青年”と言われる詩人、サトウハチロー特集。
　サトウハチローは、戦前・戦中の灰色時代に、青空を見るような夢を感じさせ、大衆の心をとらえた。昭和5年、サトウハチローが27歳の時、菊田一夫と一緒にやっていたラリルレロ玩具製作所が経営難に陥り、大衆食堂で一合8銭の安酒と一丁2銭の冷や奴で一杯やりながら書いたのが「麗人の唄」。これが、父・佐藤紅緑原作の「麗人」の映画主題歌になったのを機に、流行歌を書くようになった。
　彼の知られざるエピソードとともに彼のヒット作を聞く。

<u>11月8日</u>
①サトウハチロー　＃105
②サトウハチロー
③「目ン無い千鳥」「小雨の丘」「めんこい仔馬」「夢淡き東京」
④　今夜は先週に続いてサトウハチロー特集その2を送る。
　永遠の詩人と言われるサトウハチローは、常に生活の底に流れるペーソスあふれる作品で、人々の心に触れる作品を作ってきた。
　その意味からしてもあの幅広い作品が大衆に受けたのだが、今夜はその幅広いレパートリーから「目ン無い千鳥」「小雨の丘」「めんこい仔馬」「夢淡き東京」他を送る。

11月15日
①松島詩子・細川潤一　＃106
②松島詩子、細川潤一
③「潮来の雨」
④　今夜から3回にわたって、「マロニエの木陰」「友よいづこ」「上海の踊り子」などの傑作を生んだ作曲家・細川潤一と歌手・松島詩子の名コンビの特集を送る。
　昭和7年のある日、電気技師・浅川正躬と女学校の音楽教師・内海シマがキングレコードのスタジオで偶然出会い、これが日本歌謡史にひとつのエポックを作る結果になった。
　このコンビこそ数年後の作曲家の細川、歌手の松島であった。
　今夜はスタジオに細川潤一、松島詩子の2人を招き、今まで活字になっていない秘話を聞きながらなつメロを原盤で聞く。

11月22日
①松島詩子・細川潤一　＃107
②松島詩子、細川潤一
③「僕の父さん」「母子船頭歌」
④　昭和12年3月、戦時中にしては珍しい心の洗われるような美しい曲が世に出た。
　細川潤一作曲で松島詩子の歌う「マロニエの木陰」。当時、敵性音楽反対のご時世で、この珠玉のようなタンゴに会社は冷たく宣伝もしなかったが、戦後にわかにリバイバルした。松島詩子は昭和21年と41年にも吹き込んだが、細川潤一は昭和12年の原盤が一番いいと言う。
　今夜はスタジオに2人を招き、名作誕生の秘中の秘を聞く。

11月29日
①松島詩子・細川潤一　＃108
②松島詩子、細川潤一
③「上海の踊り子」「広東の踊り子」「勘太郎子守唄」「喫茶店の片隅で」「船は港にいつ帰る」
④　今夜の聞きものは「上海の踊り子」と「広東の踊り子」。昭和15年、細川、松島の名コンビで踊り子シリーズが大ヒットした。
　中華料理でも上海料理と広東料理で味が違うように、「上海の踊り子」と「広東の踊り子」の作曲には苦心して、わざわざ上海と広東に旅行して二つの町の違いを肌で感じ取ってきたという。
　更に今夜は細川潤一、松島詩子が交友録を紐解くが、あたかも当時のキングレコード・オールスター・パレードの趣があり、同じ人でも作曲家から見た目と歌手からの目の違いがあって面白い。

12月6日
①古関裕而　＃109
②古関裕而
③「紺碧の空」「利根の舟唄」「船頭可愛いや」
④　3回にわたって、古関裕而をゲストに、彼の作品を集める。
　昭和5年6月、当時としては破格の契約金200円でコロムビアの作曲家となった21歳の青年・古関裕而はヒット曲が出ず、肩身の狭い思いをしていたが、早稲田大学応援歌「紺碧の空」、そして昭和9年夏「利根の舟唄」でヒット。昭和10年夏「船頭可愛いや」で大ヒット。昭和12年秋「露営の歌」で大ホームラン。古関裕而の名を不動のものとした。
　今夜は古関裕而が「露営の歌」にまつわる秘中の秘を披露する。

12月13日
①古関裕而　＃110
②古関裕而
③「暁に祈る」「若鷲の歌」「愛国の花」「海の進軍」
④　作曲家の古関裕而をゲストに、彼の一連の戦時歌謡曲を、その思い出とともに聞く。陸・海・空の傑作軍歌「暁に祈る」「海の進軍」「若鷲の歌」の誕生の動機を語る。

「あゝあの顔であの声で、手柄頼むと妻や子が…」。戦時中、戦前と言わず銃後と言わず、この歌ほど声高らかに、涙ながらに歌われた歌はない。そして戦後も日本人の心の歌として今なお生きている「暁に祈る」。

当時、陸軍省・馬政課長の栗林忠道大佐のアイデアで作られたもので望郷の念に駆られる兵隊の心を、祖国愛と馬への愛情で色づけしながら、大きくうねる調律の中に生き生きと描き上げた戦時歌謡の傑作。ところが野村俊夫の詩が陸軍省の気に入らず、書き直し8回目、ヤケ気味で「あゝあ、あの顔で…」とやったらやっとOKになったという。

昭和13年に発表された「愛国の花」は、前奏のユニークさ、人々の共感を呼ぶメロディー・歌詞でヒット。

12月20日
①古関裕而　＃111
②古関裕而
③「夢淡き東京」「長崎の鐘」「鐘の鳴る丘」「君の名は」「忘れ得ぬ人」
④　今夜はスタジオに古関裕而を招き、「君の名は」の春樹と真知子のエピソードなどを中心に古関メロディーの戦後版を紐解く。

12月27日
①服部良一・富子　＃112
②服部良一、服部富子
③「別れのブルース」「雨のブルース」
④　3回にわたって、この19日に東京・銀座のヤマハホールで”あに・いもうとの会”を開いて、その健在ぶりを示した作曲家の服部良一、歌手の服部富子を特集する。

第1夜は、服部兄妹に、この会の企画目的、古賀政男や大村能章といった先輩作曲家に対抗した服部メロディーの秘密、服部富子のデビュー曲「満州娘」の裏話などを送る。

昭和46年1月3日
①服部良一・富子　＃113
②服部良一、服部富子
③「湖畔の宿」「牡丹の曲」
④　作曲家の服部良一と歌手の富子兄妹特集の第2夜。今夜の聞きものは、山田五十鈴が吹き込んだ珍品レコード。

服部良一作品の中でも、山田が歌った曲は、ユニークなものとして知られている。昭和16年、映画「上海の月」の主題歌「牡丹の曲」がそれだが、演技派の彼女もオーケストラの前ではあがりっ放しでNGの連続。最後は1人スタジオの壁に向かいひっそり歌ったという。ところがこれが大ヒット。

今夜はスタジオに服部良一、服部富子の兄妹を招き、服部メロディーの秘密を聞く。

なお、山田の「牡丹の曲」について、放送日当日の京都新聞朝刊では「彼女の最初で最後のレコードになりそうだ。」、中日新聞朝刊では「山田の最初で最後のレコードとなっている。」とそれぞれ紹介されている。

1月10日
①服部良一・富子　＃114
②服部良一、服部富子
③「夜のプラットホーム」「銀座カンカン娘」「小鳥娘」「青い山脈」
④　服部良一、富子の兄妹をスタジオに招いて、服部特集その3夜。
　戦後一世を風靡したブギのリズムをいち早く取り入れ流行歌にした中で、ブギの女王と言われた笠置シズ子が日劇の舞台からオーケストラ・ボックスに落ちたという話や、「青い山脈」を作る時、大阪から京都へ行く電車の中でメロディーをハーモニカの符号で手帳に書いていたところヤミ屋に間違われた話など。
　いつものようにヒット曲の裏話を交えながらレコードを聞く。

1月17日
①レイモンド服部　＃115
②レイモンド服部
③「戦場の子守唄」
④　今夜から3回にわたって、アナウンサー出身のユニークな作曲家・レイモンド服部の特集を送る。
　本名、服部逸郎。明治40年、横浜生まれ。ハワイのホノルル、ブナホワ音楽学院で声楽と作曲を専攻した後帰国。「港の別れ」「南国の夕映え」など、当時としてはバタ臭い作曲を手掛けていたが、東海林太郎の「忠治子守唄」の作曲で、一躍異色の作曲家として注目された。
　今夜はスタジオにレイモンド服部を迎え、アナウンサー時代の思い出や「忠治子守唄」にまつわる裏話を聞く。

1月24日
①レイモンド服部　＃116
②レイモンド服部
③「小諸追分」「親恋道中」
④　レイモンド服部特集その2回。
　昭和14年、巷では「父よあなたは強かった」「兵隊さんよありがとう」といった戦時歌謡が歌われている時代。たった1枚の赤紙で戦場に召集されていく小市民の親子の情を切々と歌い上げたのが「親恋道中」で、上原敏のしみわたるような歌声が全国に流れる一方、東海林太郎の「ハルビン旅愁」もレイモンド服部のノスタルジーとして愛唱された。
　彼に言わせると作曲もインタビューも全く同じで、パートの楽器に機会均等に音を出させるのがコツだという。

1月31日
①レイモンド服部　＃117
②レイモンド服部
③「ゴメンナサイ」「バラのようなお嬢さん」
④　レイモンド服部特集の3回目。
　終戦直後の日本の歌謡曲には、アメリカのCIEの音楽政策で、植民地根性丸出しの迎合的なアメリカものが流行した。「ゴメンナサイ」を作曲したレイモンド服部は国民大衆から白い目で見られて大きな体を小さくしたという。
　そしてお座敷ソングの流行は、「とこ姐さん酒もってこい…」の「ヤットン節」となり、退廃ムードの頂点は「タマラン節」となる。
　今夜はスタジオにレイモンド服部を招き、これら一連の歌の流行が果たした社会的な役割について聞く。

2月7日
①清水みのる　＃118
②清水みのる
③「島の船唄」「出船の唄」「別れ船」
④　今夜から2週にわたり”船ものシリーズ”の作詞家・清水みのるの特集を送る。

日本に民放ができて20年。今やCMソングは国民の生活にとけこんでいるが、日本で初めてのCMソングは、今から40年前の昭和6年にキャラメルメーカーが発表した「僕は天下の人気もの」（歌・古川ロッパ）。4万通の公募の中から当選した作詞者は、当時ポリドール・レコードの発送係でありサトウハチローの弟子だった清水みのる。以来、田端義夫のデビュー曲「島の船唄」など”船もの”を作曲家・倉若晴生と組んで次々と世に送った。

今夜はスタジオに清水みのるを招き、デビュー当時の話から一連の船の歌を作ったいきさつやエピソードを聞く。

2月14日
①清水みのる　＃119
②清水みのる
③「かえり船」「星の流れに」「雨の酒場で」
④　今夜は「船ものシリーズ」の作詞家・清水みのるの戦後版を紐解く。

戦地で帰国の日を流れ星で占ってやっと復員した清水みのるを待っていたのは、東京の荒廃と星空の悲しいまでの美しさだったという。

タブロイド版の新聞に載った23歳の看護婦の投書—

私は引き揚げ者ですが、住むに家なく、勤めるに職もありません。ニギリ飯一つで私は夜の女になってしまった…。

これを読んで涙ながらに一気に書き上げたのが「星の流れに」。

今夜はスタジオに清水みのるを招き、戦後の悲痛な思い出をなつメロとともに聞く。

2月21日
①奥田良三　＃120
②奥田良三
③「命かけて唯一度」「お菓子と娘」
④　今夜から2週にわたってテナー奥田良三の特集を送る。

やわらかい美声、ピアニシモのテナー歌手でありながら極端な誇張のない淡々とした抒情的唱法はこの道50年、昔も今も変わらず人柄を偲ばせる。

奥田は50年ほど前、「お菓子と娘」を歌ってデビュー。昭和9年には、ドイツ映画の主題歌を歌って大ヒットさせた。そのドイツ映画「会議は踊る」「狂乱のモンテカルロ」などの主題歌をドイツで吹き込んだ時の裏話など、日本歌謡史に残る貴重な話も披露する。

2月28日
①奥田良三　＃121
②奥田良三
③「城ケ島の雨」「夜明けの唄」
④

3月7日
①竹岡信幸　＃122
②竹岡信幸
③「赤城の子守唄」「青空に唄へ」「城ケ島夜曲」「下田夜曲」
④　今夜から3回にわたり、作曲家・竹岡信幸特集。
　明治40年、横浜に生まれた竹岡信幸は昭和の初め、明大マンドリンクラブで古賀政男と一緒にマンドリンを弾いていたが、アルバイトで作曲した「明治キャラメルの唄」が日本最初のCMソングということもあって話題となり、豊かな天分を認められるきっかけとなった。
　そして、プロ入りの第一作「赤城の子守唄」で歌った東海林太郎とともに一躍世に出た。
　今夜はスタジオに竹岡信幸を招き、東海林太郎の「赤城の子守唄」吹込みのエピソードを中心に竹岡メロディーの秘密を聞く。

3月14日
①竹岡信幸　＃123
②竹岡信幸
③「人妻椿」「赤城しぐれ」「支那の夜」「悲しき子守唄」
④　今夜は先週に続いて、作曲家・竹岡信幸特集第2夜。
　竹岡の奥さんは、元オリンピック水泳選手の横田操。2人のそもそものなれそめから話が始まる。
　昭和13年の松竹映画「愛染かつら」は世の女性の”紅涙”を絞った。この中でヒロインの高石かつ江（田中絹代）が歌う「悲しき子守唄」が、田中絹代の肉声として話題になったが、実はミス・コロムビアの吹き替えだったという。
　そして最後に「支那の夜」にまつわる裏話。戦後この曲は米軍に接収されたが、その後ビクター・ヤングが音楽監督を担当した映画「零号作戦」に「支那の夜」と同じメロディーが使われていて驚いた話など、ヒット曲にまつわる話を聞く。

3月21日
①竹岡信幸　＃124
②竹岡信幸
③「白蘭の歌」「上海航路」「長崎のお蝶さん」「東京の人よさようなら」
④　今夜は作曲家の竹岡信幸特集その3。スタジオに竹岡信幸を招いて、ヒット曲にまつわる裏話を聞く。
　メロディーづくり40年という竹岡信幸には話題が多い。「長崎のお蝶さん」（渡辺はま子）は”長崎もの”のはしりになったし、昭和14年に発売された「白蘭の歌」では満州国の国歌を間奏に入れたユニークな作風が評判になった。
　「白蘭の歌」は作詩が久米正雄になっているが、あの詩を作ったのは実はサトウハチローで、作曲した竹岡信幸自身しばらくの間は知らなかったという話や、この曲の間奏には満州国歌のメロディーを使った話など、興味深い話が披露される。

3月28日
①飯田景応　＃125
②島田磬也
③「従軍記者」「僕の思い出」「人生航海」
④　今夜から3週にわたって、今は亡き作曲家・飯田景応の特集を送る。
　大正5年2月5日、加賀百万石の城下町金沢に生まれた丹羽景応（かげまさ）が、作曲家・飯田景応としてデビューしたのは、昭和11年の「僕の思い出」というエジソンレコード。作詞は人生詩人の島田磬也、歌は無名の新人、坂本英明だった。坂本こそ後の霧島昇である。
　その後、飯田は島田とコンビで昭和13年に「泣き笑いの人生」「人生航海」を出し飯田メロディーが開花するが、この２曲は、特に飯田景応の人間性が五線譜に躍動して人の胸を打った。
　今夜はスタジオに故人と親交のあった詩人の島田磬也を招き、島田・飯田コンビが生んだ一連のヒット曲をオリジナル盤で聞きながら飯田メロディーの秘密を聞く。

<u>4月4日</u>
①飯田景応　＃126
②島田磬也、青葉笙子
③「波止場気質」「部隊長と兵隊」「故郷慕えど」「仏印だより」「兄妹」
④　今は亡き飯田景応を東海林太郎は「天才ハダの作曲家」と言い、古賀政男は「日本の歌謡界における作曲家ベスト3の一人」と評価するが、昭和42年1月3日、50歳の若さでこの世を去った。
　飯田メロディーで幾多の歌手が輩出するが、男性歌手第一号を霧島昇とすれば、女性歌手第一号は青葉笙子。昭和14年発売の「故郷慕えど」は作詞の島田磬也が熊本、作曲の飯田景応が金沢、歌手の青葉笙子が仙台と、三者三葉に故郷を慕う望郷ソングとして人々の心を捉えて大ヒットとなった。
　今夜はスタジオに島田磬也、青葉笙子を招き、当時のオリジナル盤を聞きながら故人を偲ぶ。

<u>4月11日</u>
①飯田景応　＃127
②飯田応樹、島田磬也
③「仏印だより」「東京物語」「十字路」「月の法善寺横町」「初恋ワルツ」
④　今は亡き作曲家・飯田景応の忘れ形見・丹羽応樹が、3月5日東芝レコードから歌手「にわまさき」としてデビューした。弱冠19歳ながら父親譲りで作曲もして歌う「十字路」は話題を呼んでいる。
　今夜はスタジオに詩人の島田磬也とにわまさきの2人を招き、友人として飯田景応、父親としての飯田景応を偲ぶが、最後に島田磬也が即興の俳句を朗詠する。

<u>4月27日（近畿放送のみ）</u>
①岡晴夫
②飯田応樹、島田磬也
③「東京の花売娘」「上海の花売り娘」「国境の春」
④　岡晴夫特集。
　生前この番組で一度特集を組んだことがあるが、その後聴取者の再放送要望の投書が多いので、生前収録したテープと、上原げんと特集の際ゲスト出演した時の声を構成して再び特集として送るもの。
　この回は近畿放送のみで放送されており、放送回数にはカウントされていない。

<u>4月18日</u>
①小野巡　＃128
②小野巡、福田俊二
③「祖国の護り」
④　近畿放送では昭和47年4月に初めて放送（第178回）されたようである。

<u>4月25日</u>
①小野巡　＃129
②小野巡、福田俊二
③「西湖の月」
④　前週に引き続き、昭和47年4月に初めて放送（第179回）されたようである。

5月2日
①藤山一郎　＃130
②藤山一郎
③「丘を越えて」「影を慕いて」
④　今夜から3回にわたって藤山一郎特集を送る。今夜はその第一夜として「キャンプ小唄」から「影を慕いて」までのそれぞれのヒット曲にまつわる話を聞く。
　藤山一郎の場合「キャンプ小唄」がデビュー曲として知られているが、それ以前大正12年に童謡を歌ったことがある。また「酒は涙か溜息か」を発売した後、音楽学校を停学にされた話など、興味ある話が披露される。

5月9日
①藤山一郎　＃131
②藤山一郎
③「東京ラプソディ」「青い背広で」「嘆きのピエロ」
④　藤山一郎特集その2。東京音楽学校を首席で卒業した藤山一郎の文字通りプロ第一作は、ビクターで昭和8年3月発売の「僕の青春（はる）」。この後、一連の国民歌謡を歌うが、このタイトルが「藤山一郎なつかしのメロディー」。はからずも、ここに「なつメロ」という言葉が誕生した。
　今夜はスタジオに藤山一郎を迎え、ビクター、テイチク時代の隠れた秘話を当時の原盤を聞きながら披露する。

5月16日
①藤山一郎　＃132
②藤山一郎
③「燃ゆる大空」「なつかしの歌声」「決戦の大空へ」「青い牧場」
④　藤山一郎特集その3。アルバイト時代はコロムビア。プロとしてはビクターからテイチクで全盛時代を迎え、当時日本の歌謡曲の人気を東海林太郎と二分した藤山一郎が再びコロムビアに迎えられたのが昭和14年。「燃ゆる大空」「海の進軍」などの戦時歌謡で沈滞気味の大衆を鼓舞したが、特に「英国東洋艦隊潰滅」はニュース歌謡という新しい分野を開拓した。
　今夜はスタジオに藤山一郎を迎え、ニュース歌謡を中心に当時の裏話を聞きながら、なつメロを紐解く。

5月23日
①コロムビア戦後篇　＃133
②松岡醇三
③「リンゴの唄」「悲しき竹笛」「三日月娘」
④　今日から流行歌の歩み”戦後編”。歌謡界の女王―美空ひばりがレコード界にデビューしたのは昭和24年8月の「河童ブギウギ」。当時ひばりは11歳だったが、この天才少女の出現を見て、今日の美空ひばりを予言したのが音楽界の大御所・山田耕筰だったという。
　昨年、日本コロムビアから発売された「日本流行歌の歩み―明治・大正・昭和編」が昭和45年度日本レコード大賞特別賞を受けたが、今回は戦後編として昭和21年の「リンゴの唄」から32年の「喜びも悲しみも幾年月」まで140曲を収録したオリジナル盤が発売された。
　今夜は、当時ひばりのディレクターであり、この企画製作を担当した日本コロムビアの松岡醇三をスタジオに迎え、なつメロを聞きながら、苦心談などを披露してもらう。
　なお、RKB毎日放送では放送されなかった模様。

5月30日
①コロムビア戦後篇　＃134
②松岡酵三
③「東京キッド」「この世の花」「あざみの歌」
④　このほど日本コロムビアから、昭和21年の「リンゴの唄」から32年の「喜びも悲しみも幾年月」まで140曲を収録したオリジナル盤が発売されたが、このレコードを企画製作した松岡酵三をスタジオに迎え、ヒット曲にまつわる話を聞く。
　なお前週に引き続き、RKB毎日放送では放送されなかった模様。

6月6日
①長津義司　＃135
②長津義司
③「高瀬舟」「踏絵」「傷める花束」
④　今夜から3回にわたって、この道40年─作曲家・長津義司の特集を送る。
　昭和7年、タイヨー・レコードから出た「夜の露台」がデビュー作。昭和11年、ポリドールに迎えられて「高瀬舟」「踏絵」を作曲、東海林太郎の名唱とともに作曲家・長津義司が世に出る。
　今夜はスタジオに長津義司を招き、浅草時代の苦労を中心に、エノケンとの交流、長津メロディーの本質をオリジナル盤とともに聞く。

6月13日
①長津義司　＃136
②長津義司
③「木曽の流れ唄」「大利根月夜」「築地明石町」
④　今夜は作曲家・長津義司特集の2回目。長津メロディーは日本調センチメンタリズムの極致と言われるが、昭和14年6月に出た「暁の塹壕」は前線の兵隊に戦意を失わせるものとして発売禁止。
　しかし、14年11月、暗い時代に生きる庶民の哀感を歌い上げた藤田まさと作詞「大利根月夜」には、浅草のペーソスをぶつけるように作曲して大ヒット。
　今夜はスタジオに長津義司を招き、長津メロディーの作曲手法を中心になつメロを紐解く。

6月20日
①長津義司　＃137
②長津義司
③「妻恋旅姿」「君忘れじのブルース」「十三夜」「チャンチキおけさ」「鶯鶯春姿」
④　今夜は作曲家・長津義司特集の3回目。昭和16年4月、ポリドールからテイチクに移籍した長津義司は「十三夜」「君忘れじのブルース」「連絡船の唄」など、泉のわくようにヒット曲を連発する一方、編曲にもユニークな切れ味を見せ、「泪の夜汽車」「岸壁の母」「月がとっても青いから」「船方さんよ」などの大ヒットに寄与する。
　今夜はスタジオに長津義司を迎えて、作曲と編曲の相関関係について長津理論を披露する。また、「十三夜」を歌った小笠原美都子が電話で番組に参加。歌手の立場で長津メロディーを語る。

6月27日
①伊藤久男　＃138
②伊藤久男
③「暁に祈る」「熱砂の誓い」「高原の旅愁」「白蘭の歌」
④　今夜から2週にわたって伊藤久男特集。伊藤久男もこの道40年、今年61歳を迎えたが、デビュー当時のB面歌手の苦悩が今もって心の支えであるという。
　昭和8年「旅に泣く」でデビューしたがヒットせず、A面のヒットに便乗するB面歌手の悲哀に泣いた。昭和13年「湖上の尺八」でやっと一本立ち。その後「暁に祈る」「高原の旅愁」で一躍スターダムにのし上がる。
　その伊藤久男をスタジオに迎え、A面歌手とB面歌手の微妙なライバル意識、ヒット曲の運命などを中心に、この道40年の体験談を聞きながらなつメロを紐解く。

7月4日
①伊藤久男　＃139
②伊藤久男
③「黄昏の夢」「イヨマンテの夜」「山のけむり」「君いとしき人よ」「数寄屋橋エレジー」「忘れ得ぬ人」「昔の仲間」
④　今夜は先週に続いて伊藤久男特集の2回目。
　戦後カムバック第一作のラジオ歌謡「黄昏の夢」から去年11月、歌手生活40年を記念して歌った「昔の仲間」までの26年間のヒット曲を聞く。この間にはこの歌を歌わないと本当の伊藤久男かどうか疑われるという「イヨマンテの夜」やラジオ歌謡の「山のけむり」、それに「君いとしき人よ」「数寄屋橋エレジー」「忘れ得ぬ人」など一連の「君の名は」シリーズのヒット曲を聞く。

7月11日
①番組総括篇　＃140
②藤田まさと、広中雅幸、木村孝雄
③「愛の小窓」（ディック・ミネ）、「旅笠道中」、「バタビヤの夜は更けて」（灰田勝彦）、「裏町人生」（上原敏）
④　今夜から3回にわたり、総集編として、今までの放送を振り返って、話題になった曲や以前の放送の時にはかけられなかった原盤をかけてなつメロを聞く。
　昭和43年11月の第1回目の放送は上原敏特集であったが、その中から「裏町人生」を、そして第2回目のディック・ミネ特集から、その時には放送できなかった「愛の小窓」を原盤で送る。聴取者の声を素材に話をすすめ、ゲストには藤田まさとを迎えて裏話を聞く。

7月18日
①番組総括篇　＃141
②藤田まさと、広中雅幸、木村孝雄
③「涙の小鳩」「女の階級」「岸壁の母」
④　今夜は過去3年をふりかえっての総集編その2を送る。岡晴夫が生前この番組に出た時の声を再放送する他、この番組に対する聴取者の声を交えながら「涙の小鳩」「女の階級」を、またゲストの藤田まさとの思い出話を織り込んで「岸壁の母」などを聞く。
　放送当日の京都新聞朝刊には、「なお今の構成での「この歌・あの人」は、七月いっぱいで終わるが、八月からは、新しい形式で「この歌・あの人」を送る予定。」と書かれている。
　また、朝日新聞東京版朝刊には「鈴木実」とのクレジットがある。キングレコードの営業本部長と洋楽本部長を歴任していた鈴木實のことであろうか。
　なお、中部日本放送では、プロ野球オールスター中継が中止の場合に7月19日（月）21時から放送されるはずであったが、プロ野球が放送された。振替放送はなされなかった模様。

7月25日
①番組総括篇　＃142
②藤田まさと、広中雅幸、木村孝雄
③「戦場なでしこ」（青葉笙子）、「特幹の歌」（藤原義江）、「流転」（上原敏）、「国境の町」（東海林太郎）
④　総集編その3。
　ゲストに藤田まさとを迎え、青葉笙子、藤原義江、上原敏、東海林太郎の歌を聞く。
　締めくくりは東海林太郎の「国境の町」。
　曲と曲の間には聴取者の電話インタビューや、藤原義江の現代世相批判の声を聞く。
　近畿放送以外ではこの回でいったん最終回を迎える。

第143回～第151回

☆放送局及び期間☆

放送局	期間
近畿放送	昭和46年8月～46年9月

司会：宇井昇　（第143回～145回）
　　　月原史郎（第146回～151回）

☆放送リスト凡例

①サブタイトル・放送回	**②出演者**
③曲目	**④放送概要**

・年月日は、近畿放送の放送日を記載。
・「①サブタイトル」は木村孝雄自費制作LP同封③に準拠。
・「③曲目」は京都新聞のラジオ欄の記述を元にした。そのため、放送されたすべての曲目を網羅しているわけではない。また、放送された音源の歌唱者が明示されている場合のみ、括弧書きで歌唱者名を付した。
・「④放送概要」は京都新聞のラジオ欄の記述を元にした。

<u>昭和46年8月3日</u>
①船と波止場　＃143
②
③「人生航海」(東海林太郎)、「夜霧の波止場」(霧島昇)、「玄海の月」
④　今までの人物中心で構成した内容を一新して、なつメロをジャンル別に分類して送る。
　今夜から3週にわたっては、港と船を歌った曲を集め、題して「人生航海」。以前放送した時の東海林太郎の声を聞きながら「玄海の月」などを送る。
　司会は引き続いて宇井昇が担当する。

<u>8月10日</u>
①船と波止場　＃144
②
③「俺は船乗り」(上原敏)、「月のデッキで」(霧島昇)、「島の船唄」(田端義夫)
④　今夜は先週に引き続いて「港と船」を歌った曲を集めての特集。題して「人生航海」その2を送る。
　田端義夫とは切っても切れない仲の清水みのるの話を織り込んで送る。

<u>8月17日</u>
①船と波止場　＃145
②
③「雨の夜船」(東海林太郎)、「港シャンソン」(岡晴夫)、「かえり船」(田端義夫)、「あこがれのハワイ航路」、「かよい船」
④　新しい企画で送る第3夜の今夜は港と船「人生航海」のその3。
　まず東海林太郎の「雨の夜船」、そして岡晴夫の「港シャンソン」、田端義夫の「かえり船」と続く。その後以前放送した清水みのるの声を聞く。

<u>8月24日</u>
①誰か故郷を想わざる　＃146
②
③「山は夕焼」(東海林太郎)、「湖底の故郷」(東海林太郎)、「誰か故郷を想わざる」(霧島昇)
④　今夜と来週の2回にわたってふるさと特集、題して「誰か故郷を想わざる」。故郷は誰にもあるが、ふとさびしい時に思い出す故郷の山や河、それをテーマにした曲を集めて送ろうというもの。
　まず最初に送るのが東海林太郎の「山は夕焼」。昭和9年の松竹映画「山は夕焼」の主題歌として発売された作品。その他を原盤で送る。
　この日の京都新聞夕刊の紹介記事には司会者の情報は載っていないが、第147回の放送日の夕刊には「D･Jは月原史郎アナ」と記載されている。サブタイトルが第146回と147回とで同一であることから、この放送回より司会が月原史郎に変わったものと思われる。

<u>8月31日</u>
①誰か故郷を想わざる　＃147
②
③「バタビヤの夜は更けて」(灰田勝彦)、「異国の丘」、「白い花の咲く頃」
④　先週に続いてふるさと特集。題して「誰か故郷を想わざる」その2を送る。第二次大戦中、戦地からはるか故郷を偲んでいろんな曲が作られたが、中でもヒットしたのが灰田勝彦の「バタビヤの夜は更けて」—あゝ今夜も見る夢は、きっとお母さんの夢だろう…灰田勝彦のセリフ入りのこの歌は戦地でもよく歌われたものである。
　この曲を筆頭に今夜は「異国の丘」「白い花の咲く頃」他を送る。

9月7日
①赤い夕日の満州で　＃148
②
③「曠野を行く」(松平晃・豆千代)、「満州想えば」(音丸)、「国境の春」(岡晴夫)
④　今夜と来週の2回にわたって、満州を主題にした曲を集めて送る。題して「赤い夕日の満州に」。
　昭和9年に満州国ができて、夢とロマンを求めて多くの人々が、荒野開拓という名のもとに渡満したが、それとともに数々の歌も生まれた。異郷の地で故国をしのび、故郷と思って生まれた数々の歌を送る。

9月14日
①赤い夕日の満州で　＃149
②
③「心のふるさと」(結城道子)、「ハルビン旅愁」(東海林太郎)、「夜霧の馬車」(李香蘭)
④　先週に続いて満州特集。昭和7年の満州建国以来、満州ブームが続き、流行歌の世界でも続々と満州をテーマにした曲が発表された。
　その中から今夜は珍品中の珍品レコードになっている昭和14年12月ポリドールから発売された結城道子の「心のふるさと」を原盤で聞く。

9月21日
①道中旅がらす　＃150
②
③「旅笠道中」(東海林太郎)、「追分道中」、「妻恋道中」、「旅姿三人男」
④　今夜と来週は股旅特集、題して「旅がらす道中ぐらし」。
　股旅ものの最初は昭和4年に発売された日活映画「沓掛時次郎」の主題歌「沓掛小唄」で、それ以後次々に道中ものが出たが、その中で最初にヒットしたのが「東海の顔役」の主題歌で昭和10年に発売された東海林太郎が歌う「旅笠道中」であろう。

9月28日
①道中旅がらす　＃151
②
③「親恋道中」(上原敏)、「黄昏道中」(東海林太郎)、「峠しぐれ」(上原敏)
④　先週に続いて股旅特集のその2。義理と人情を振り分けて旅から旅への渡り鳥。この姿が日本人の気持ちとぴったり一致して多くの股旅映画が作られ、また多くの股旅をテーマにした曲が作られた。

第152回～第177回

☆放送局及び期間☆

放送局	期間
ラジオ関東	昭和46年10月～47年3月
中部日本放送	昭和46年10月～47年3月
近畿放送	昭和46年10月～47年3月
RKB毎日放送	昭和46年10月～47年4月

RKB毎日放送は第177回を4月1日に放送

司会：宇井昇

☆放送リスト凡例

①サブタイトル・放送回	**②出演者**
③曲目	**④放送概要**

・年月日は、4局の中で一番放送日時が早いラジオ関東の放送日を記載。
・「①サブタイトル」は木村孝雄自費制作LP同封③に準拠。
・「②出演者」にはスタジオへの出演者のみを記し、電話での出演者は「④放送概要」に記述。
・「③曲目」は中日新聞及び京都新聞のラジオ欄の記述を元にした。そのため、放送されたすべての曲目を網羅しているわけではない。また、放送された音源の歌唱者が明示されている場合のみ、括弧書きで歌唱者名を付した。
・「④放送概要」は中日新聞及び京都新聞のラジオ欄の記述を元にした。

昭和46年10月3日

①松原操(ミス・コロムビア)　＃152

②松原操、高橋軍一

③「十九の春」「秋の銀座」「並木の雨」「真白き富士の嶺」

④　よそおいを新たにしてスタートするこの番組、今夜から3週にわたって、ミス・コロムビア(松原操)の特集でヒット曲の織りなす人間模様を探る。

　昭和8年、ビクターに大きく水をあけられたコロムビアが新人歌手の発掘に躍起となっていた時、目をつけたのが上野の音楽学校出身の松原操。コロムビアでは本名をかくし覆面歌手としてデビューさせ、「十九の春」ほかが大ヒットする。

　今夜は、デビュー当時のエピソードを中心に初期のヒット曲を聞く。

　ゲストの高橋軍一は元コロムビア文芸部長。

10月10日

①松原操(ミス・コロムビア)　＃153

②松原操、霧島昇、竹岡信幸

③「旅の夜風」「悲しき子守唄」

④　昭和12年の末から13年にかけては日支事変の影響でレコード界は低迷を続けていたが、これを一気に吹き飛ばしたのはミス・コロムビア(松原操)と霧島昇が組んで歌った「旅の夜風」の大ヒット。映画「愛染かつら」の主題歌だ。また、「旅の夜風」のB面「悲しき子守唄」は、映画の中で田中絹代扮する高石かつ枝の吹き替えとしてミス・コロムビアが歌ったもので、これが日本映画史上、吹き替えの第一号となる。

　今夜はスタジオに霧島昇、松原操夫妻と作曲家の竹岡信幸を招き、”愛染かつらシリーズ”を原盤のSPレコードで聞きながら裏話を聞く。

10月17日

①松原操(ミス・コロムビア)　＃154

②松原操、霧島昇

③「愛染夜曲」「愛馬花嫁」「三百六十五夜」

④　昭和13年、川口松太郎原作の「愛染かつら」の大ヒットに続き「続愛染かつら」が霧島昇、ミス・コロムビアの鴛鴦コンビで大ヒット。更に第三部「愛染かつら完結編」の主題歌「愛染草紙」も大ヒット。

　昭和15年、松竹の「愛染かつら」に対抗して東宝が小島政二郎原作「新妻鏡」を映画化、主題歌「目ン無い千鳥」に、この鴛鴦コンビを起用して大ヒット。

　戦後の昭和23年、新東宝「三百六十五夜」も主題歌にこの2人を起用して大ヒット。霧島昇、松原操は映画主題歌になくてはならない存在となるが、松原操は「三百六十五夜」を最後に引退、家庭の人となる。

　今夜はスタジオに霧島昇、松原操夫妻を招いて、大ヒット誕生の裏話を聞く。

10月24日

①音丸　＃155

②音丸

③「君は満州」「船頭可愛いや」「花嫁行進曲」

④　今夜から3週にわたって音丸の特集。

　昭和8年から9年にかけて、日本の歌謡界は勝太郎、市丸、小梅のヒットに刺激されて、鶯芸者のスカウトに狂奔したが、昭和9年の秋、図らずも東京の家庭の主婦・永井満津子が美声を認められてレコード界入り、新聞の社会面を賑わした。芸名も芸者風に音丸。

「おけさくづし」「主は国境」でヒット、昭和10年、「船頭可愛いや」の大ヒットで文字通り音丸時代を築いたが、今夜はスタジオに音丸を迎え、やはり「船頭可愛いや」の作曲で一躍新進作曲家となった古関裕而との電話対談を交えながら初期のヒット曲をオリジナルのSP盤で聞く。

10月31日
①音丸　＃156
②音丸
③「満州想えば」「下田夜曲」「大島くづし」「博多夜船」
④　昭和10年、「船頭可愛いや」のヒットでコロムビアは音丸時代が続き、満州ものの軍国調歌謡でも売り出したが、彼女の本領はやはり「下田夜曲」「博多夜船」といった船もので開花する。
　今でこそ、素人のど自慢は常識となったが、昭和11年3月「下田夜曲」を課題曲に、コロムビアと、映画化した松竹が共同で企画した歌謡コンクールが日本の素人のど自慢のはしりで、この時、後の岡晴夫や近江俊郎は落選したが、仙台出身の青葉笙子が優勝した。
　今夜もスタジオに音丸を迎え、青葉笙子との電話対談を交えながら、全盛時代のヒット曲を原盤のSPレコードで聞く。

11月7日
①音丸　＃157
②音丸
③「満州吹雪」「君は戦線」「夜船の夢」「軍国の母」
④　音丸特集の3回目。
　音丸のヒット曲を大別すると、「船頭可愛いや」「下田夜曲」「博多夜船」の船もの三部作と、「君は満州」「満州想えば」「満州吹雪」の満州もの三部作になるが、ヒット曲の大半は高橋掬太郎の作詞で、作曲を江口夜詩、竹岡信幸、古関裕而、大村能章が分担というケースが多い。
　スタジオに音丸を迎え、今は亡き高橋掬太郎、大村能章に思いを馳せながら、楽譜も読めない下駄屋のおかみさんがいかに努力しながら歌手音丸として大成したかの人間模様を紐解く。

11月14日
①灰田勝彦　＃158
②灰田勝彦、佐伯孝夫
③「雨の酒場」「燦めく星座」「森の小径」「マニラの街角で」「ジャワのマンゴ売り」
④　今夜から3週にわたって灰勝こと灰田勝彦特集を送る。
　ハワイ生まれの江戸っ子、青春歌手と言われる灰田勝彦が「ハワイのセレナーデ」でデビューしたのが昭和11年4月。その後12年6月には「雨の酒場」を歌い、そして15年3月に歌った「燦めく星座」で一躍トップスターの座を占めた。
　今夜はスタジオに灰田勝彦と詩人の佐伯孝夫を迎えて、灰勝の歌をたっぷり聞きながら、数々の裏話を聞く。

11月21日
①灰田勝彦　＃159
②灰田勝彦、佐伯孝夫
③「新雪」「ラバウル海軍航空隊」
④　昭和17年8月、戦局いよいよ激烈な中で、軽快な灰田勝彦の映画「新雪」主題歌が、国民に淡い希望と夢を与えた。しかし、軍歌を歌わない彼に対する軍部の風当たりは強く、「燦めく星座」にも、”陸軍の象徴である星を流行歌に歌っている”とクレームをつける始末だった。灰田が初めて歌った軍国歌謡は「加藤部隊歌」。
　今夜はスタジオに灰田勝彦と詩人の佐伯孝夫を招き、暗い戦時中の苦悩を中心にヒット曲を当時の原盤のSPレコードで聞く。

11月28日
①灰田勝彦　＃160
②灰田勝彦、佐伯孝夫
③「紫のタンゴ」「東京よさよなら」「東京の屋根の下」「アルプスの牧場」「野球小僧」「水色のスーツケース」
④　今夜はハワイ生まれの江戸っ子、青春の歌手、灰田勝彦特集のその3で、灰勝の戦後版として、昭和22年4月に発売された「紫のタンゴ」から戦後のヒット曲を綴る。
　灰田勝彦は、青春の歌い手であった。彼ほど、青春の喜びや悲しみを歌い上げた歌手は少ない。
　戦後の吹き込み第一号は、昭和22年4月の「紫のタンゴ」である。空腹とカストリの渦巻くヤミ市に、若々しい青春賛歌が流れ、「東京よさよなら」「東京の屋根の下」は、日比谷・上野・銀座と、焼け跡から立ち上がる東京の顔を歌って大ヒット。
　終戦後の荒廃した東京で、昔の良かったところも歌詞に織り込んだ「東京の屋根の下」、もし野球をやっていたら今ごろはジャイアンツの監督になっていただろうと語る野球好きの灰勝の「野球小僧」など、それぞれのヒット曲の裏話を、灰田勝彦と詩人の佐伯孝夫をゲストに宇井昇の司会で送る。

12月5日
①ポリドール戦前篇　＃161
②藤田まさと、佐々木幸男
③「酋長の娘」「街の流れ鳥」「丹下左膳の唄」「あやめの唄」「エノケンのダイナ」「暗い日曜日」「人生航海」
④　最近、なつメロファンの間で、ポリドールブームが起こりつつある。今月15日に、昭和5年から26年までのオリジナル原盤140曲によるポリドール歌謡大全集「心に生きるなつかしの歌声」のアルバムが発売されることになったが、今夜から2週にわたって、この大全集を取り上げる。
　スタジオに当時のポリドール文芸部員・藤田まさと（現・作詞家）を迎え、初期のヒット曲誕生の裏話を聞く。
　なお、このアルバムを聴取者にプレゼントをするお知らせもある。
　この回及び翌第162回の放送日の中日新聞・京都新聞の紹介記事には佐々木幸男の名はないが、木村孝雄自費制作LP同封③には記されている。おそらく、「心に生きるなつかしの歌声」のアルバム制作に携わったポリドールのディレクターであろう。

12月12日
①ポリドール戦前篇　＃162
②藤田まさと、佐々木幸男
③「勇士の誓い」「出船の唄」「大陸の町」「梅と兵隊」「男の夜曲」
④　前週に引き続き、近く発売される「ポリドール歌謡大全集」を取り上げる。「古い奴だとお思いでしょうが、古い奴ほど新しいものを欲しがるものでございます…」鶴田浩二の「傷だらけの人生」や「男」が大ヒットしているが、その発想の根源は昭和10年、藤田まさと作詞の「旅笠道中」にさかのぼるという。
　鶴田は昭和26年にデビュー盤「男の夜曲」を出しており、今をときめく「傷だらけの人生」とは多少イメージの違いはあるものの、この時既に”男っぽさ”を売り物にしている。
　今夜もスタジオに藤田まさとを迎え、ポリドールがビクター、コロムビアに対抗して「股旅もの」路線で成功した裏話を聞きながらヒット曲をオリジナル原盤のSPレコードで聞く。

12月19日
①清水みのる　＃163
②清水みのる
③「野末の戦友」「島の船唄」「旅のつばくろ」「心のふるさと」「別れ船」
④　今夜から2回にわたって、このほど紫綬褒章を受章した作詞家・清水みのるの特集を送る。
　昭和9年「明治キャラメルの歌」の懸賞募集に見事一等入選したことで、作詞家清水みのるが誕生する。
　そして昭和14年6月「島の船唄」の大ヒットは将来幾多の”船もの”を生み出していく「造船トリオ」―作詞清水みのる、作曲倉若晴生、歌手田端義夫―のスタートとなる。
　今夜はスタジオに清水みのるを迎え”紫綬褒章受章記念パーティー”の実況録音を織り込みながら、初期のヒット曲をオリジナル原盤のSPレコードで聞く。

12月26日
①清水みのる　＃164
②清水みのる
③「只今帰って参りました」「かえり船」「星の流れに」「かよい船」
④　去る12月４日、東京ヒルトンホテルで行われた”紫綬褒章受章記念・清水みのるを祝う会”は各界諸氏の奇抜なあいさつや祝辞で話題を呼んだが、特に清水みのるの師匠サトウハチローの「清水みのる夫人に捧げる詩」は出色の出来で、サトウハチロー自身の朗読で満場の涙を誘った。
　今夜はスタジオに清水みのるを迎え、このパーティーでの田端義夫の声などの実況録音を織り込みながら、清水みのるヒット作の戦後版をオリジナル原盤のSPレコードで聞く。

昭和47年1月２日
①東海林太郎　＃165
②東海林太郎
③「恋の鳥」「旅で暮らせば」
④　3回にわたって、74歳の初春を迎えた東海林太郎の特集。
　東海林太郎は昭和8年、キングからデビュー。その後、ポリドール、テイチクで大ヒットを飛ばしたが、彼が荘司史郎と名前を変えて、コロムビアで歌ったことはあまり知られていない。
　今夜は東海林太郎をゲストに、大ヒットの陰で日の目を見なかった芸術的歌謡を中心に、珍品のSPレコードを聞きながら、その青春と芸術の歴史を披瀝する。

1月９日
①東海林太郎　＃166
②東海林太郎
③「南国の夜」「さすらいの恋歌」「お柳恋しや」「お夏清十郎」
④　東海林太郎特集その2。東海林は、昭和8年から11年までの3年間、キングとポリドールに日本レコード史上初のジョイント契約をし、両レコードからヒット曲を出した。
　しかし、キングものとポリドールものとでは、その歌唱が全く違い、これが同一人物の声かとファンをびっくりさせた。
　これはキングの抒情的歌謡とポリドールの股旅もの歌謡という対照的な曲調を東海林太郎の高度な歌唱力と感情で歌い分けたもので、独自の表現現象と言える。
　今夜はスタジオに東海林太郎を迎え、このキングものとポリドールものを聞き比べながら歌唱の秘密を探る。

1月16日
①東海林太郎　＃167
②東海林太郎
③「日暮の馬車」「黄昏道中」「ハルビン旅愁」「涯なき南海」「或る少尉の遺書」
④　歌謡曲とは三分間芸術である。この三分間に作詞者と作曲家がストーリーを忠実に描写し、自らの幻想とリリシズムの中に沈潜していく。
　そして歌手は詩曲の心の琴線を精魂を打ち込み繊細に表現することにより名曲が誕生する。
　今夜はスタジオに東海林太郎を迎え、東海林太郎が歌詩をもらってからマイクに向かうまでの過程を実例をもって分析していく。

昭和47年

1月23日

①リクエスト1　＃168

②

③「涙の三人旅」「長崎物語」、淡谷のり子の歌

④　なつメロ・リクエスト特集。

なつメロファンにも色々あるが、アメリカのプリンストン大学に留学中にアメリカ人と結婚した由美子・M・ウォーレン（32歳）の場合は珍しい。

彼女は日本にいた時歌謡曲を好まなかったが、プリンストン大学の研究所はその昔、湯川秀樹博士が”愛染かつら”の主題歌「旅の夜風」を口ずさみながら研究したと言われ、それ以来日本人研究員はなつメロを歌いながら勉強をする風習があり、歌謡曲を軽蔑していた彼女がアメリカへ勉強しに行って日本のなつメロファンになって帰国したという。

今夜はこのウォーレン夫人をはじめ、聴取者と電話で話をしながらリクエスト曲をオリジナル原盤のSPレコードで聞く。

1月30日

①リクエスト2　＃169

②

③「ブエノス・アイレスの唄」（淡谷のり子）、「月のデッキで」（霧島昇）、渡辺はま子の歌

④

2月6日

①岡晴夫　＃170

②山口俊郎

③「国境の春」「上海の花売り娘」「啼くな小鳩よ」「港シャンソン」

④　今夜から2回にわたって、今は亡き岡晴夫を偲んでの特集。

岡晴夫なくしては、戦後の日本歌謡史を語ることはできない。昭和21年から6年間は日本一の大歌手としてレコード界に君臨した。

今夜はスタジオに当時、キングオーケストラを指揮していた作曲家・山口俊郎を迎え、ファンの電話リクエストに応えながら、岡晴夫の隠れた横顔を偲ぶ。

2月13日

①岡晴夫　＃171

②山口俊郎

③「グッドバイ東京」「東京の花売娘」「あこがれのハワイ航路」「男の涙」「アンコ可愛いや」

④　今夜は電話リクエストに応えての岡晴夫特集第2回。岡晴夫は昭和45年5月19日、54歳でこの世を去ったが、現在でもファンの心の中に生きている。

本名佐々木辰男。大正5年、千葉県木更津の生まれ、レコード界に入る前は東京上野の松坂屋の店員だったが、歌が好きで地方巡りのアトラクションで舞台に立ち、たまたま長野県を巡業中に上原げんとと知り合うが、これが2人を結びつける最初の絆となる。

昭和21年、ブギ調の「東京の花売り娘」が大ヒットした。その結果、岡晴夫のリーゼントスタイル、進駐軍払い下げの粋な皮ジャンパーという”岡晴スタイル”が、あっという間に全国の若者の間に流行した。

今夜はスタジオに当時の仲間であり、キングオーケストラで指揮をしていた作曲家の山口俊郎を迎え、岡・上原コンビの秘話を中心に岡晴夫の人気の根源を探る。

2月20日
①リクエスト3　＃172
②
③「流れの船唄」（竹山逸郎）、「何日君再来」（松平晃）、「男の純情」（藤山一郎）、「黒いパイプ」（由利あけみ）、「女の階級」（楠木繁夫）、「潮来夜舟」（北廉太郎）、「初旅ごよみ」（田端義夫）
④　諸般の事情から吹込み後、発売されなかったなつメロ”幻のレコード”のリクエスト特集。
　一曲目竹山逸郎の「流れの船唄」を聞いた後、中国の歌を訳して歌ったはしりとも言える松平晃の「何日君再来」をテスト盤で聞く。
　この他珍品中の珍品と言えるナレーション入りのレコード「唄の慰問袋」より、藤山一郎の「男の純情」、由利あけみの「黒いパイプ」、楠木繁夫の「女の階級」、そして静田金波のナレーションを送る。

2月27日
①リクエスト4　＃173
②
③「港が見える丘」（平野愛子）、「緑の地平線」（楠木繁夫）、「九段の母」（塩まさる）、「千曲流れて」（青葉笙子）、「女給の唄」（羽衣歌子）
④　聴取者のリクエストを中心に番組を構成する。
　一曲目は昭和22年発売の平野愛子の「港が見える丘」。そして京都のなつメロ同好会の紹介の後、楠木繁夫の「緑の地平線」。最近リクエストが多くなってきた戦時歌謡の中から「九段の母」、続いて青葉笙子の珍しいレコード「千曲流れて」の後、今年70歳になるという羽衣歌子と電話で話した後「女給の唄」を聞く。
　昭和6年、婦人雑誌に連載された広津和郎の「女給」という小説が評判になった。カフェー全盛時代のことである。それを西城八十が作詞して「女給の唄」ができた。
　このレコードは、同じメロディーを歌詞だけ変えて、A面（歌・羽衣歌子）、B面（藤本二三吉）に入れるという珍品であった。
　最後に今夜最高の聞きもの、羽衣歌子の生の歌声を電話を通じて聞く。

3月5日
①リクエスト5　＃174
②
③「船頭可愛いや」（三浦環）、「満洲想えば」（音丸）、「慈悲心鳥」（楠木繁夫）、「浅間日暮れて」（三門順子）、「別れ船」（田端義夫）
④　今夜も聴取者の希望に応えてのリクエスト特集。
　「生後間もなく母と離別し、母は私を父方の祖父母に託して単身、吹雪の満州へ行ったと聞かされています。あれから三十五年。音丸さんの「満州想えば」を聞くたびに傷心を抱いて渡満した母の気持ちがしのばれます。もしかしたら、健在で、どこかの空の下で、この曲を聞いているかも知れません」（原文のまま）三重県の主婦、奥寿江さんはこう書いている。
　今夜はお便りを紹介しながらリクエスト曲をかける。

3月12日
①リクエスト6　＃175
②大木惇夫
③「希望の首途」（松平晃）、「青い牧場」（藤山一郎・奈良光枝）、「国境線万里」（上原敏）、「国境の町」（東海林太郎）
④　聴取者のリクエストに応えて、昭和9年に大ヒットした「国境の町」（歌・東海林太郎）の作詞家、純粋詩人の大木惇夫に「国境の町」誕生の秘話を聞く。北原白秋ゆずりの酒豪だった大木惇夫も今年77歳になり、自作の「国境線万里」「国境の町」を聞いて涙する。

3月19日
①リクエスト7　＃176
②橋本一郎
③「高原の旅愁」(伊藤久男)、「軍靴千里」(橋本一郎)、「追分道中」
④　橋本一郎という歌手は一体誰だったのか？現在、全国なつメロ・ファンの間で、歌手・橋本一郎に対する論議がやかましい。橋本一郎の本名は岡大作。

　昭和10年、キングから橋本一郎でデビュー。タイヘイに移っても橋本一郎で歌ったが、昭和11年ポリドールに移って河崎一郎と改名。昭和12年再びタイヘイに戻って一条弘となり、更にまた橋本一郎も名乗ったのが混乱の原因となった。各社でヒット曲を出したが、名前が色々あるのでイメージが分散、大スターになれなかったのが惜しい。

　今夜は聴取者の疑問に本人から改名のいきさつを応える。

3月26日
①リクエスト8　＃177
②島田磬也
③「裏町人生」、「可愛いリラ」(楠木繁夫)、「白虎隊」(藤山一郎)、「湖底の故郷」、「人生航海」、「小夜の中山」(青葉笙子)」
④　昭和43年11月にスタートしたこの番組も、今夜で一応終わる。

　最終回を記念して、昭和43年11月の第1回放送にゲスト出演した人生詩人・島田磬也を再びスタジオに迎え、また番組のファンも交えていろいろな思い出を話しながら進めていく。

　一曲目は、第1回放送の最初の曲「裏町人生」、そして楠木繁夫の「可愛いリラ」と続く。

　今夜はゲストの島田磬也作詩の曲ばかりを聞く。

　放送当日の京都新聞朝刊には、「なお来週からは再放送の形でお送りする。」と記述されている。

第178回～第478回

☆放送局及び期間☆

放送局	期間
近畿放送	昭和47年4月～53年3月

☆司会

放送回	司会者
第178回　～181回	宇井昇
第182回　～229回	月原史郎
第230回　～282回？	宇井昇
第283回？～365回	森一也
第366回　～368回？	宇井昇
第369回？～413回？	森一也
第414回？～478回	宇井昇

☆放送リスト凡例

①サブタイトル・放送回	**②出演者**
③曲目	**④放送概要**

・年月日は、近畿放送の放送日を記載。
・「①サブタイトル」は、第274回までは木村孝雄自費制作LP同封③に準拠。第275回以降は京都新聞のラジオ欄の記述を元に分かる範囲内で記載。
・「③曲目」は京都新聞のラジオ欄の記述を元にした。そのため、放送されたすべての曲目を網羅しているわけではない。また、放送された音源の歌唱者が明示されている場合のみ、括弧書きで歌唱者名を付した。
・「④放送概要」は京都新聞のラジオ欄の記述を元にした。

昭和47年4月4日
①「小野巡」 ＃178
②小野巡
③「祖国の護り」「守備兵ぶし」「円タク行進曲」
④　今夜は今もなおファンの沢山いる小野巡特集その1を送る。
　今年62歳の小野巡がレコード界に入ったのが昭和10年。この年にビクターからデビューした異色の新人として児玉好雄と小野巡があったが、小野巡は前身が警察官、そこから芸名を巡としたが、警察官の時、朝風呂に行ったところで歌手としてスカウトされたのだから異色中の異色と言えよう。
　曲目は「祖国の護り」から聞く。
　なお、昭和46年4月に近畿放送以外の3局で放送された第128回を放送したものと思われる。

4月11日
①「小野巡」 ＃179
②小野巡、福田俊二
③「音信はないか」「西湖の月」「吹雪の進軍歌」「ペダル遊軍歌」
④　小野巡特集その2。スタジオには小野巡となつメロ愛好会会長の福田俊二を迎えて、小野巡のヒット曲・なつかしい曲の数々を聞く。
　なお、昭和46年4月に近畿放送以外の3局で放送された第129回を放送したものと思われる。

4月18日
①「船と波止場（再）」 ＃180
②
③「霧の波止場」（上原敏）、「玄海の月」（東海林太郎）、「人生航海」（東海林太郎）、「夜霧の波止場」（霧島昇）、「波止場気質」（上原敏）
④　なつメロにも色々あるが、今夜は海にまつわる曲を集めて送る。
　上原敏の「霧の波止場」に始まり、東海林太郎の「玄海の月」「人生航海」と続く。そして霧島昇の「夜霧の波止場」を聞いた後は再び上原敏の「波止場気質」を聞く。
　波止場、海、船はそれぞれ人生の浮き沈みに深いかかわりあいを持つが、そうした人生の波をなつメロを通じて味わう。
　なお、昭和46年8月3日放送の第143回の再放送と思われる。

4月25日
①「船と波止場（再）」 ＃181
②
③「上海航路」（松平晃）、「俺は船乗り」（上原敏）、「月のデッキで」（霧島昇）、「島の船唄」（田端義夫）、「別れ船」（田端義夫）
④　前週に続いて、人生航海と題して、船・海に関係のあるなつメロを集める。
　松平晃の「上海航路」、続いて上原敏の「俺は船乗り」、霧島昇の「月のデッキで」と聞いた後、船ものは十八番中の十八番、田端義夫の船もの二曲を聞く。
　まず昭和14年6月発売の彼のデビュー曲「島の船唄」を、そして翌15年6月の「別れ船」を聞く。
　なお、昭和46年8月10日放送の第144回の再放送と思われる。

5月2日
①「楠木繁夫」 ＃182
②
③「大神戸行進曲」「赤城颪の子守唄」「白い椿の歌」「可愛いリラ」「緑の地平線」「男のまごころ」「人生劇場」
④　今夜から月原史郎アナの司会で送る。3週にわたって楠木繁夫特集。
　数奇な運命の後に自らの命を絶った楠木繁夫の歌の人生をたどってゆく。テイチク入社前の二、三流レコード会社で歌った「大神戸行進曲」と「赤城颪の子守唄」は珍品中の珍品ともいえよう。中でも「赤城颪の子守唄」は東海林太郎の「赤城の子守唄」にそっくりという珍しいレコード。

<u>5月9日</u>
①「楠木繁夫」 ＃183
②
③
④

<u>5月16日</u>
①「楠木繁夫」 ＃184
②
③「轟沈」「紅燃ゆる地平線」
④

<u>5月23日</u>
①「岡晴夫」 ＃185
②
③「国境の春」「上海の花売り娘」「港シャンソン」「花の広東航路」「東京の花売娘」
④　今夜から2週にわたって、一昨年の5月19日に亡くなった岡晴夫の特集を送る。
今夜は昭和14年2月発売のデビュー曲「国境の春」から21年6月に発売された「東京の花売娘」までの中からヒット曲5曲を送る。またデビュー当時の話や、それぞれのヒット曲の思い出を、生前の声で送る。

<u>5月30日</u>
①「岡晴夫」 ＃186
②
③「啼くな小鳩よ」
④

<u>6月6日</u>
①「松平晃」 ＃187
②
③「サーカスの唄」
④

<u>6月13日</u>
①「松平晃」 ＃188
②
③「沖のかもめ」「村雨小唄」「夕日は落ちて」「初恋日記」「花言葉の唄」
④　今夜は先週に続いて松平晃特集で昭和10年から11年にかけてのヒット曲を送る。
昭和10年6月に出た「沖のかもめ」は「船頭小唄」のB面に入っている曲。また同じ年8月の「村雨小唄」は、江口夜詩、竹岡信幸の合作になるもの。

<u>6月20日</u>
①「松平晃」 ＃189
②
③「人妻椿」
④

<u>6月27日</u>
①「野村俊夫」 ＃190
②
③「徳利の別れ」
④

<u>7月4日</u>
①「野村俊夫」 ＃191
②
③「暁に祈る」
④

<u>7月11日</u>
①「野村俊夫」 ＃192
②
③「南の薔薇」「湯の町エレジー」
④

<u>7月18日</u>
①「映画主題歌集」 ＃193
②
③「侍ニッポン」
④

<u>7月25日</u>
①「映画主題歌集」 ＃194
②
③「流転」「人生劇場」
④

<u>8月1日</u>
①「映画主題歌集」 ＃195
②
③「新妻鏡」「赤い睡蓮」
④

<u>8月8日</u>
①「終戦特集1」 ＃196
②
③「軍艦行進曲」「戦友の遺骨を抱いて」「空の神兵」「マニラの街角で」
④　今夜と来週の2回にわたって終戦特集を送る。

　第一夜の今夜は、開戦当時の臨時ニュースから始まって、大本営発表を当時の音で聞いた後、戦時中にドイツから潜水艦で運ばれてきた原盤を日本でプレスした「軍艦行進曲」を送る。

　そして東条英機の声や、シンガポール総攻撃の実況音などを交えながら「戦友の遺骨を抱いて」「空の神兵」「マニラの街角で」を送る。

8月15日
①「終戦特集2」 ＃197
②
③「勝利の日まで」
④

8月22日
①「股旅オンパレード」 ＃198
②
③
④

8月29日
①「股旅オンパレード」 ＃199
②
③「折鶴道中」「名月赤城山」
④

9月5日
①「股旅オンパレード」 ＃200
②
③「赤城の子守唄」「黄昏道中」
④

9月12日
①「モダンソング1」 ＃201
②
③「黒い瞳」「小さな喫茶店」
④　木村孝雄自費制作LP同封③には、「タンゴ・シャンソン」と記述されている（第202〜203回、208〜209回も同様）。外国ポピュラーのなつメロを特集したものと思われる。

9月19日
①「モダンソング2」 ＃202
②
③「ダイナ」「ジーラ・ジーラ」
④　タンゴ・シャンソン

9月26日
①「モダンソング3」 ＃203
②
③「そよ風」「谷間のともしび」
④　タンゴ・シャンソン

昭和47年

10月3日
①「日本調特集」 ＃204
②
③「お駒恋姿」「蛇の目のかげで」
④

10月10日
①「東海林太郎追悼」 ＃205
②湯川容輔、木村孝雄
③「赤城の子守唄」
④

10月17日
①「東海林太郎追悼」 ＃206
②湯川容輔、木村孝雄
③
④

10月24日
①「東海林太郎追悼」 ＃206
②湯川容輔、木村孝雄
③「忠治子守唄」「ハルビン旅愁」「さつま隼人の唄」「ある少尉の遺書」
④　今夜は東海林太郎追悼特集その3。ゲストに大の東海林ファンの湯川容輔と、この番組の企画構成をしている木村孝雄を迎え、亡き東海林太郎を偲ぶ。

まず忠治子守唄の思い出を東海林の声で聞いた後「忠治子守唄」を。そして「ハルビン旅愁」「さつま隼人の唄」を。次いで遺作になった「ある少尉の遺書」を聞いて東海林太郎の冥福を祈りながら番組を終わる。

10月31日
①「モダンソング4」 ＃208
②
③「モンパパ」
④　タンゴ・シャンソン

11月7日
①「モダンソング5」 ＃209
②
③「さらば草原よ」
④　タンゴ・シャンソン

11月14日
①「リクエスト1」 ＃210
②
③
④

11月21日
①「リクエスト2」 ＃211
②
③
④

11月28日
①「リクエスト3」 ＃212
②
③
④

12月5日
①「なつかしのホームソング」 ＃213
②
③
④　木村孝雄自費制作LP同封③には、「国民歌謡など」と記述されている（第214回も同様）。
なお、当日の朝日新聞大阪版及び京都新聞には「リクエスト特集」と書いてある。

12月12日
①「なつかしのホームソング」 ＃214
②
③
④　国民歌謡など。

12月19日
①「ビクター戦前篇」 ＃215
②
③
④　当日の京都新聞には「"昭和の歌全集"から」とのみ記述されている。おそらく、ビクターから新発売された LPから戦前のなつメロを特集する回であったものと思われる。

12月26日
①「ビクター戦前篇」 ＃216
②
③
④

昭和48年1月2日
①「新春オールスターパレード」 ＃217
②
③「人生劇場」「船頭可愛いや」
④

昭和48年

1月9日
①「新春オールスターパレード」 ＃218
②
③「人生劇場」「船頭可愛いや」
④

1月16日
①「新春オールスターパレード」 ＃219
②
③
④

1月23日
①「リクエスト」 ＃220
②
③
④

1月30日
①「上原敏名作集」 ＃221
②
③
④

2月6日
①「上原敏名作集」 ＃222
②
③
④

2月13日
①「戦時歌謡集1」 ＃223
②
③
④

2月20日
①「戦時歌謡集2」 ＃224
②
③
④

<u>2月27日</u>
①「戦時歌謡集3」 ＃225
②
③
④

<u>3月6日</u>
①「リクエスト」 ＃226
②
③
④

<u>3月13日</u>
①「リクエスト」 ＃227
②
③
④

<u>3月20日</u>
①「リクエスト」 ＃228
②
③
④

<u>3月27日</u>
①「テイチク戦前篇」 ＃229
②
③
④

<u>4月3日</u>
①「上原敏1」 ＃230
②青葉笙子、妻城光男
③「霧の波止場」(上原敏)、「俺は船乗り」「波止場気質」「二人の大地」
④　今夜は上原敏特集。ゲストに戦前・戦中に上原敏と寝食を共にし、前線慰問に参加した元ポリドール文芸部員妻城光男と歌手の青葉笙子を迎え、上原敏の横顔を語る。
　波のように上体をゆらしながら歌った「霧の波止場」、8回目にやっとOKの出た「俺は船乗り」の吹き込み、そしてとかく噂のあった青葉笙子との関係など話は弾む。
　なお今夜から司会は宇井昇アナウンサーで送る。

<u>4月10日</u>
①「上原敏2」 ＃231
②青葉笙子、妻城光男
③「妻恋道中」「鴛鴦道中」「流転」「親恋道中」
④　今夜は上原敏の三本柱であるマドロスもの、股旅もの、たよりもののうち、股旅ものを送る。
　発売1か月で40万枚も売れたという「妻恋道中」「鴛鴦道中」のおしどりコンビ青葉笙子は上原との仲を誤解されて困った話。作曲者阿部武雄の横顔、上原敏の人気の根源などを浮き彫りにする。

<u>4月17日</u>
①「上原敏3」 ＃232
②妻城光男
③「上海だより」「南京だより」「愛馬の歌」「仏印だより」「声なき凱旋」
④　今夜は先週、先々週に続いて「上原敏特集」の3回目。ゲストに妻城光男を迎え、上原敏のあれこれを聞く。
　まず大ヒットした「上海だより」を聞いた後、野球好きな上原敏の野球と歌の関連性、そしてこの曲のヒットした理由などを話す。続けて「南京だより」「愛馬の歌」「仏印だより」と上原敏の三本柱の１つである「たよりもの」を集めて聞く。そして最後に「声なき凱旋」を聞く。

<u>4月24日</u>
①「豆千代」 ＃233
②豆千代
③
④

<u>5月1日</u>
①「豆千代」 ＃234
②豆千代
③「夜霧朝霧」「島田くづし」「二人の恋」「喫茶店哀話」「浮名三味線」
④　豆千代特集の2回目。女性としての魅力いっぱいの豆千代をゲストに招いて、舞台での色気の秘密を聞く。
　唄い出す時の口元をちょっとひきしめるしぐさや、舞台に出てくる時のつまをとるようなしぐさが、ファンの人気を集めた話。
　聴取者プレゼントとして、豆千代のサイン入り色紙を贈るので希望者は近畿放送「この歌あの人」の係まで。

<u>5月8日</u>
①「豆千代」 ＃235
②豆千代
③
④

<u>5月15日</u>
①「霧島昇」 ＃236
②霧島昇
③「赤城しぐれ」「涙の三人旅」「夜霧の波止場」「旅の夜風」
④　昭和12年「赤城しぐれ」のヒットで歌謡界入りして以来36年、終始コロムビアの至宝として活躍してきた霧島昇をスタジオに招き、今夜から3週にわたって放送する。
　今夜の曲目は、和製クロスビー出現と騒がれた「赤城しぐれ」、日華事変勃発でうずもれてしまった名曲「涙の三人旅」、加藤勉の吹き込み予定が変更され、あわてて吹き込んだマドロス歌謡の名作「夜霧の波止場」、そして霧島昇を不動のものにした映画「愛染かつら」の主題歌「旅の夜風」等を送る。

<u>5月22日</u>
①「霧島昇」 ＃237
②霧島昇
③「月のデッキで」「愛染夜曲」「純情二重奏」「愛染草子」
④　先週に続いて霧島昇特集。
　霧島メロディーとしては少し変わった作品「月のデッキで」。松平晃で吹き込むということを聞いて満州慰問から飛んで帰ってきて吹き込んだという「愛染夜曲」。続いて大ヒットした映画主題歌「純情二重奏」。そして霧島昇の名を不動のものにした「愛染かつら三部作」の最後のヒット曲「愛染草子」を、それぞれにまつわるエピソードを聞きながら送る。

<u>5月29日</u>
①「霧島昇」 ＃238
②霧島昇
③「誰か故郷を想わざる」「新妻鏡」「目ン無い千鳥」「愛呼ぶ歌」「明日の運命」
④　今夜は先週、先々週に続いて霧島昇特集の第3夜。
　これを歌わないとステージの幕が降ろせないという「誰か故郷を想わざる」。昭和15年に封切られた東宝映画「新妻鏡」の主題歌「新妻鏡」とその裏面の「目ン無い千鳥」。デュエットで歌って菊池章子がスターになるきっかけを作った「愛呼ぶ歌」。そして3週にわたった霧島昇特集の最後に「明日の運命」を聞く。

<u>6月5日</u>
①「倉若晴生」 ＃239
②倉若晴生
③「生徒の祈り」「夢のゆりかご」「想い出峠」「波に想いを」「俺は船乗り」
④　今夜から4週にわたって作曲家・倉若晴生特集を送る。
　今夜は作曲家になった頃の話から始め、第2作目の「生徒の祈り」を聞く。
　そして昭和14年1月ポリドールから発売された「夢のゆりかご」。これは作曲はもちろんだが、編曲も自らやった曲で、倉若晴生編曲として世に出た第一号である。歌は北廉太郎。その後、「想い出峠」「波に想いを」「俺は船乗り」を聞く。

<u>6月12日</u>
①「倉若晴生」 ＃240
②倉若晴生
③「島の船唄」
④

<u>6月19日</u>
①「倉若晴生」 ＃241
②倉若晴生
③「別れ船」「夕日ははるか」「大島椿」「梅と兵隊」「見たか鉄腕」
④　先週、先々週に続いて今夜は倉若晴生特集の3回目。
　まず船シリーズの第一作として昭和15年6月に発売された「別れ船」を聞く。そして同じ田端義夫が歌った「夕日ははるか」に続いて、青葉笙子の思い出を語った後「大島椿」、そして「梅と兵隊」「見たか鉄腕」を聞く。

6月26日
①「倉若晴生」 ＃242
②倉若晴生
③「母と兵隊」「潜水艦日記」「かえり船」「かよい船」、「江の島エレジー」（菅原都々子）
④　作曲家・倉若晴生特集の4回目。
今夜の最初の曲は、昭和16年8月にポリドールから発売された「母と兵隊」。その後昭和18年3月に発売された「潜水艦日記」。これは上原敏の後期のレコードとして貴重なもの。そして終戦後、船もの第2弾として作った「かえり船」の作曲のいきさつなどを聞く。「かえり船」「かよい船」のあと、最後に菅原都々子の「江の島エレジー」を聞く。

7月3日
①「淡谷のり子」 ＃243
②淡谷のり子
③「薄い縁」「十月の唄」「思い出のカプリ」「巴里祭」「別れのブルース」
④　淡谷のり子特集その1。
今夜から、ブルースの女王と言われ昭和歌謡史を彩る歌謡生活43年の淡谷のり子をゲストに招き、懐かしいタンゴ、シャンソンなどを3週にわたって送る。
昭和5年ポリドールで「夜の東京」を初吹込みしてから暗中模索の時期が数年続いたが、その頃の歌に淡谷のり子の三弦歌謡「薄い縁」がある。三味線入りの歌を淡谷が歌うなど、今思えば考えられないことだ。
今夜は「薄い縁」、「コロラドの月」でよく知られている「十月の唄」、コンチネンタルタンゴの「思い出のカプリ」、シャンソンの「巴里祭」、流行歌が大嫌いだと嫌々ながら吹き込んだ大ヒット曲「別れのブルース」などを送る。

7月10日
①「淡谷のり子」 ＃244
②淡谷のり子
③「ジプシーのなげき」「さよならもいわずに」「人の気も知らないで」「雨のブルース」「ブエノスアイレスの歌」
④　先週に続いて淡谷のり子特集の第2夜。
昭和13年から「淡谷のり子とその楽団」という楽団を持っていたという話から一曲目は「ジプシーの嘆き」を聞いた後、色々な楽団の思い出話を聞く。そして昭和13年1月にコロムビアから発売された「さよならもいわずに」を聞いてタンゴの魅力、タンゴについて語る。

7月17日
①「淡谷のり子」 ＃245
②淡谷のり子
③
④

7月24日
①「大久保徳次郎」 ＃246
②大久保徳次郎
③
④

7月31日
①「大久保徳次郎」 ＃247
②大久保徳次郎
③「ダンディ気質」(田端義夫)、「春の舞妓」(菊池章子)、「舞妓物語」(田端義夫)、
「親子船頭」(田端義夫・白鳥みづえ)、「雨の夜の喫茶店」(松平直樹とブルーロマン)
④　今夜は先週に続いて作曲家の大久保徳次郎をゲストに、彼の作曲した名曲の数々を聞く。
　まず映画音楽と映画主題歌を作る時の違いを話した後、田端義夫が歌う「ダンディ気質」を送る。そして映画俳優が歌を歌うきっかけなど映画にまつわる話や今後の大久保徳次郎の抱負などを聞く。
　曲は「ダンディ気質」、菊池章子の「春の舞妓」、そのA面で田端義夫の「舞妓物語」、田端義夫と白鳥みづえの「親子船唄」、そして新しく吹き込んだ「雨の夜の喫茶店」を松平直樹とブルーロマンで送る。

8月7日
①「楠木繁夫」 ＃248
②吉田信
③「緑の地平線」「国境を越えて」「白い椿の唄」「ハイキングの唄」「男のまごころ」
④　今夜から3週にわたって、今は亡き情熱の歌い手・楠木繁夫を送る。
　まず楠木繁夫のステージでの自分が歌う歌の紹介の言葉から「緑の地平線」を聞く。
　次いで今夜のゲスト・日本音楽著作権協会の吉田信から、楠木繁夫のデビュー当時のエピソードについて色々聞く。

8月14日
①「楠木繁夫」 ＃249
②吉田信
③「緑の地平線」「啄木の歌」「慈悲心鳥」「女の階級」
④　先週に続いて、今は亡き楠木繁夫特集の第2夜。
　今夜の一曲目は楠木繁夫の最大のヒット曲「緑の地平線」。当時ステージでは自分でアコーディオンを弾きながらこの曲を歌い、舞台を盛り上げていた。二曲目は文芸作品「啄木の歌」を聞く。
　そしてそれぞれの曲にまつわるエピソード、楠木繁夫の思い出を日本音楽著作権協会の吉田信が語る。

8月21日
①「楠木繁夫」 ＃250
②吉田信
③
④

8月28日
①「レイモンド服部追悼」 ＃251
②
③「忠治子守唄」「可愛いリラ」「嘆きのピエロ」「戦場の子守唄」「忠治子守唄」
④　今夜から3回にわたって、去る8月5日に亡くなった服部逸郎ことレイモンド服部特集を送る。
　今夜はその第1夜として、昭和46年1月に放送したものを再放送という形で放送する。
　曲目は「忠治子守唄」に始まり、「可愛いリラ」「嘆きのピエロ」「戦場の子守唄」、そしてもう一度「忠治子守唄」を聞く。
　それぞれの曲の思い出とともに、生前のレイモンド服部の声を偲ぶ。

9月4日
①「レイモンド服部追悼」 ＃252
②
③「小諸追分」（東海林太郎）、「親恋道中」「アデュー・モンパリ」「ハルビン旅愁」
④　先週に続いて、去る8月5日に亡くなった服部逸郎ことレイモンド服部特集の再放送。
　まず昭和13年10月に発売された東海林太郎が歌った「小諸追分」を聞く。そして東海林太郎の歌を作る時と、もう一人のスター上原敏が歌う曲を作る時の違いを話した後、昭和14年3月に発売された「親恋道中」を聞く。

9月11日
①「レイモンド服部追悼」 ＃253
②
③「コバルトの空」、「ゴメンナサイ」（ハリー・ベラフォンテ）、「ヤットン節」「タマラン節」「ワゴン・マスター」「バラのようなお嬢さん」
④　先週先々週に続いて、去る8月5日に亡くなった服部逸郎ことレイモンド服部特集の第3夜を送る。
　まず「コバルトの空」の軽快なマーチで幕を開ける。そして今夜は戦後のヒット曲を聞くが、まず変わったところで、ハリー・ベラフォンテが歌う「ゴメンナサイ」、そして「ヤットン節」「タマラン節」と日本調の曲を聞いた後、昭和30年に発売された「ワゴン・マスター」を聞いてお別れに「バラのようなお嬢さん」を聞く。

9月18日
①「門田ゆたか」 ＃254
②門田ゆたか
③「東京の花売り娘」
④

9月25日
①「門田ゆたか」 ＃255
②門田ゆたか
③「東京ラプソディ」「東京の花売り娘」「わたしのボーイ・フレンド」「街に灯がつけば」「ニコライの鐘」
④　先週に続いて門田ゆたか特集その2を送る。
　オープニングは藤山一郎が颯爽と歌う「東京ラプソディ」。その後終戦直後の昭和22年に発売され大ヒットとなった「東京の花売り娘」を聞く。そして昭和25年に当時わずか13歳だった美空ひばりが歌いヒットした「わたしのボーイ・フレンド」を聞いて「街に灯がつけば」「ニコライの鐘」を送る。

10月2日
①「山田栄一」 ＃256
②山田栄一
③
④

10月9日
①「山田栄一」 ＃257
②山田栄一
③「すみだ川」（東海林太郎）、「春琴抄」（高田浩吉・田中絹代）、「昔の空」（東海林太郎）、「南京だより」（上原敏）、「上海の街角で」（東海林太郎）
④　先週に続いて今夜も作曲家の山田栄一特集その2夜を送る。
　一曲目は東海林太郎が歌う「すみだ川」。発売当時には15、6万枚も売れたという大ヒット曲に続いては、高田浩吉・田中絹代のセリフ入り「春琴抄」。そして昭和12年10月にポリドールから発売された「昔の空」。歌は東海林太郎。その後上原敏の「南京だより」、東海林太郎の「上海の街角で」を東海林の思い出を語りながら綴る。

10月16日
①「山田栄一」 ＃258
②山田栄一
③「北京だより」（上原敏）、「人妻真珠」（東海林太郎）、「愛馬の唄」（上原敏）、「純情月夜」（結城道子）、「シンガポール便り」（田端義夫）
④　先週、先々週に続いて作曲家の山田栄一特集その3夜。
　いわゆる山田節と言われる作曲の秘訣を聞いた後、今夜の最初の曲、上原敏の「北京だより」を聞く。そして昭和13年にポリドールから発売された「人妻真珠」を東海林太郎で聞くが、これは最新の録音技術を使って原盤から再録音したもの。その後、上原敏の「愛馬の唄」、結城道子の「純情月夜」、そして田端義夫の「シンガポール便り」を聞く。

10月23日
①「渡辺はま子」 ＃259
②渡辺はま子
③
④

10月30日
①「渡辺はま子」 ＃260
②渡辺はま子
③「長崎のお蝶さん」「いとしあの星」「忘れな草」「蘇州夜曲」「何日君再来」
④　先週に続いて「渡辺はま子特集その2夜」を送る。
　一曲目は昭和14年8月に発売された「長崎のお蝶さん」。これは日本の長崎ものの第一号である。またマダム・バタフライを3分20秒に縮めた作品としてその雰囲気がよく盛り込まれている。その後「いとしあの星」「忘れな草」を聞いて、霧島昇とデュエットで歌う「蘇州夜曲」を聞いて、当時慰問で巡った中国の話をする。最後は「何日君再来」。

11月6日
①「渡辺はま子」 ＃261
②渡辺はま子
③「雨のオランダ坂」
④

11月13日
①「上原敏」 ＃262
②上原未亡人、島田磬也
③「妻恋道中」「流転」「裏町人生」「波止場気質」
④　放送開始から今夜で262週。満5年になる。今夜から2週にわたって、記念すべき「この歌あの人」の第1回録音「上原敏特集」を再放送する。
　出演は「裏町人生」や「波止場気質」など一連の人生ものでヒットを飛ばした詩人の島田磬也と、上原敏の未亡人澄子を招き、過ぎし日の上原敏を偲びつつ対談する。
　曲目は、一世を風靡した「妻恋道中」や「流転」などの道中もの。「裏町人生」や「波止場気質」などのヒット曲。

11月20日
①「上原敏」 ＃263
②上原未亡人、島田磬也
③「上海だより」「従軍記者」
④　先週に続いて放送開始満5周年を記念して、昭和43年11月に放送した「上原敏特集その2」を再放送で送る。
　スタジオには先週と同じく詩人の島田磬也と、上原敏の未亡人の松本澄子を迎えて、上原敏にまつわる話や、ヒット曲にまつわる裏話を聞く。
　曲目は、いわゆる便りものの中から「上海だより」の他「従軍記者」など、そして島田が上原を偲んで詩を吟ずる。

11月27日
①「サトウハチロー追悼」 ＃264
②
③
④

12月4日
①「サトウハチロー追悼」 ＃265
②
③「目ン無い千鳥」「小雨の丘」「めんこい仔馬」「リンゴの唄」「夢淡き東京」
④　去る11月13日に亡くなったサトウハチローを偲んで、昭和45年にこの番組に出演した時のテープを再放送で送る。
　先週に続いての第2夜だが、今夜は「目ン無い千鳥」で番組がスタートする。サトウハチローといえば、スポーツマンとしても活躍したが、彼の作品に雨の歌が多いのも、雨の日は野球ができないからというような裏話がユーモラスな口調で色々紹介される。

12月11日
①「青葉笙子」 ＃266
②青葉笙子
③「島のあけくれ」「坊やは達者」「関の追分」「鴛鴦道中」
④　今夜から3回にわたって、戦前の人気歌手・青葉笙子特集を送る。
　昭和12年、読売新聞主催ののど自慢に17歳の少女が応募し、当時流行していた「下田夜曲」を歌って見事優勝した。この少女が青葉笙子で、その後コロナレコードに入社。更に親会社のポリドールに移籍、昭和13年に上原敏とコロムビアで歌った「鴛鴦道中」で一躍スターダムにのし上がった。

12月18日
①「青葉笙子」 ＃267
②青葉笙子
③
④

12月25日
①「青葉笙子」 ＃268
②青葉笙子
③「大島椿」
④

昭和49年1月1日
①「新春なつメロ大行進」 ＃269
②
③「旅のつばくろ」
④

1月8日
①「新春なつメロ大行進」 ＃270
②
③「男の純情」(藤山一郎)、「黒いパイプ」(由利あけみ)、「女の階級」(楠木繁夫)、「アイルランドの娘」(ディック・ミネ)、「青い背広」(小泉幸男)、「麦と兵隊」(青葉笙子)
④　先週に続いて「新春なつメロ大行進」。
　まず幕開けは昭和14年に発売された「歌の慰問袋」から静田金波の名調子の解説を入れたレコード。この中には藤山一郎の「男の純情」、由利あけみの「黒いパイプ」、楠木繁夫の「女の階級」がそれぞれ一コーラスずつ入っている。
　今夜はその他なつメロ17曲を送る。

1月15日
①「新春なつメロ大行進」 ＃271
②
③「時雨ひととき」、「しぐれ旅」(染千代)、「旅姿三人男」(ディック・ミネ)、「大陸の町」(東海林太郎)
④　新春名曲大行進の第3夜。
　ポリドールから昭和12年に発売された「名曲玉手箱」から東海林太郎、〆香、上原敏の歌声を聞く。続いてその裏面からは高田浩吉、日本橋きみ栄、結城道子の歌声を送る。そして珍曲中の珍曲、染千代の「しぐれ旅」を聞いた後、聴取者からのリクエスト曲を送る。

1月22日
①「リクエスト特集」 ＃272
②
③「買物ブギ」
④

1月29日
①「リクエスト特集」 ＃273
②
③「明日はお立ちか」(小唄勝太郎)、「上海航路」(林伊佐緒・三浦房子)、「浜町ざんげ」(喜代丸)、
「渡世がるた」(上原敏)、「幌馬車の唄」(和田春子)、「新雪」(桜井潔とその楽団)、
「ラ・クンパルシータ」(柴田睦陸)
④　第273夜の今夜は、先週に続いて、聴取者からのリクエスト曲を送る。
　一曲目は勝太郎の「明日はお立ちか」。そして昭和11年に発売された、林伊佐緒と三浦房子が歌う「上海航路」。三曲目は、喜代丸の「浜町ざんげ」。続いて上原敏が「流転」と同じ頃に出した「渡世がるた」、リーガル盤で発売された和田春子の「幌馬車の唄」。そしてちょっと毛色が変わるが、桜井潔とその楽団の演奏で「新雪」、お別れは柴田睦陸の「ラ・クンパルシータ」。

2月5日
①「リクエスト特集」 ＃274
②
③「人生劇場」(楠木繁夫)、「夜が笑っている」(織井茂子)、「古き花園」(二葉あき子)、
「さくら音頭」(岡晴夫・三門純子)、「雨の日曜日」(結城道子)、「霧の四馬路」(美ち奴)、
「崑崙越えて」(藤山一郎)
④　先週、先々週に続いてリクエスト特集の第3夜。
　一曲目は京都の方からのリクエストで楠木繁夫の「人生劇場」。二曲目はぐっと新しく昭和33年7月に発売された織井茂子の「夜が笑っている」。続いて松竹映画「春雷」の主題歌「古き花園」を二葉あき子の歌で聞く。
　後半に入って四曲目は、戦後に岡晴夫が吹き込んだ「さくら音頭」を三門純子とのデュエットで。そして結城道子の「雨の日曜日」。美ち奴の「霧の四馬路」。最後に藤山一郎の「崑崙越えて」を聞く。

2月12日
①＃275
②
③
④

2月19日
①＃276
②
③「高原の旅愁」「雪の戦線」
④

2月26日
①＃277
②
③
④

3月5日
①＃278
②
③「吉良の仁吉」
④

<u>3月12日</u>
①＃279
②
③
④

<u>3月19日</u>
①＃280
②
③
④

<u>3月26日</u>
①＃281
②
③
④

<u>4月2日</u>
①「流離」 ＃282
②
③「峠しぐれ」「涙の親子旅」「木曽の流れ唄」「妻恋旅姿」「流離」「街の波止場」「国境線万里」
④　今夜は先週に続いて、番組の企画・構成者の木村孝雄が今度自費出版する「受難の世代に捧ぐる―ああいとおしの青春歌」のLPから送る。
　今夜はB面の上原敏の曲を聞くが、一曲目は「峠しぐれ」。二曲目は「涙の親子旅」、そして「木曽の流れ唄」。四曲目が「妻恋旅姿」と珍品が続く。その後「流離」「街の波止場」、最後に「国境線万里」を聞く。
　なおこのLPは5月末に完成の予定で、希望者は近畿放送の「この歌あの人」の係まで。

<u>4月9日</u>
①＃283
②
③
④

<u>4月16日</u>
①＃284
②
③
④

<u>4月23日</u>
①「藤山一郎特集戦後編」 ＃285
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

4月30日
①「藤山一郎特集戦後編」 ＃286
②
③「長崎の鐘」「青い山脈」「ニコライの鐘」「花の素顔」「丘は花ざかり」
④　今夜は先週に続いて藤山一郎特集戦後編その2を送る。
「長崎の鐘」そして「青い山脈」を聞いた後、藤山一郎へのインタビュー。
次いで昭和26年4月に発売された「ニコライの鐘」、スローワルツの「花の素顔」を聞いて、昭和27年に封切られた映画主題歌「丘は花ざかり」を最後に聞く。

5月7日
①「二葉あき子特集」 ＃287
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

5月14日
①「二葉あき子特集」 ＃288
②
③「夜のプラットホーム」「フランチェスカの鐘」「恋の曼珠沙華」
④　今夜は先週に続いて二葉あき子特集その2。
今夜は戦後のヒット曲の数々を聞くが、最初は昭和22年に発売された「夜のプラットホーム」。この曲は、戦争中に「アイ・ウィル・ビーウェイティング」という英語のタイトルをつけて検閲をごまかして発売されたものを戦後二葉あき子が日本で歌ってヒットしたもの。

5月21日
①「小畑実特集」 ＃289
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

5月28日
①「小畑実特集」 ＃290
②
③「長崎のザボン売り」「小判鮫の唄」「薔薇を召しませ」「星影の小径」「涙のチャング」「高原の駅よさようなら」「山の端に月の出る頃」
④　先週に続いて小畑実特集その2で、戦後のヒット曲の数々を送る。
まず昭和23年にキングから発売されたヒット曲2曲、「長崎のザボン売り」と「小判鮫の唄」を聞く。そして小畑実の後援会「白バラ会」の名前の由来ともいえる「薔薇を召しませ」を聞いた後、昭和25年のヒット曲「星影の小径」と続く。
その後コロムビアに移籍。昭和25年10月に「涙のチャング」を出す。
そして古巣のビクターに帰って昭和26年6月に大ヒットの「高原の駅よさようなら」を出す。
こうした一連のヒット曲の締めくくりは「山の端に月の出る頃」。

6月4日
①コミック・ソング　＃291
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

6月11日
①コミック・ソング　＃292
②
③「歌う弥次喜多」(古川ロッパ・徳山璉)、「タバコ屋の娘」(岸井明・平井英子)、「玄冶店」(藤山一郎・小林千代子)、「袖珍ラジオ版」「吾輩は馬である」「僕は特急の機関手で」「田舎のバス」
④　今夜は先週に続いて「コミック・ソング」特集その2。
　昭和10年日劇のアトラクションで大ヒットした日本製ミュージカル「歌う弥次喜多」は、古川ロッパの弥次さん、徳山璉の喜多さんで吹き込まれた。二曲目は岸井明と平井英子で「タバコ屋の娘」。そして藤山一郎の与三郎、小林千代子のお富で「玄冶店」。
　続いて珍品中の珍品「袖珍ラジオ版」、これはラジオの番組を色々綴ったもの。その後「吾輩は馬である」「僕は特急の機関手で」「田舎のバス」を送る。

6月18日
①リクエスト特集　＃293
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

6月25日
①リクエスト特集　＃294
②
③「愛国の花」(渡辺はま子)、「街道投げぶし」(田端義夫)、「幌馬車の唄」(和田春子)、「くろがねの力」(霧島昇・伊藤久男・二葉あき子・松原操)、「あなたのあたし」(松平晃・杉狂児・市川春代)、「喫茶店哀話」(豆千代)、「潜水艦の台所」(古川ロッパ)
④　先週に続いてリクエスト特集その2。
　一曲目は渡辺はま子の「愛国の花」。続いてまだLP化されていない田端義夫の「街道投げぶし」。三曲目は昭和8年に発売された和田春子の「幌馬車の唄」。そして霧島、伊藤、二葉、松原の4人で「くろがねの力」。
　続いて松平、杉、市川の3人で日活作品「花嫁日記」から「あなたのあたし」。そして豆千代の唄で「喫茶店哀話」。最後は古川ロッパの「潜水艦の台所」を送る。

7月2日
①勝太郎特集①　＃295
②
③
④　京都新聞のラジオ欄に何も記述がないが、去る6月21日に亡くなった小唄勝太郎の追悼特集と思われる。

7月9日
①勝太郎特集②　＃296
②
③
④

7月16日
①夏のなつメロ特集　＃297
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

7月23日
①夏のなつメロ特集　＃298
②
③「朝月夕月」(ミス・コロムビア)、「夜霧の馬車」(李香蘭)、「月夜船」(波平暁男)、「とんがり帽子」「港の恋唄」「ベサメムーチョ」「チャルメラそば屋」
④　今夜は先週に続いて「夏のなつメロ特集」その2を送る。
　一曲目は昭和13年5月に発売された「続愛染かつら」の挿入歌でミス・コロムビアの「朝月夕月」。二曲目は昭和16年の夏ごろに流行した李香蘭の「夜霧の馬車」。そして終戦1年前の昭和19年夏に流行った波平暁男の「月夜船」を送る。
　戦後まだ焼け跡があちこちに残る街に流れたのがラジオドラマ「鐘の鳴る丘」の主題歌「とんがり帽子」。この曲にはさまざまな思い出をよみがえらせる人も多いことだろう。

7月30日
①＃299
②
③
④

8月6日
①＃300
②
③
④

8月13日
①＃301
②
③
④

8月20日
①レコード歌手しのぶ草　＃302
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

8月27日
①レコード歌手しのぶ草　＃303
②
③「塹壕の中で」(徳山璉)、「峠しぐれ」(上原敏)、「すその三里」(染千代)、「人妻椿」(松平晃)、「港シャンソン」(岡晴夫)、「人生劇場」(楠木繁夫)、「東京音頭」(勝太郎・三島一声)
④　先週に続いて「レコード歌手しのぶ草」と題して、今は亡き歌手達を偲んでヒット曲を集めて送る。
　一曲目は38歳の若さでこの世を去った徳山璉の「塹壕の中で」。続いて昭和19年に戦病死との公報が届いた上原敏の「峠しぐれ」。これは先ごろ番組の企画・構成者の木村孝雄が自費製作したLP「愛ほしの青春歌」に収録されているもの。
　その他、今は亡き歌手のヒット曲を偲ぶ。

9月3日
①リクエスト特集　＃304
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

9月10日
①リクエスト特集　＃305
②妻城光男
③「マドロスの唄」(岡晴夫)、「青い花」(高峰三枝子)、「チンライ節」(樋口静雄)、「霧の波止場」(上原敏)、「ダンジョンブンガの花」
④　先週に続いてリクエスト特集その2。
　一曲目は昭和24年発売の「マドロスの唄」、歌は岡晴夫。続いて昭和21年に高峰三枝子が歌った「青い花」。そして昭和13年8月に発売された樋口静雄の「チンライ節」を送る。
　昭和12、3年頃と言えば東海林太郎、上原敏がヒット曲を次々出していた頃だが、その頃の曲から珍曲を一曲。上原敏の「霧の波止場」を聞いた後、当時上原敏と常に行動を共にしていた妻城光男に思い出を聞く。
　そして最後に妻城の作曲で司会の森一也の編曲による「ダンジョンブンガの花」を送る。

9月17日
①＃306
②
③
④

9月24日
①＃307
②
③「高原の旅愁」(伊藤久男)、「人生の並木路」(ディック・ミネ)、「白百合」(東京音楽学校女声合唱団)、「利根の舟唄」「里恋峠」「妻恋道中」
④　先週に続いて聴取者から寄せられたリクエスト曲の数々を送る。
　一曲目は昭和15年に発売された伊藤久男の「高原の旅愁」。そして昭和12年の日活映画「検事とその妹」の主題歌「人生の並木路」をディック・ミネの歌で聞く。
　三曲目が今夜の珍曲、昭和14年5月に発売された「白百合」。これはラジオ歌謡で、東京音楽学校の女声合唱団のコーラスで演奏が東京音楽学校のオーケストラ。このオーケストラのチェリストとして解説の森一也が演奏している。

10月1日
①秋のなつメロ特集　＃308
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

<u>10月8日</u>
①秋のなつメロ特集　＃309
②
③「お駒恋姿」(東海林太郎)、「流沙の護り」(上原敏)、「月月火水木金金」、「おとめ白雲」(菊池章子)、
「勘太郎月夜唄」、「南の花嫁さん」(高峰三枝子)
④　先週に続いて、秋のなつメロ特集その2を送る。

一曲目は、昭和10年10月に発売された東海林太郎の「お駒恋姿」。続いて上原敏の「流沙の護り」は、昭和12年の秋に戦場で歌われた曲である。

陸軍の歌に代わって海軍の歌から一曲、昭和15年11月発売の「月月火水木金金」。そして昭和17年9月新譜の「おとめ白雲」は、まだ少女歌手の雰囲気が残っていた菊池章子が歌う。

そして秋にふさわしく「勘太郎月夜唄」を聞いた後、最後に高峰三枝子の「南の花嫁さん」を。

<u>10月15日</u>
①戦時歌謡と軍歌　＃310
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

<u>10月22日</u>
①戦時歌謡と軍歌　＃311
②
③「〇〇ぶし」、「花嫁部隊の唄」(能勢妙子・藤原亮子・豊島珠江)、「太平洋行進曲」「怒涛万里」
「大東亜戦争歌謡史」「昭南島よコンニチワ」「勝利の日まで」
④　今夜は先週に続いて「戦時歌謡と軍歌」その2を送る。

一曲目は昭和13年3月に発売された「〇〇ぶし」。この年には労農派グループの検挙があったりして、町の中にはスパイという言葉が氾濫し、そういう社会情勢からこの曲が生まれたということである。

続いて昭和14年1月発売の「花嫁部隊の唄」。歌うは能勢妙子・藤原亮子・豊島珠江。

そして「太平洋行進曲」「怒涛万里」を聞いた後、昭和18年1月に発売された「大東亜戦争歌謡史」を聞く。これには和田信賢のナレーションが入っている。

<u>10月29日</u>
①＃312
②
③
④

<u>11月5日</u>
①＃313
②
③「青い牧場」、「どうぢゃね元気かね」(楠木繁夫)、「守備隊月夜」「無情の花」
④　先週に続いて映画主題歌を聴取者からのリクエストで送る。

一曲目はサトウハチロー作詞、古賀政男作曲の「青空交響楽」の主題歌「青い牧場」。これは昭和18年1月に発売されたものだが、当時の検閲をごまかすためにサトウハチローが色々考えて作詞したもので、聞き方によっては相当なものに聞こえる。

続いて楠木繁夫の「どうぢゃね元気かね」。そして昭和18年8月発売の「守備隊月夜」。これは「誓いの合唱」の挿入歌。この後「無情の花」を送る。

11月12日
①＃314
②酒井清、那須芳子
③
④　出演者は、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

11月19日
①＃315
②酒井清、那須芳子
③「お山の杉の子」、「人生の並木路」（ディック・ミネ）、「旅姿三人男」（ディック・ミネ）、「兵隊さんよありがとう」
「熱砂の誓い」
④　先週に続いて戦時中の童謡歌手として活躍した酒井清と、酒井の妹でやはり子どもの頃合唱団の一員としてレコードの吹き込みをした那須芳子兄妹をスタジオに迎え、当時の思い出などを聞きながら番組を進める。
　一曲目は2人の先生の佐々木すぐるの作曲による「お山の杉の子」を聞く。その後酒井が当時好きだった歌手ディック・ミネの「人生の並木路」「旅姿三人男」の他、「兵隊さんよありがとう」「熱砂の誓い」などを。

11月26日
①東海林太郎特集　＃316
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

12月3日
①東海林太郎特集　＃317
②酒井清、那須芳子
③「春の悲歌」「スパニッシュ・セレナーデ」「上海の街角で」「恋慕しぐれ」「吹雪の国境」「母に捧ぐる歌」
「或る少尉の遺書」
④　今夜は先週に続いて東海林太郎特集その2を送る。
　一曲目は、昭和12年5月にポリドールから発売された「春の悲歌」。この曲は発売当時はあまりヒットしなかったが、本当の東海林ファンには珍重されている曲である。続いては珍品中の珍品、東海林太郎のフランス歌曲「スパニッシュ・セレナーデ」を聞く。
　そして「上海の街角で」と「恋慕しぐれ」「吹雪の国境」「母に捧ぐる歌」を聞いて、最後に東海林太郎の生前最後の吹き込みとなった「或る少尉の遺書」を送る。

12月10日
①田端義夫特集　＃318
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

12月17日
①田端義夫特集　＃319
②
③「船唄人生」「国境千里」「梅と兵隊」「上海の夜」「出船串本」「かえり船」「かよい船」
④　先週に続いて田端義夫特集その2を送る。
　一曲目は昭和15年7月に発売された「船唄人生」。続いては同じ年の11月、紀元二千六百年の記念で国中が沸いていた頃に発売された「国境千里」。これはなつメロコレクターの間では幻のレコードと言われているもので、今夜一番の聞きもの。
　三曲目は「梅と兵隊」。そして佐野周二のセリフ入りの「上海の夜」を聞いた後、「出船串本」「かえり船」「かよい船」と続く。

12月24日
①＃320
②
③
④

12月31日
①＃321
②
③
④

昭和50年1月7日
①＃322
②
③
④

1月14日
①＃323
②
③
④

1月21日
①＃324
②
③
④

1月28日
①＃325
②
③
④

<u>2月4日</u>
①＃326
②
③
④

<u>2月11日</u>
①＃327
②
③
④

<u>2月18日</u>
①＃328
②南一郎
③「弥次喜多大陸道中」、「銀座娘」（ディック・ミネ・服部富子）、「僚機よさらば」（灰田勝彦）、「僕の青春」（藤山一郎）、「山の入陽」（東海林太郎）
④　先週に続いて珍品名品のSPレコードを集めて送る。
　一曲目は「弥次喜多大陸道中」。これは戦争中に兵隊の慰問用に作られた映画の主題曲。次いで昭和15年4月発売のディック・ミネ、服部富子のコンビの「銀座娘」。そして灰田勝彦の「僚機よさらば」。藤山一郎の「僕の青春」。最後に昭和10年10月新譜の東海林太郎の「山の入陽」。
　ゲストにはレコード・コレクターの南一郎。

<u>2月25日</u>
①＃329
②
③
④

<u>3月4日</u>
①古川ロッパ特集　＃330
②南一郎
③「ネクタイ屋の娘」「声帯模写」「「うそくらべ」主題歌」「宵闇迫れば」「潜水艦の台所
④　今夜は古川ロッパ特集。
　一曲目は昭和15年に発売された、コロムビア専属第一作の「ネクタイ屋の娘」。続いて昭和5年ポリドール盤の「声帯模写」。これは山野一郎との共演だが、藤原義江や二村定一などの声が聞かれる。
　次に、ある新聞の囲み欄に載っていた「うそくらべ」を映画化した時の主題歌を聞く。続いて戦前の夜店風景を歌った「宵闇迫れば」。そして最後にマンガ映画「フクちゃんと潜水艦」の主題歌「潜水艦の台所」を聞く。

<u>3月11日</u>
①＃331
②
③
④

昭和50年

3月18日
①上原敏、東海林太郎幻の歌謡傑作集　＃332
②押谷誠之助
③「渡世がるた」(上原敏)、「別れ涙を」(上原敏)、「陣中ぶし」(上原敏)、「沓掛子守唄」(東海林太郎)、「泣くな門出に」(東海林太郎)、「虹よ消ゆるな」(東海林太郎)
④　今夜は「上原敏、東海林太郎幻の歌謡傑作集」と題して、今まであまり聞かれなかったSPレコードを集めて送る。
　上原敏のものとしては「渡世がるた」「別れ涙を」「陣中ぶし」の三曲。東海林太郎は「沓掛子守唄」「泣くな門出に」「虹よ消ゆるな」をそれぞれ三曲ずつ聞く。
　ゲストとして、先週に続いてSP盤収集家の押谷誠之助を招いて、それぞれの曲の思い出とともに裏話を交えて聞く。

3月25日
①＃333
②
③
④

4月1日
①童謡・唱歌特集　＃335
②
③「青葉茂れる桜井の」「てるてる坊主」「僕は軍人」「水師営の会見」「花かげ」「勝ち抜く僕等小国民」「兵隊ごっこ」
④　第335夜の今夜は、童謡・唱歌特集ということで、誰もが歌ったことのある、あるいは聞いたことのあるメロディーを送る。
　一曲目は「青葉茂れる桜井の」。これは元は「湊川」というタイトルであったが、一番の歌詞の最初がいつの間にかタイトルになったもの。
　続いて「てるてる坊主」。この曲のピアノ伴奏は中山晋平。
　そして戦争を経験した人は誰もが知っている「僕は軍人」。

4月8日
①＃336
②
③
④

4月15日
①＃337
②
③
④

4月22日
①＃338
②
③
④

<u>4月29日</u>
①＃339
②
③
④

<u>5月6日</u>
①＃340
②
③
④

<u>5月13日</u>
①＃341
②
③
④

<u>5月20日</u>
①＃342
②如月敏夫、篠崎俊夫
③
④　出演者は、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

<u>5月27日</u>
①＃343
②如月敏夫、篠崎俊夫
③「牧場の丘」「廃墟にたちて」「ジャングルと兵隊」「国境の町」
④　先週に続いて、戦前戦中にポリドールの歌手として活躍した如月敏夫と、如月を師とも仰ぐ、なつかしの流行歌研究保存会の篠崎俊夫をスタジオに迎え、如月の曲を聞きながら思い出を語る。

　一曲目は国内でよりむしろ戦地で多くの人が聞いたという「牧場の丘」。そして昭和16年12月にポリドールから発売された「廃墟にたちて」「ジャングルと兵隊」を聞き、「国境の町」で終わる。

　希望者10人には如月敏夫のサイン色紙を贈る。

<u>6月3日</u>
①万城目正特集　＃344
②
③「旅の夜風」「おもかげの歌」「純情の丘」「乙女七人」
④　今夜は、万城目正特集その1・戦中編を送る。

　映画主題歌をはじめ数多くのヒット曲を作った万城目は明治38年北海道で生まれ、武蔵野音楽学校から浅草六区でのピアノ弾きを経て松竹蒲田に入社、映画主題歌を作るようになる。最初の大ヒットが昭和13年の松竹映画「愛染かつら」の主題曲「旅の夜風」であった。

　その他新興作品「侠艶録」の主題歌「おもかげの歌」、「女性問答」の主題歌「純情の丘」「乙女七人」などを送る。

6月10日
①万城目正特集　＃345
②
③
④　サブタイトルは、前週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

6月17日
①伊藤久男特集　＃346
②
③「黒馬よ急ぐな」「お島千太郎旅唄」「暁に祈る」「高原の旅愁」「父よあなたは強かった」「海の進軍」「海底万里」「熱砂の誓い」
④　伊藤久男特集その1を送る。
今夜は若き日の伊藤久男の声を集めて聞くが、一曲目は昭和11年3月のコロムビア新譜「黒馬よ急ぐな」。このレコードは伊藤ファンで大変珍重されているもの。
続いて昭和15年にヒットした東宝映画「蛇姫様」の挿入歌、「お島千太郎旅唄」を二葉あき子とともに歌う。
そして彼の男性的な声を十分に生かして大ヒットした「暁に祈る」。

6月24日
①伊藤久男特集　＃347
②
③
④　サブタイトルは、前週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

7月1日
①大村能章特集　＃348
②
③「旅笠道中」（東海林太郎）、「お伝地獄の唄」「お駒恋姿」「明治一代女の唄」「満州想えば」「お夏清十郎」
④　今夜は大村能章特集その1。
日本調の曲に数々の名作を残している大村能章の最初のヒット曲は、昭和10年4月にポリドールから発売された右太プロ作品”東海の顔役”の主題歌「旅笠道中」。歌うのは東海林太郎。
続いて同年7月には新興プロ作品”お伝地獄の唄”が出ている。
この2曲の後、大村能章戦前の大ヒット「野崎小唄」のB面にカップリングされている「お駒恋姿」を聞く。

7月8日
①大村能章特集　＃349
②
③
④　サブタイトルは、前週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

7月15日
①＃350
②
③「青いクローバー」（霧島昇）、「東京ラプソディ」（藤山一郎）、「馬と兵隊」（楠木繁夫）、「林檎の樹の下で」「恋の丸木舟」
④　聴取者からのリクエストを中心に送る。リクエスト曲は霧島昇の「青いクローバー」、藤山一郎の「東京ラプソディ」、楠木繁夫の「馬と兵隊」など。
去る6月25日死去した作詞家の門田ゆたかを偲んで、以前この番組に出演した時のテープから生前の門田ゆたかの声と、門田の作詞による「林檎の樹の下で」と「恋の丸木舟」を聞いて門田ゆたかの冥福を祈る。

7月22日
①＃351
②
③
④

7月29日
①軍歌特集　＃352
②
③「野毛の山から」「維新マーチ」「宮さん宮さん」「抜刀隊」「雪の進軍」「陸奥の吹雪」、「軍艦行進曲」（東海林太郎）、「愛国行進曲」「月下の陣」「橘中佐」、「ハワイ海戦」（酒井弘）、「『新旧軍歌愛国歌曲集』陸軍編」
④　終戦の月も近づいて、今夜と来週は「軍歌」特集を送る。
　第一夜の今夜は流行歌としては最も古い軍歌ともいえる「野毛の山から」「維新マーチ」「宮さん宮さん」をメドレーで。
　続いて「抜刀隊」「雪の進軍」「陸奥の吹雪」を聞いた後、昭和12年発売の東海林太郎が歌う「軍艦行進曲」を送る。
　その他「愛国行進曲」「月下の陣」と「橘中佐」、それに帝国海軍軍楽隊の演奏、酒井弘の歌で「ハワイ海戦」、そして最後に日蓄管弦楽団の演奏による「新旧軍歌愛国歌曲集」陸軍編を聞く。

8月5日
①軍歌特集　＃353
②
③
④　サブタイトルは、前週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

8月12日
①＃354
②
③「夕日は落ちて」（松平晃）、「瞼の里唄」（東海林太郎）、「妻恋道中」（上原敏）、「美ち奴傑作集」（美ち奴）
④　今夜は聴取者からのリクエスト特集を送る。
　一曲目は昭和10年9月コロムビアの発売で松平晃の「夕日は落ちて」、続いて昭和15年3月発売の東海林太郎の「瞼の里唄」、そして上原敏の「妻恋道中」と続く。
　今夜の最大の聞きものは、昭和18年の美ち奴傑作集、これは泉詩郎の解説で「吉良の仁吉」「おけさ娘」「次郎長ぶし」を聞く。

8月19日
①＃355
②
③
④

8月26日
①北廉太郎特集　＃356
②
③「伊豆の故郷」「進軍の一夜」「夢のゆりかご」「男の行く道」
④　若くして死去した北廉太郎特集その1。
　一曲目は昭和13年11月新譜でポリドールのデビュー盤「伊豆の故郷」。続いて同年12月発売の「進軍の一夜」を聞く。その他倉若晴生とのコンビでヒットした「夢のゆりかご」「男の行く道」など。特に「男の行く道」は珍品中の珍品で、今夜の聞きものの1つ。
「なつメロ情報」は、第9回なつメロ愛好会全国大会について。

9月2日
①北廉太郎特集　＃357
②
③
④　サブタイトルは、前週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

9月9日
①＃358
②
③「慈悲心鳥」（楠木繁夫）、「満州吹雪」（音丸）、「俺は船乗り」（上原敏）、「水師営の会見」（旧戸山学校OB）、「歩くうた」（徳山璉・日本ビクター合唱団）
④　今夜は聴取者からのリクエスト曲を送る。
　一曲目は昭和11年にテイチクから発売された日活映画「慈悲心鳥」の主題歌「慈悲心鳥」を楠木繁夫で聞く。続いて同年11月コロムビアから発売の音丸が歌う「満州吹雪」、そして昭和14年2月ポリドール新譜の上原敏の「俺は船乗り」。
　その他、旧戸山学校OBの「水師営の会見」。それに徳山璉と日本ビクター合唱団の歌で「歩くうた」などを送る。

9月16日
①＃359
②
③
④

9月23日
①京都の唄特集　＃360
②
③「鴨川小唄」「伏見小唄」「月形半平太の唄」「お柳恋しや」「鳥辺山心中」
④　今週と来週の2回にわたって京都の唱特集を送る。
　第1回の今夜は昭和4、5年ごろに作られた「鴨川小唄」「伏見小唄」といった今まであまり聞けなかったもの。「鴨川小唄」は地元先斗町のきれいどころ。「伏見小唄」は伏見玉子、小奴、小金といった地元の芸妓。その他「月形半平太の唄」「お柳恋しや」「鳥辺山心中」など京都にゆかりのある曲を集めて送る。

9月30日
①京都の歌特集　＃361
②
③「若き京都」（高橋文夫）、「京むすめ」（月村光子）、「思い出の都」「軍国舞扇」「恋慕しぐれ」
④　先週に続いて京都の歌特集その2を送る。

「旅の夜風」をイントロに一曲目は昭和13、14年にタイヘイから発売された高橋文夫の唄で「若き京都」を聞く。そしてその裏面の月村光子が唄う「京むすめ」が二曲目。このレコードはサンプル盤のため、作詩作曲者が不明という珍品である。もしご存知の方があれば係まで連絡してほしい。

なお、前週のサブタイトルと「歌」の字が異なるのは、京都新聞ラジオ欄の記載に基づいているため。

10月7日
①＃362
②
③
④

10月14日
①＃363
②
③
④

10月21日
①思い出のタンゴ集　＃364
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

10月28日
①思い出のタンゴ集　＃365
②
③「酒は涙か溜息か」（パリ・ムーランルージュ楽団）、「夜のタンゴ」（バルナバス・フォン・ゲッツィ楽団）
④　昭和43年から7年間続いたこの番組も今夜をもってしばらく休む。

今夜は「思い出のタンゴ集」その2でパリ・ムーランルージュ楽団の演奏で「酒は涙か溜息か」、それにバルナバス・フォン・ゲッツィ楽団の「夜のタンゴ」その他を送る。

係では番組再開の時の資料にするため、聴取者からのリクエストと意見を募集している。近畿放送「この歌あの人」の係まで。

昭和51年2月3日
①＃366
②
③
④

2月10日
①＃367
②
③
④

2月17日
①＃368
②
③
④

2月24日
①藤原義江特集　＃369
②
③「女心の唄」「荒城の月」「アイ・アイ・アイ」「からたちの花」「波浮の港」「沖のかもめ」
④　かつて「我らのテナー」の名で親しまれ一世を風靡した藤原義江特集その1を送る。

曲目は「女心の唄」。この曲は藤原義江が18歳の時、東京少女歌劇団のテストで歌って合格したものと言われている。

続いて「荒城の月」「アイ・アイ・アイ」と聞いた後、コロムビア時代の藤原が作曲者・山田耕筰自身のピアノ伴奏で歌っている珍品レコード「からたちの花」を聞く。

なお、藤原はこの年の3月22日に亡くなっているが、前年の10月12日に救急車で病院に運ばれ、亡くなる一か月前にはのどの切開手術をして声を失っていたという（昭和51年3月22日付朝日新聞東京版夕刊）。電話出演も不可能であったと思われる。

3月2日
①藤原義江特集　＃370
②
③
④　サブタイトルは、前週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

3月9日
①田端義夫特集　＃371
②
③「島の船唄」「男召されて」「里恋峠」「大利根月夜」「街道投げ節」「兄妹」
④　田端義夫特集その1。

大正8年元日生まれというバタやんこと田端義夫がレコード界にデビューしたのが昭和14年6月発売の「島の船唄」で、当時21歳であった。そしてこの時が清水みのる、倉若晴生との「船もの」トリオのスタートでもあった。

この曲に続いて「男召されて」「里恋峠」を聞いた後、同じく昭和14年11月発売の大ヒット曲「大利根月夜」を聞く。この他、「街道投げ節」、青葉笙子とのデュエットの「兄妹」等を送る。

<u>3月16日</u>
①田端義夫特集　＃372
②
③「初旅ごよみ」「別れ船」「船唄人生」「黒龍江の船唄」「梅と兵隊」「岬のひととき」「かえり船」
④　先週に続いて田端義夫特集のその2。
　今夜は昭和15年、16年に発売されたレコードを中心に、一曲目は15年5月の「初旅ごよみ」、そして次に6月に発売され船シリーズの大ヒットの1つになった清水みのる作詞、倉若晴生作曲の「別れ船」を聞く。
　その他「船唄人生」「黒龍江の船唄」「梅と兵隊」「岬のひととき」を聞いた後、戦後テイチクに移籍しての初吹込みの「かえり船」で田端義夫特集を締めくくる。

<u>3月23日</u>
①リクエスト特集　＃373
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

<u>3月30日</u>
①リクエスト特集　＃374
②
③「赤城しぐれ」(霧島昇)、「ハイキングの歌」(青山薫)、「白蘭の歌」(伊藤久男・二葉あき子)、
「街角の喫茶店で」(岡晴夫)
④　先週に続いてリクエスト特集その2。
　一曲目は昭和12年1月発売の霧島昇の「赤城しぐれ」、そして昭和10年に一般から募集して作られた曲「ハイキングの歌」、これは青山薫の歌で聞く。
　その後、伊藤久男・二葉あき子の「白蘭の歌」、岡晴夫の「街角の喫茶店で」を聞く。
　この番組に対する意見やリクエストは、〒604 京都市中京局区内、近畿放送「この歌あの人」の係まで。

<u>4月2日</u>
①一人二役特集特集　＃375
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

<u>4月13日</u>
①一人二役特集特集　＃376
②
③「オシャカサン」(藤山一郎)、「港の恋唄」(小沢秀夫)、「吹雪の国境」(東海林太郎)、「マロニエの木陰」
「淡海ぶし」
④　今夜は前回に続いて「一人二役特集」その2。
　今夜の一曲目は、藤山一郎が自ら作曲し歌っている曲「オシャカサン」。これは昭和9年ビクターから発売されたものだが、作曲者名は本名の増永丈夫という名で発売されている。続いて編曲者の小沢秀夫が歌っている「港の恋唄」を聞く。
　そしてこの番組の解説をしている森一也が作曲した「吹雪の国境」を東海林太郎の作詞、歌で聞く。

4月20日
①＃377
②
③
④

4月27日
①＃378
②
③
④

5月4日
①＃379
②
③
④

5月11日
①＃380
②
③
④

5月18日
①昭和10年代コロムビア名曲選　＃381
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

5月25日
①昭和10年代コロムビア名曲選　＃382
②
③「村雨小唄」（松平晃）、「興安おろし」（音丸）、「夜霧朝霧」（豆千代）、「喫茶店哀話」（豆千代）、「落葉ざんげ」「みなと夕焼け」
④　先週に続いて、昭和10年代コロムビア名曲選その2を送る。
　一曲目は、昭和10年8月新譜「村雨小唄」。これは江口夜詩と竹岡信幸の2人が共同作曲したという珍しい曲。歌は松平晃。続いて同じ年の12月に発売された音丸の「興安おろし」。
　そして11年に入って豆千代の「夜霧朝霧」。12年5月発売の同じ豆千代の「喫茶店哀話」を聞く。これは、西城八十が柳水巴というペンネームで作曲したもの。

6月1日
①ポリドールなつかしの歌謡名曲選　＃383
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

6月8日
①ポリドールなつかしの歌謡名曲選　＃384
②
③「長崎行進曲」(東海林太郎)、「いろは仁儀」(宗近明)、「春の感傷」(三村博)、「王様の馬」(奥田良三)
④　先週に続いて「ポリドールなつかしの歌謡名曲選」その2。
　一曲目は、昭和10年3月発売の「長崎行進曲」。歌は東海林太郎。続いて松竹下加茂作品「蹴手繰音頭」主題歌の「いろは仁義」を宗近明の歌で。そして昭和12年3月発売の三村博歌の「春の感傷」。昭和9年1月発売の奥田良三歌の「王様の馬」と続く。
　その他秋田県大館市にこのほど作られた上原敏の顕彰碑の除幕式の模様の取材テープなども紹介する。

6月15日
①テイチクなつかしの名作選　＃385
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

6月22日
①テイチクなつかしの名作選　＃386
②
③「緑の地平線」(楠木繁夫)、「人生劇場」(楠木繁夫)、「ハルビン幻想曲」
④　先週に続いて「テイチクなつかしの名作選」その2を送る。
　まず「緑の地平線」と「人生劇場」の2曲を楠木繁夫の歌で聞いた後、先週A面をかけて好評だった楽団南十字星の演奏による「ハルビン幻想曲」のB面を聞く。その前に当時のバンドマスターであり、編曲を担当していた岩田喜代造に楽団の思い出、当時の様子などを電話で聞く。岩田の話と「ハルビン幻想曲」は今夜の最高の聞きもの。

6月29日
①＃387
②
③
④

7月6日
①＃388
②
③
④

7月13日
①＃389
②
③
④

7月20日
①＃390
②
③
④

7月27日
①リクエスト特集　＃391
②
③
④　サブタイトルは、翌々週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

8月3日
①リクエスト特集　＃392
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

8月10日
①リクエスト特集　＃393
②
③「虹の都」（小畑実）、「南京の花売娘」（岡晴夫）、「妻恋旅姿」（上原敏）、「支那の夜」（渡辺はま子）、「純情月夜」（結城道子）、「上州鴉」（瀬川伸）、「野いばら」（関屋敏子）
④　リクエスト特集その3。

一曲目は、昭和21年11月にテイチクから発売された小畑実の「虹の都」。続いて昭和15年4月の岡晴夫の歌で「南京の花売娘」。同年9月発売の松竹映画「弥次喜多怪談道中」から上原敏の「妻恋旅姿」を聞く。

渡辺はま子の「支那の夜」は佐野周二のセリフ入り。

8月17日
①＃394
②
③
④

8月24日
①＃395
②
③
④

8月31日
①日本で親しまれた外国のポピュラー・ソング特集　＃396
②
③「赤い翼」「月光価千金」「巴里の屋根の下」
④　「日本で親しまれた外国のポピュラー・ソング特集」その1。
　外国製の曲でありながら、あまりにも親しまれているため日本で作曲されたものと思われている曲もある。たとえば、昭和8年3月発売の「平和節」別名「パイノパイノパイ」。これは、原名を「マーチング・スルー・ジョージア」と言い、明治25年に日本に輸入されたもの。
　今日はこういった外国のポピュラー・ソングを集めて送る。

9月7日
①日本で親しまれた外国のポピュラー・ソング特集　＃397
②
③「谷間の灯ともし頃」「山の人気者」「ディガ・ディガ・ドゥ」「南へ南へ」「アイルランドの娘」「最後の乱舞」「チーク・ツウ・チーク」
④　「日本で親しまれた外国のポピュラー特集」その2。
　一曲目「谷間の灯ともし頃」、二曲目「山の人気者」と続いた後、昭和9年発売のコロムビア、ラッキー盤で、ミルス・ブラザーズとデューク・エリントン楽団の「ディガ・ディガ・ドゥ」を聞く。
　その他」「南へ南へ」「アイルランドの娘」「最後の乱舞」と聞くが、最後にエディー・デューチン・オーケストラの珍品「チーク・ツウ・チーク」を聞く。

9月14日
①リクエスト特集　＃398
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

9月21日
①リクエスト特集　＃399
②
③「アデュー・モン・パリ」「街道投げ節」、「牡蠣の殻」（東海林太郎）、「秋の女」（上原敏）
④　今夜は先週に続いて「リクエスト特集」その2。
　曲目は、「アデュー・モン・パリ」「街道投げ節」の他、東海林太郎の「牡蠣の殻」、上原敏の「秋の女」などを送る。
　先週に続いて今夜も400回記念として聴取者プレゼントのお知らせがある。プレゼントⅠは東海林太郎のカセットテープ、Ⅱは上原敏のLPアルバム、Ⅲはなつメロ誌78、をそれぞれプレゼントする。詳しくは番組で放送。

9月28日
①リクエスト特集　＃400
②
③
④　サブタイトルは、翌々週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

10月5日
①リクエスト特集　＃401
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

10月12日
①リクエスト特集　＃402
②
③「崑崙越えて」(藤山一郎)、「ふるさと通信」(霧島昇)、「街の花売娘」(松平晃)、「母のたより」「パラオ恋しや」「沓掛街道」「どぶろくの辰」
④　聴取者のリクエスト特集その5。
　一曲目は、昭和16年コロムビア新譜の藤山一郎歌「崑崙越えて」。続いて霧島昇の「ふるさと通信」、そして松平晃の「街の花売娘」。これは、西城八十が大陸へ日本軍慰問に行った時の印象を作詩したもので、この曲がヒントで岡晴夫の花売娘シリーズが生まれた。

10月19日
①＃403
②
③
④

10月26日
①＃404
②
③
④

11月2日
①東海林太郎歌謡名作選　＃405
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

11月9日
①東海林太郎歌謡名作選　＃406
②
③「君はそよ風」「わが涙」「人生航海」「上海の街角で」「純情一路」「大陸の歌声」「青春夜曲」
④　先週に続いて「東海林太郎歌謡名作選」その2を送る。
　今夜は昭和9年から15年にかけて発売されたものの中から選んで送る。
　一曲目は昭和9年3月発売のタンゴ「君はそよ風」。そしてこれも幻の名盤と言われる同年9月発売の「わが涙」。これは阿部武雄の作曲だが、阿部・東海林コンビの第一回作品である。
　続いて「人生航海」「上海の街角で」と13年作品2曲を聞く。そして最近復刻された「純情一路」「大陸の歌声」と14年の作品の後、昭和15年3月発売の「青春夜曲」などを送る。

<u>11月16日</u>
①＃407
②
③
④

<u>11月23日</u>
①＃408
②
③
④

<u>11月30日</u>
①＃409
②
③
④

<u>12月7日</u>
①＃410
②
③
④

<u>12月14日</u>
①＃411
②
③
④

<u>12月21日</u>
①＃412
②
③「白いハンカチ」(内本実)、「白いハンカチ」(原曲)、「谷間の灯ともし頃」(東海林太郎)、「おおドンナ・クララ」(藤山一郎・ヘレン隅田)、「たそがれ」(藤原義江)、「メキシコの乙女」(斎田愛子)、「アレクサンダー・ラグタイム・バンド」(岸井明・加美可那子)
④　今夜は、先週に続いて日本の歌手が歌うポピュラー曲を集めて送る。
　一曲目は昭和12年のコロムビア盤で内本実が歌うタンゴ「白いハンカチ」。続いてこの原曲を45年前に吹き込まれたレコードで聞く。
　三曲目は東海林太郎の歌で「谷間の灯ともし頃」。そして藤山一郎とヘレン隅田のデュエットで「おおドンナ・クララ」。
　その他、珍しい曲の数々で綴る。

12月28日
①＃413
②
③
④

昭和52年1月4日
①＃414
②
③
④

1月11日
①＃415
②
③「テイチク歌の花束」（楠木繁夫、美ち奴、ディック・ミネ、藤山一郎、奥田英子、杉狂児、星玲子）、
「魚河岸」（あきれたぼういず）、「朗らかな演芸会」
④　今夜は先週に続いてなつメロオールスター総出演というレコードの数々を送る。
　一曲目は昭和11年12月発売の「テイチク歌の花束」。このレコードの始めには珍しく古賀政男が挨拶をしている。出てくる歌手は、楠木繁夫、美ち奴、ディック・ミネ、藤山一郎、奥田英子、杉狂児、星玲子。
　続いて紹介するのは、あきれたぼういずの「魚河岸」。そして昭和10年のビクター盤、唄のレビュー「朗らかな演芸会」など新春にふさわしいレコードを聞く。

1月18日
①＃416
②
③
④

1月25日
①＃417
②
③
④

2月1日
①人生流転　＃418
②
③「人生劇場」、「曠野を行く」（松平晃・豆千代）、「涙の渡り鳥」（小林千代子）、
「さすらいの恋唄」（東海林太郎）、「人生の並木路」「流転」
④　「人生劇場」で始まる今夜のこの時間は”人生流転”をテーマに、人生の浮沈を歌った曲を集めて送る。
　一曲目は昭和9年10月に発売された松平晃と豆千代が歌う「曠野を行く」。そして昭和7年この曲で一躍スターになった小林千代子の「涙の渡り鳥」、これは佐川ミツオのリバイバルでも大ヒットした。
　三曲目は今夜の聞きもので、昭和10年12月に発売された東海林太郎の「さすらいの恋唄」。

2月8日
①＃419
②
③
④

2月15日
①＃420
②
③
④

2月22日
①＃421
②
③
④

3月1日
①岡晴夫特集　＃422
②
③「国境の春」「上海の花売娘」「港シャンソン」「ニュー・トーキョー・ソング」
④　「国境の春」で始まる第422夜の今夜は、待望の「岡晴夫」特集その1。

　一曲目は昭和14年5月キングから発売された「上海の花売娘」。この曲で歌手岡晴夫と作曲家上原げんとが世間に知られるようになった。そして続いてのヒット曲が同年7月発売の「港シャンソン」。

　次に戦時歌謡シリーズとして3曲メドレーで聞いた後、以前この番組に出演した時の岡晴夫の声を織り交ぜて「ニュー・トーキョー・ソング」ほかを聞く。

3月8日
①岡晴夫特集　＃423
②
③
④　サブタイトルは、前週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

3月15日
①＃424
②
③
④

3月22日
①＃425
②
③
④

3月29日
①＃426
②
③
④

4月5日
①＃427
②
③
④

4月12日
①＃428
②
③「鴛鴦春姿」（上原敏・青葉笙子）、「花嫁双六」（橋本一郎・喜代丸）、「憎いわね」（山中みゆき）、
「木曽路しぐれて」（東海林太郎）
④　今夜はリクエスト曲を送る。
　一曲目は昭和15年4月に発売された「鴛鴦春姿」。これは松竹映画「弥次喜多六十四州唄栗毛」の主題歌で、上原敏と青葉笙子のデュエット。次いでこれも映画主題歌「花嫁設計図」から橋本一郎と喜代丸のデュエットの「花嫁双六」。昭和11年3月タイヘイから発売されたもの。
　その他昭和12年8月発売の山中みゆきの「憎いわね」、東海林太郎の「木曽路しぐれて」など。

4月19日
①＃429
②
③
④

4月26日
①＃430
②
③「可愛い瞳」（松平晃）、「乙女の戦士」（高峰三枝子・コロムビア女声合唱団）、「港は雨」（北廉太郎）、
「米山三里」（音丸）、「別れの夜船」（岡晴夫）、「港町カスバ」（東海林太郎）
④　今夜は特にまだLP化されていない曲を集めて聴取者の希望に応える。
　一曲目が昭和11年10月コロムビアから発売された松平晃の「可愛い瞳」、続いて高峰三枝子とコロムビア女声合唱団の「乙女の戦士」、ポリドール昭和15年3月発売北廉太郎の「港は雨」、そして昭和11年12月音丸の「米山三里」などの後、珍品の岡晴夫「別れの夜船」、東海林太郎の「港町カスバ」などを送る。

5月3日
①＃431
②
③
④

5月10日
①＃432
②
③
④

5月17日
①＃433
②伊東茂
③「涙の責任」(樋口静雄)、「陣中ぶし」、「旅の人形師」(徳山璉)
④　今夜は大のなつメロファンで大阪北新地でお茶屋さんを経営する伊東茂をゲストに迎え、戦前のお茶屋さんの風景や芸者の生活の話などを聞きながら番組を進める。
　昭和15年、樋口静雄の「涙の責任」や昭和12年の「陣中ぶし」、そして伊東持参の徳山璉の「旅の人形師」などを聞く。
　伊東は昭和5年に発売された「曽根崎夜曲」をこのほど復刻自費出版、なつメロファンに喜ばれている人。

5月24日
①＃434
②
③
④

5月31日
①＃435
②塩まさる
③「軍国子守唄」「戦地から故郷から」「守備兵だより」「僕の父さん」
④　戦時歌謡に多くのヒット曲を出した塩まさるから当時の話を聞く。
　塩まさるのヒット曲と言えば何と言っても昭和14年の「九段の母」。塩が歌手として出発した当時の話やそれぞれの歌の思い出、レコーディングの裏話などが出る。

6月7日
①＃436
②
③
④

6月14日
①＃437
②
③
④

6月21日
①＃438
②高田浩吉
③「半次よびこみの唄」「二代目弥次喜多」「春琴抄」
④　今夜から3週にわたって、歌う映画スター第一号で、昨年芸能生活50年を迎えた高田浩吉をスタジオに招いて、思い出話とともに数々のヒット曲を聞いていく。
　今夜は映画界に入ったいきさつから始まって、昭和10年のデビュー作「大江戸出世小唄」の吹き込み当時の話、例えば撮影のセット中にオーケストラを入れての同時吹き込みをした苦労話、あるいはレコーディングの時のドイツ人技師のエピソードなど、大変興味ある話が聞ける。
　「春琴抄」は田中絹代のセリフ入り。

6月28日
①＃439
②高田浩吉
③
④　出演者は、前週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

7月5日
①＃440
②高田浩吉
③「噂だより風だより」「浩吉三文オペラ」「浩吉三度笠」
④　歌う映画スター第一号の高田浩吉をスタジオに迎えて、思い出話とともに、珍曲・名曲を聞く。
　一曲目は、昭和15年4月発売の「噂だより風だより」。その後高田浩吉自身がアイデアを提供、菊田一夫がそれをまとめて作り上げた「浩吉三文オペラ」と「浩吉三度笠」を聞く。

7月12日
①リクエスト特集　＃441
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

7月19日
①リクエスト特集　＃442
②高田浩吉
③「妻恋道中」（上原敏）、「小町恋塚」（東海林太郎・夏川静江）、「今日も塹壕で」（豆千代）、「瀬戸の絵模様」（高田浩吉）
④　先週に続いてリクエスト特集その2。
　一曲目は昭和14年3月ポリドールから発売された上原敏の「妻恋道中」。なつメロ番組ではよく聞かれるものだが、やはりリクエストも数多く寄せられるなつメロヒット曲中のヒット曲。その他東海林太郎、夏川静江の「小町恋塚」、豆千代の「今日も塹壕で」などを聞く。
　またこの番組では珍しく新しい曲、高田浩吉の「瀬戸の絵模様」が聞かれる。

7月26日
①一色皓一郎特集　＃443
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

8月2日
①一色皓一郎特集　＃444
②一色皓一郎、水原美也子
③「女性本願」（楠木繁夫・水原美也子）、「人生の港」（一色皓一郎）、「街の小鳥」（一色皓一郎・水原美也子）
④　先週に続いて一色皓一郎特集その2。今夜は一色皓一郎本人と、夫人の水原美也子をスタジオに招いて2人の曲を中心に送る。
　一曲目は昭和15年6月発売の「女性本願」。これは新興キネマ「女性本願」の主題歌で、水原美也子が楠木繁夫とデュエットしている。その他、一色の「人生の港」などを聞いた後、2人の曲「街の小鳥」など珍盤の数々を送る。

8月9日
①＃445
②
③
④

8月16日
①若原一郎特集　＃446
②若原一郎
③
④　サブタイトル及び出演者は、翌週及び翌々週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

8月23日
①若原一郎特集　＃447
②若原一郎
③「東京ナイト」「つばくろ笠」「裏町のピエロ」「ハンドル人生」
④　第447夜の今夜は、先週に続いて若原一郎特集その2を送る。
　のど自慢出身の歌手として数々のヒット曲を出し、今なお活躍している息の長い歌手だが、今夜は、昭和30年前後の曲を集めて聞く。
　一曲目は昭和29年10月発売の「東京ナイト」。続いて30年5月の「つばくろ笠」「裏町のピエロ」「ハンドル人生」と聞いていく。
　若原一郎という歌手は、色々なジャンルの歌をこなすという意味では他に類を見ない歌手と言えよう。こうした歌をこなす歌手の内面を、若原一郎と宇井昇の対談の中からうかがえるのも面白い。

8月30日
①若原一郎特集　＃448
②若原一郎
③「船に灯がつきゃ」「風の吹きよで」「仁吉は男」「丘にのぼりて」「おーい中村君」「あれからどうした中村君」
④　若原一郎をゲストに迎えての特集その3。
　デビュー曲の「船に灯がつきゃ」は昭和25年に発売されたものだが、最初は岡晴夫で発売予定だった。それが一転二転して若原一郎のデビュー曲となったわけだが、その辺の事情が語られる。
　その他「風の吹きよで」「仁吉は男」「丘にのぼりて」、そして大ヒットの「おーい中村君」。
　お別れは若原一郎の新曲「あれからどうした中村君」。

<u>9月6日</u>
①＃449
②若原一郎
③「国境の町」（東海林太郎）、「大地の春」、「人生劇場」（東海林太郎）
④　去る7月19日に82歳で亡くなった詩人の大木惇夫を偲んでの特集。
　大木惇夫と言えば、東海林太郎が歌って大ヒットとなった「国境の町」の詩を作った時のエピソードが世に有名になっているが、とにかく大変酒を愛し、酒を飲みながら詩を書くということで、作曲家の中でも酒豪の阿部武雄とのコンビで生まれたのが「国境の町」であった。
　今夜はこの他「大地の春」、東海林太郎の「人生劇場」などを送る。

<u>9月13日</u>
①＃450
②
③
④

<u>9月20日</u>
①菅原都々子特集　＃451
②
③
④　サブタイトルは、翌々週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

<u>9月27日</u>
①菅原都々子特集　＃452
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

<u>10月4日</u>
①菅原都々子特集　＃453
②菅原都々子
③「夢去りし丘」「悲恋椿」「月がとっても青いから」「北上夜曲」「古い港町」「聞いて下さいお話します」
④　菅原都々子特集その3。
　最初は昭和27年5月に発売された「夢去りし丘」、28年4月の「悲恋椿」を聞いた後、彼女のヒット曲の一つに数えられている「月がとっても青いから」を送る。昭和30年5月の発売で、今なお人々に口ずさまれている。
　その他「北上夜曲」、そして新曲の「古い港町」「聞いて下さいお話します」。

<u>10月11日</u>
①＃454
②
③「女の階級」（楠木繁夫）、「坊やは達者」（青葉笙子）、「あゝ揚子江」（塩まさる）、
「さすらいの唄」（佐藤千夜子）、「加茂川しぐれ」（上原敏）
④　今夜は聴取者のリクエスト曲を送る。
　一曲目は昭和11年10月発売の「女の階級」。これは楠木繁夫のヒット曲で、リクエストもたくさんある。
　続いて青葉笙子の「坊やは達者」、それに塩まさるの「あゝ揚子江」。
　その他今話題の佐藤千夜子の曲から「さすらいの唄」。これは昭和9年2月に発売されたもので、「ゴンドラの唄」とカップリングされたもの。
　そして最後に珍品中の珍曲、上原敏の「加茂川しぐれ」を送る。

10月18日
①＃455
②
③「ゴンドラの唄」（佐藤千夜子）、「小鳥売りの歌」（松平晃）、「思い出峠」（結城道子）、
「舟乗りの歌」（藤山一郎）、「守備兵ぶし」（小野巡）、「大空に祈る」（松原操）
④　先週に続いて聴取者からのリクエスト曲を送る。
　一曲目は先週聞いた佐藤千夜子の「さすらいの唄」の裏面で発売された「ゴンドラの唄」。これは昭和9年2月に発売されたもので、実はこの番組のテーマ曲として使用している。
　続いて松平晃の「小鳥売りの歌」、結城道子の「思い出峠」の後、今夜の聞きものの一つ、藤山一郎の「舟乗りの歌」。
　そしてリクエストの多い小野巡の「守備兵ぶし」、松原操の「大空に祈る」など。

10月25日
①＃456
②
③
④

11月1日
①＃457
②
③
④

11月8日
①＃458
②
③
④

11月15日
①小笠原美都子特集　＃459
②
③
④　サブタイトルは、翌々週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

11月22日
①小笠原美都子特集　＃460
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

<u>11月29日</u>
①小笠原美都子特集　＃461
②小笠原美都子
③「別れの波止場」「名残りの月影」「小夜ちどり」「舞柴」「十三夜」「日中友好の歌」
④　小笠原美都子特集その3。
　今夜は「別れの波止場」をトップに、昭和22年3月に発売の「名残りの月影」、26年4月の「小夜ちどり」などを聞いた後「舞柴」、そして最大のヒット曲「十三夜」をそれぞれの曲にまつわる思い出話とともに聞く。
　ついで小笠原美都子の最近のレコード「日中友好の歌」を、彼女の近況とともに紹介する。

<u>12月6日</u>
①＃462
②
③
④

<u>12月13日</u>
①＃463
②
③
④

<u>12月20日</u>
①なつかしのポピュラー名曲選　＃464
②
③
④　サブタイトルは、翌週の放送日の京都新聞ラジオ欄より推測。

<u>12月27日</u>
①なつかしのポピュラー名曲選　＃465
②
③「コロラドの月」(ベン・セルビンとそのオーケストラ)、
「セントルイス・ブルース」(ナット・ゴネラと彼のジョージアズ)、「カベシータ」(バルナバス・フォン・ゲッツィ)、
「小雨降る径」(ティノ・ロッシ)、「国境の南」(ジーン・オートリー)、
「アディオス・パンパミーヤ」(ホアン・ダリエンソ)
④　先週に続いてなつかしのポピュラー名曲選を聞く。
　一曲目はベン・セルビンとそのオーケストラの「コロラドの月」で、続いて昭和13年頃に発売されたナット・ゴネラと彼のジョージアズの「セントルイス・ブルース」が続く。
　そして昭和12年に日本に紹介されたバルナバス・フォン・ゲッツィの「カベシータ」、ティノ・ロッシの「小雨降る径」、続いて先週も聞いたジーン・オートリーの「国境の南」、最後にホアン・ダリエンソの「アディオス・パンパミーヤ」。

<u>昭和53年1月3日</u>
①＃466
②
③
④

1月10日
①＃467
②
③
④

1月17日
①＃468
②
③
④

1月24日
①＃469
②
③
④

1月31日
①＃470
②
③
④

2月7日
①＃471
②
③
④

2月14日
①＃472
②
③
④

2月21日
①＃473
②
③
④

昭和53年

2月28日
①＃474
②
③
④

3月7日
①＃475
②総集編
③
④

3月14日
①＃476
②総集編
③
④

3月21日
①＃477
②総集編
③
④

3月28日
①＃478
②総集編
③「燃ゆる大空」（藤山一郎・霧島昇他）、「高原の旅愁」（伊藤久男）、「夕日は落ちて」（松平晃・豆千代）、「ブエノスアイレスの歌」（淡谷のり子）
④　昭和43年から10年間続いたこの番組も第478回の今回で本当の最終回。
過去に藤山一郎、伊藤久男、豆千代、淡谷のり子がそれぞれ出演した際の録音をダイジェストで聞く。
この回の放送音源をA氏が当時録音したものが現存しており、これを聞くところによると、番組のオープニングとエンディングに「忠治子守唄」のメロディーが流れ、オープニング時にはメロディーに被せる形で司会の宇井昇が**「歳月は流れ昭和が流れる。喜びがあり悲しみがあり青春がある。そこには人があり思い出があり歌がある。今宵も聞こし召て愛おしのあの青春歌、シンポの「この歌あの人」」**という口上を述べている。
曲目は放送順。
また、エンディング時に以下の5種類のプレゼントのお知らせが告知されている。
・自費制作による上原敏大全集（200曲入っているLP14枚セット）を1名
・自費制作「ポリドール名作選　望郷の唄」（14曲入っているLP）を1名
・なつメロの雑誌「SEVEN EIGHT」3月号を20名
・この放送の放送テープ2週分を1本にしたカセットテープの希望の放送テープを10名
・東海林太郎の生前の声の入ったカセットテープ（10曲歌が入っている）を10名

4　番組解説

１　放送局

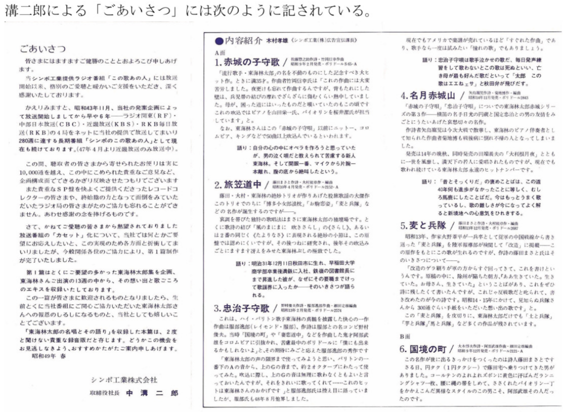
ラジオ関東、中部日本放送、近畿放送及びＲＫＢ毎日放送の４局で放送が行われた。司会者の宇井昇がなつメロ愛好会の会報に３度にわたり同番組に関する記事を寄せている（第６号：昭和４５年３月１５日発行、第１９号：昭和４７年５月２０日発行、第２２号：昭和４７年１１月１０日発行）が、いずれにおいても４局ネットで放送したとの記述となっている他、木村孝雄自費制作ＬＰ同封③の記載もこの４局のみとなっており、これ以外の放送局からは放送されなかったと断定してよいであろう。

前掲宇井昇の記事（会報第１９号及び２２号）には、ラジオ関東がキーステーションであったと書かれており、４局の中で一番放送日が早かったのもラジオ関東であるが、第１７８回以降の放送を続けたのは近畿放送のみとなっている。

なお、木村孝雄自費制作ＬＰ同封②にラジオ関東の広中雅幸が記事を寄せているが、この記事によると彼が番組プロデューサーであったとのことである。一方で、最終回の第４７８回音源では、担当ディレクターは近畿放送の別の人物が紹介されている。これらを考慮すると、４局放送時の第１７７回まではラジオ関東が番組制作を担当していたが、近畿放送のみでの放送となった第１７８回以降は番組制作が同局に移行したものと推察される。

２　スポンサー企業

スポンサー企業は、京都市に本社・工場のあるシンポ工業株式会社（現・日本電産シンポ株式会社）である。木村孝雄自費制作ＬＰ同封④に収録されている同社取締役社長の中溝二郎による「ごあいさつ」には次のように記されている。



ごあいさつ

皆さまにはますますご健勝のこととおよろこび申しあげます。

当シンポ工業提供ラジオ番組「この歌あの人」には放送開始以来、格別のご愛聴と暖かいご支援をいただき、深く感謝いたしております。

かえりみますと、昭和43年11月、当社の発案企画によって放送開始しましてから早や６年――ラジオ関東（ＲＦ）・中部日本放送（ＣＢＣ）・近畿放送（ＫＢＳ）・ＲＫＢ毎日放送（ＲＫＢ）の４局をネットに当社の提供で放送してまいり280週に達する長期番組「シンポのこの歌あの人」として現在も続けております。（47年４月より近畿放送のみ放送中）。

この間、聴取者の皆さまから寄せられたお便りは実に10,000通を越え、この中にこめられた貴重なご意見など、企画構成面でできるかぎり反映させたつもりでございます

また貴重なＳＰ盤を快よくご提供くださったレコードコレクターの皆さまや、終始陰の力となって面倒をみていただいたラジオ局の皆さまがたのご協力も忘れることができません。あわせ感謝の念を捧げるものです。

さて、かねてご愛聴の皆さまから熱望されておりました放送番組の「カセット」化について、当社では何とかご要望にお応えしたいと、この実現のため各方面と折衝してまいりましたが、今般関係各位のご協力により、第１篇制作が完了いたしました。

第１篇はとくにご要望の多かった東海林太郎集を企画、東海林さんご出演の13週の中から、その想い出と歌ごころのエキスを収録いたしております。

この一篇が皆さまに歓迎されるものとなりましたら、生前とくに当社番組にご関心ご協力いただいた東海林太郎さんへの報恩のしるしになるものと、当社としても嬉しいことでございます。

「東海林太郎の名唱とその語り」を収録した本篇は、２度と聞けない貴重な録音版だと存じます。どうかこの機会をお見逃しなきよう、おすすめかたがたご案内申しあげます。

昭和49年　春

シンポ工業株式会社

取締役社長　中　溝　二　郎

●内容紹介　木村孝雄《シンポ工業(株)広告宣伝課長》

Ａ面

1.赤城の子守歌／佐藤惣之助作詩・竹岡信幸作曲　昭和９年２月発売・ポリドールS65-A

「流行歌手・東海林太郎」の名を不動のものにした記念すべき大ヒット作。ときに満35才。作曲者竹岡信幸氏は「これの作曲には大変苦労しました。夜更けも忘れて作曲するんですが、背もたれにした壁は、兵児帯の結びの擦れでざらざらに傷むくらい熱中していました。母が、困った道にはいったものだと嘆いていたのもこの頃です。これの吹込ではピアノを山田栄一氏、バイオリンを桜井潔氏が担当しています」と。

なお、東海林さんはこの「赤城の子守唄」以前にニットー、コロムビア、キングなどで50曲以上吹込んでいるといわれます。

語り：自分の心の中にオペラを作ろうと思っていたが、男の泣く唄だと教えられて苦慮する新人東海林。そして開眼一番、マイクから片腕一本離れ、腹の底から絶叫したという。

2.旅笠道中／藤田まさと作詩・大村能章作・編曲　昭和10年４月発売・ポリドール2152-A

藤田・大村・東海林の絶妙トリオが作りあげた股旅歌謡の大傑作このトリオでのちに「博多小女郎浪枕」「お駒恋姿」「麦と兵隊」などの名作が誕生するのですが――。

哀調を帯びた独特の歌唱法はまさに東海林太郎の独壇場です。とくに歌詩の結び「風のまにまに　吹きさらし」の《さらし》、あるいは２番の同じく《たよりなさ》に表現される絶妙の小節は、この原盤では認めにくいですが、その後つねに研究され、後年その吹込みごとにますます冴えをみせた東海林ぶしの極致でした。

語り：明治31年12月11日秋田市に生れ、早稲田大学商学部卒業後満鉄に入社、鉄嶺の図書館長にまで昇進した彼が、なぜにその要職までけって歌謡界に入ったか――そのいきさつが語られる。

3.忠治子守歌／野村俊夫作詩・服部逸郎作曲・細田定雄編曲　昭和13年２月発売・ポリドール2574

これは、ハイ・バリトン歌手東海林の真髄を披露した快心の一作作曲は服部逸郎（レイモンド・服部）、作詩は服部との名コンビ野村俊夫。当時「国境の町」や「妻恋道中」などを作曲した鬼才阿部武雄をコロムビアに引抜かれ、苦慮最中のポリドールに「僕にも出来るかもしれないよ」と、その期待にみごと応えた服部逸郎の秀作です

「東海林太郎の声の限界まで使ってみようと思い、バリトンの一番下のＡの音から、上のＧの音まで、約２オクターブにわたって使ってみた。吹込に際し、上のＧの音は無理に歌わなくともよいと言っておいたんですが、それをきれいに歌ってくれて……これのヒットは東海林さんのおかげです」と服部逸郎氏は控え目に語っていましたが、服部氏も48年８月他界しました。

現在でもアメリカで楽譜が売れているほど「すぐれた作曲」であり、歌手なら一度は試みたい「憧れの歌」でもありましょう。

語り：忠治子守唄は歌手泣かせの歌だ、毎日発声練習をして歌わないとこの歌は死ぬといい、亡き母が最も好んだ歌だといって「太郎　この歌はエエねェサ」と秋田弁が飛びだす。

4.名月赤城山／矢島寵児作詩・菊地博作・編曲　昭和14年11月発売・ポリドール2843

「赤城の子守唄」「忠治子守唄」についでの東海林太郎赤城シリーズの第３作――横笛の名手日光の円蔵と国定忠治との男の友情をみごとにうたいあげた哀愁切々の名作。

作詩者矢島寵児は今次大戦で散華し、東海林のピアノ伴奏者として知られた作曲者菊地博も戦後病に倒れ不帰の人となってしまいました。

発売は14年の晩秋、同時発売の田端義夫の「大利根月夜」とともに一世を風靡し、満天下の若人に愛唱されたものですが、現在でも歌われ続けている東海林太郎永遠のヒットナンバーです。

語り：「昔とそっくりだ」の褒めことばは、この道40年何も進歩がなかったことに等しく、むしろ馬鹿にしたことばだ。今はもっとうまく歌っているし、歌の難しさが今になってよく解ると新境地への心意気をひれきする。

5.麦と兵隊／藤田まさと作詩・大村能章作・編曲　昭和13年12月発売・ポリドール2687

昭和13年、作家火野葦平が一兵卒として従軍の中国戦線から書き送った「麦と兵隊」を陸軍報導部が検閲して「改造」に掲載――この原作をもとにこの歌が生れるのですが、作詩の藤田まさと氏はそのいきさつについて――。

「改造のゲラ刷りが軍の方からすぐ回ってきて、これを書けというんです。原稿の中に、徐州が陥ちた朝方、『ああ生きていた。生きていた。お母さん、生きていた』ということばがあり、これをぜひ詩に残したくて書いたんですが、これじゃ反戦歌だと叱られて、書き改めたのが今の詩です。昭和14・15年にかけて、見知らぬ兵隊さんから 300通ぐらい手紙をいただいた想い出の歌です」と。

この「麦と兵隊」を皮切りに、東海林太郎だけでも「土と兵隊」「芋と兵隊」「馬と兵隊」など多くの作品が残されています。

Ｂ面

6.国境の町／大木惇夫作詩・阿部武雄作曲・細田定雄編曲　昭和９年12月発売・ポリドール2121-A

この名作が世に出るきっかけをつくったのは詩人藤田まさとです

さる日、円タク（１円タクシー）で藤田宅へ乗りつけてきた男がありました。コールテンのよれよれズボンに黄色に汗ばんだランニングシャツ一枚、腰に縄の帯をしめて、ささくれたバイオリン一丁をかかえこんだ異様なスタイルのこの男こそ、阿部武雄その人だったのです。

木村孝雄自費制作ＬＰ同封④（Ａ氏所蔵）

かえりみますと、昭和 43 年 11 月、当社の発案企画によって放送開始しましてから早や６年――ラジオ関東（ＲＦ）・中部日本放送（ＣＢＣ）・近畿放送（ＫＢＳ）・ＲＫＢ毎日放送（ＲＫＢ）の４局をネットに当社の提供で放送してまいり 280 週に達する長期番組「シンポのこの歌あの人」として現在も続けております。(47 年４月より近畿放送のみ放送中)。（筆者注：傍点は筆者による）

また、昭和４５年３月２１日付読売新聞東京版朝刊の都民版には、この月の７日に赤坂東急ホテルにおいて、日本音楽著作権協会（吉田信常務理事）、日本音楽著作家組合（藤田正人委員長）、日本詩人連盟（島田磬也常務理事）及び当番組スポンサーのシンポ工業株式会社（中溝二郎社長）の各代表が集まって「“なつメロ”普及につくした功績でスポンサーを表彰する催し」が開かれ、その席上において、楠木繁夫・三原純子夫妻の比翼塚を資金を出し合って建立することや、比翼塚建立で余ったお金で、歌手・作詞家・作曲家の老後を守る基金制度を作ることが話し合われたという。

以上を踏まえると、シンポ工業が単なるスポンサー企業ではなく、番組の制作に能動的に携わり、なつメロブームを支援していた実態が見えてくる。
なお、最終回の第４７８回音源においても「近畿放送のシンポの『この歌あの人』」と紹介されており、番組放送の全期間にわたって継続的にスポンサーを務めていたことが分かる。

３　企画構成者

企画構成者は、大阪府吹田市在住の木村孝雄である。前掲広中雅幸の記事に、番組放送開始直前の昭和４３年初秋、番組制作の打ち合わせで広中と木村が初めて顔合わせを行った事実が記されていることと、最終回の第４７８回音源で「１０年間の企画構成はシンポ工業の木村孝雄」と紹介されていることを考慮すると、番組放送の全期間にわたって木村が企画構成を務めていたことが分かる。
木村孝雄は昭和６年の生まれ。彼の自費制作ＬＰ同封④の「内容紹介」には、彼の氏名の後ろに「≪シンポ工業（株）広告宣伝課長≫」と記載されており、同社の社員であったことが分かる。
なお木村は昭和４０年代～５０年代にかけてポリドールのＳＰ盤復刻ＬＰを次々と自費制作しており、大のなつメロ愛好家であったようである。例えば、昭和５４年９月２７日付読売新聞東京版夕刊において、上原敏のＬＰ全集を昭和５１年から３年間かけてコツコツと第１５巻まで完成させたことが報じられている。

４　放送期間及び放送内容

放送期間は大きく４つの区分に分けることができるため、前章の放送記録もこの区分ごとに記載した。

（１）第１回～１４２回

昭和４３年１１月（近畿放送は同年１２月）～４６年７月にかけて放送した。ＲＫＢ毎日放送においては、昭和４４年１１月の第５２回から放送を開始している。

司会は、元中部日本放送のアナウンサーで日本の民間放送で第一声を発した人物としても知られる宇井昇が務め、番組の特徴は以下のとおりであった。

> 物故歌手は関係者、現在歌手は御本人の話を聴きながら、レコードは原則としてオリジナルのＳＰ。作詞、作曲の先生方にもスポットライトをあてていうことで、中山晋平作曲の「ゴンドラの唄」をテーマ音楽に、上原敏特集を第一回として、(後略)［前掲宇井昇の記事（会報第６号)］

> なつメロをオリジナルの原盤で聴き、織りなす人間模様を正確に伝えようという企画［前掲宇井昇の記事（会報第１９号)］

サブタイトルの多くがなつメロ関係者の名前となっており、流行歌そのものではなく人物にスポットを当てることに重点を置いていたと言える。また、なつメロ関係者は歌手ばかりでなく作詞者、作曲者の比率が高かったこともこの番組の特徴である。

特集ごとに異なるなつメロ関係者をスタジオに呼んで思い出話を聞きながら原盤のＳＰレコードを合間合間に流していくという番組構成であった。電話からなつメロ関係者が参加することもあった。

第１４０回～１４２回の最後の３回の放送は過去３年を振り返っての総集編となっており、近畿放送以外の３局ではいったん放送を終了する。第１４１回の近畿放送を紹介する京都新聞ラジオ欄では、「なお今の構成での「この歌・あの人」は、七月いっぱいで終わるが、八月からは、新しい形式で「この歌・あの人」を送る予定。」［昭和４６年７月２０日付京都新聞朝刊］と紹介されている。

（２）第１４３回～１５１回

昭和４６年８月～９月にかけて近畿放送のみで放送した。

司会は当初引き続き宇井昇が務めていたが、途中で月原史郎に交代している。京都新聞のラジオ欄からは、第１４５回までは宇井昇、第１４７回以降は月原史郎であることが読み取れたが、第１４６回の司会がどちらであったのかの明記はなかった。しかしながら、第１４６回と１４７回のサブタイトルがともに「誰か故郷を想わざる」と同一であったため、第１４６回の司会者は月原史郎であったものと推測して６７ページに記載した。

番組のサブタイトルが今までとは打って変わってキーワードとなっていることからも推察できるように、「今までの人物中心で構成した内容を一新して、なつメロをジャンル別に分類して送る」［昭和４６年８月３日付京都新聞夕刊］という番組構成に変わった。

ゲスト出演も皆無であったものと思われる。

実際に放送音源を聞いたわけではないため推測に過ぎないが、「この歌あの人」という番組名にそぐわない内容に変わってしまったという感が否めない。

（３）第１５２回～１７７回

昭和４６年１０月～４７年３月（ＲＫＢ毎日放送は同年４月）にかけて再び４局での放送を再開し、司会も宇井昇に戻っている。

サブタイトルもなつメロ関係者の名前に戻り、「ヒット曲の織りなす人間模様をさぐる」［昭和４６年１０月５日付京都新聞夕刊］という人物中心の構成に戻っている。

第１７７回は番組最終回という位置づけで、第１回放送時のゲスト出演者の島田磬也を招き、一曲目も第１回放送時の最初の曲「裏町人生」を流している。

第１７７回の近畿放送を紹介する京都新聞ラジオ欄では、「なお来週からは再放送の形でお送りする。」［昭和４７年３月２８日付京都新聞朝刊］と紹介されている。

（４）第１７８回〜４７８回

昭和４７年３月の第１７７回が当番組の最終回であるという位置づけは、前掲宇井昇の記事（会報第１９号及び２２号）にも見られる。両記事において宇井昇は、３年半に渡る番組の重責から解き放たれた虚脱感とともに番組の思い出を感慨深く振り返っている。また、同じ会報第１９号には、番組放送終了を記念して同年３月１８日に東京で宇井昇への感謝の集いが催されたという記事も掲載されている。

それにもかかわらず、近畿放送のみではあるが、昭和４７年４月以降も昭和５３年３月までの長きにわたり放送が継続されている。

司会者は、７９ページに書いたとおりの変遷をたどっている。ただし、最初の第１７８回〜１８１回までについては、いずれも過去の再放送であったものと思われる。

京都新聞ラジオ欄の記事からの推測に過ぎないが、この時期の放送は、宇井昇が司会の時と、月原史郎または森一也司会の時とで大きく特徴が異なったのではないかと思われる。具体的には、宇井昇が司会の時は、４局放送の時と同様に、なつメロ関係者をスタジオに呼び、思い出話を聞きながら原盤のＳＰレコードを合間合間に流していくという番組構成であったものと推測されるのに対し、月原史郎や森一也が司会の時は、ゲストを呼ばず、あるいはゲストを呼ぶとしてもレコードコレクター等の非業界人であり、淡々と解説を交えながらレコードを流していくだけという番組構成だったように見受けられる。

なお、「２　地域別放送日時リスト」及び「３　放送記録」において第３３４回の記載がないのは以下の理由による。

・第２７３回の放送日が昭和４９年１月２９日であることを京都新聞ラジオ欄より特定。
・第３３５回の放送日が昭和５０年４月１日であることを京都新聞ラジオ欄より特定。
・第２７４回〜３３４回の放送日を埋めていくと、どうしても１回分はみでてしまい、やむを得ず第３３４回をリストから飛ばしたもの。

したがって、本誌において第２７４回〜３３３回と表示した放送回のどこかでズレが生じているものと思われる。

５　番組と関連が深い商品

番組と関連が深い商品を３点紹介する。

（１）〖受難の世代〗に捧ぐる　あゝ愛おしの青春歌　東海林太郎・上原敏　名作選

既に何度も言及している、木村孝雄が自費制作したＬＰ。ジャケット裏面の「自費制作の辞」によると、「大正初期から昭和４年ごろまでに生を受けた世代」を戦中戦後の厳しい時代を生き抜いた「受難の世代」とし、自費制作の意図を次のように述べている。

　わたしはいま、一篇の歌をまとめ、せめてわたしのせまい身辺から消えていった先輩たちへの追悼と、戦後の復興に破身した先輩諸氏への慰めの、ささやかな印としたい――これが、わたしの自費制作するゆえんである。

「ご存知『東海林太郎』と、今次大戦に南海の果てでニューギニヤで散華した名歌手『上原敏』のかくれた名作を、約35年ぶりに復刻した」ＬＰとなっている。

曲目は次表のとおりで、同ＬＰ同封②では、「戦後一度も復刻されていない曲ばかり」「名作でありながら、ほとんど入手しにくいレコードばかり」と紹介されている。

	Ａ面　東海林太郎篇	Ｂ面　上原敏篇
1.	ハルピン旅愁	峠しぐれ
2.	青春夜曲	涙の親子旅
3.	南国の船唄	木曽の流れ唄
4.	人妻真珠	妻恋旅姿
5.	桐一葉	流離
6.	小諸追分	街の波止場
7.	黄昏道中	国境線万里

自費制作盤でありながら同ＬＰ同封②には、番組にゲスト出演している島田磬也（作詞家）や妻城光男（上原敏の司会者兼マネージャーを務めた人物）、番組の司会を務めた森一也（作曲者兼評論家）、番組プロデューサーの広中雅幸（ラジオ関東）といった人物が記事を寄せている他、同ＬＰ同封①でＡ面の東海林太郎篇の曲目解説を担当したのも、湯川容輔という東海林太郎の熱狂的なファンで、番組にゲスト出演したことのある人物であった。まさに番組関係者の全面的なバックアップの中で制作されたＬＰであると言える。



筆者所蔵

完成時期は、同ＬＰ同封②によると昭和４９年６月上旬（同年４月２日付京都新聞夕刊では「五月末に完成の予定」と紹介されている。）で、完成直前の同年３月～４月の放送（第２８１回・２８２回）ではこのＬＰを使った特集が組まれた。また、同年７月１５日発行のなつメロ愛好会会報第３２号でもこのＬＰの紹介がなされている。

（２）わが想い出と歌ごころを語る　不滅の名歌手　東海林太郎

木村孝雄自費制作ＬＰ同封④に、この商品の「カセット頒布予約ごあんない」が以下のようにクレジットされている。

制作委託者	シンポ工業株式会社 京都市（以下住所略） ＴＥＬ 075－（以下電話番号略）
制作受託者	株式会社　ラジオ関東音楽出版社 （ＪＡＳＲＡＣおよびポリドール・コロムビア・ビクターその他関係者の承認済）
企画・構成	木村孝雄（シンポ工業）
唄と語り	東海林太郎
お相手	宇井昇

また、「このカセットは、予約制作実費頒布するもので一般のお店には販売しておりません。」との記載があり、申し込み方法は郵便振込票によるシンポ工業株式会社への口座振込と、同社広告宣伝課あての現金送金の２種類が指定されている。

同じ資料（木村孝雄自費制作ＬＰ同封④）中の同社取締役社長の中溝二郎による「ごあいさつ」では次のように紹介されている。

> さて、かねてご愛聴の皆さまから熱望されておりました放送番組の「カセット」化について、当社では何とかご要望にお応えしたいと、この実現のため各方面と折衝してまいりましたが、今般関係各位のご協力により、第１篇制作が完了いたしました。
> 第１篇はとくにご要望の多かった東海林太郎集を企画、東海林さんご出演の 13 週の中から、その想い出と歌ごころのエキスを収録いたしております。

実物のカセットテープにも「シンポ工業株式會社」とのクレジットが入っており、ケースには「非売品」との表示がある。また、同じくケースには、「このテープに収録されたものは、ラジオ関東制作、シンポ工業提供の「この歌あの人」より再編集して制作したものです。」との表示もある。

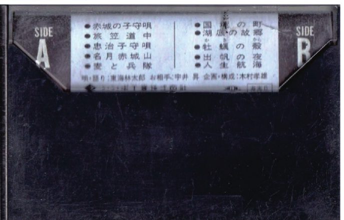
曲目は次表のとおりで、各曲目の合間に東海林太郎と宇井昇の会話が挿入されている。また、Ａ面の出だしは、オリジナルのＳＰ音源で「国境の町」が２番まで歌われた後、シンポ工業の会社宣伝が収録されている。

収録時間は片面２５分弱ずつで両面で５０分弱。

	A面	B面
1.	赤城の子守唄	国境の町
2.	旅笠道中	湖底の故郷
3.	忠治子守唄	牡蠣の殻
4.	名月赤城山	出帆の夜
5.	麦と兵隊	人生航海

東海林太郎は存命中に当番組で計５回特集され、出演は計１３回にわたるため、具体的に第何回の放送分から抜粋していったのかを特定することは困難であるが、Ｂ面の「牡蠣の殻」については、木村孝雄自費制作ＬＰ同封④の「内容紹介」に「この部分は、昭和47年１月放送分からとったもので、東海林太郎ラジオ出演の最後の録音となった。当日体調がすぐれず、声帯も荒れている」と記されている。





←↑Ｂ氏所蔵

（１）で紹介したＬＰと同様、制作に木村孝雄が携わってはいるものの、（１）のＬＰがあくまでも木村孝雄個人がプライベートで制作したＳＰレコード復刻品という体裁であるのに対し、こちらのカセットテープは、シンポ工業が会社として制作した商品という位置づけであり、番組で使われた音源を再編集した番組のダイジェスト品であった。

明確な制作時期は不明であるが、前掲中溝二郎の「ごあいさつ」の日付が「昭和 49 年春」と表示されていることから、（１）のＬＰと同じ時期に制作されたものと思われる。また、「第２篇」以降のものが制作されたかどうかは不明である。

（３）岡晴夫大いに語る

岡晴夫が亡くなって７年後の昭和５２年、長年暮らした千葉県市川市の葛飾八幡宮境内

に岡の顕彰碑が建立されたが、これを記念して制作されたＬＰである。ジャケットの裏面には、岡の妻であった佐々木清子による、顕彰碑建立に対する感謝の言葉が「昭和五十二年六月」の日付で綴られており、続けて次のように記されている。

> なお、お送りいたしますレコードは、岡が亡くなる一カ月前の昭和四十五年に、ラジオ関東に出演し、宇井昇（のぼる）さんと、上原げんと先生の想い出ばなしを語っている録音テープから編集させていただいたものです。皆様の前で、お話をする機会の少なかった岡の話しぶりをお聞きいただければと思いまして、ラジオ関東様の御厚意により、レコード化いたしました。御一聴いただきますようお願い申し上げます。

また、ＬＰレーベルには「岡晴夫記念碑建立にあたり　岡晴夫大いに語る　～ラジオ関東「あの唄、この人」より～」とクレジットされている。



Ｃ氏所蔵

曲目は次表のとおりで、Ａ面の出だしでは「ゴンドラの唄」のメロディーが流れるのに合わせて、宇井昇による**「過ぎ去りしものは皆美しく、繋がる思い出は懐かしいもの。人の子が生きて踏み越える哀感の讃歌に果てしなく繰り広げる命の踊り。そしてその陰にはいつもどこでも必ず歌がありました。呼びて帰らぬ過ぎにし青春の郷愁、『この歌あの人』**という口上が添えられている。

収録時間はＡ面が１１分強、Ｂ面が９分弱の両面で２０分ほど。

	Ａ面	Ｂ面
1.	東京の花売娘	東京の花売娘
2.	上海の花売り娘	逢いたかったぜ

収録時間が短いということもあるが、わずか４曲しか収録されておらず、メインは岡晴

夫と宇井昇の語りにある。また、（２）の東海林太郎のカセットテープとは異なり、昭和４５年３月の第７１回～７２回の放送分から抜粋して制作されたものであることが明確である。

5　おわりに

5 おわりに

「この歌あの人」の放送記録作成に当たっては、新聞のラジオ欄によるところが大きく、特に近畿放送のみでの放送となった昭和４７年４月の第１７８回以降は京都新聞のみが頼みの綱となった。よって、特にこの時期の放送記録は不明な点が多く、やむを得ず空欄の面積が大きくなってしまった。「放送全記録」と呼ぶには程遠いため、本誌のタイトルは単に「放送記録」としている。

本来であれば、もっと調査を進めてからアウトプットすべきだという意見もあろうが、アウトプットすることで読者の皆様からご教示いただける情報が多々あるだろうと思い、今回世に出すこととした。「この歌あの人」の放送記録はこれで完結ではなく、あくまでも「初版」という位置づけである。この番組に関する情報をお持ちの方は、何卒筆者にご教示願いたい。

また、第３章「放送記録」の「放送概要」欄は、主に中日新聞と京都新聞のラジオ欄の記述を元にしているが、この記述内容に事実誤認が時々見受けられた。例えば、第６９回の放送内容を記した昭和４５年３月１０日付京都新聞朝刊の記事には、青葉笙子が「鴛鴦道中」を上原敏と歌ったのは昭和１４年と記述されているが、正しくはこの歌が収録されたレコードの発売年は昭和１３年である。このように記述誤りに気がついた場合には適宜修正を加えたが、気がつかないままの箇所が多々あるかもしれない。こちらについても、何卒筆者にご指摘願いたい。

本誌作成に当たっては、Ａ氏・Ｂ氏・Ｃ氏の３氏から貴重な資料をご提供いただいた。Ａ氏からは木村孝雄自費制作ＬＰ同封③・④のご提供、及び最終回の録音音源をお聞かせいただいた。Ｂ氏からは『わが想い出と歌ごころを語る　不滅の名歌手　東海林太郎』のカセットテープを、Ｃ氏からは『岡晴夫大いに語る』のＬＰをそれぞれご提供いただいた。３氏からのご協力がなければ本誌は完成しなかった。謹んで感謝申し上げます。

シンポ工業提供「この歌あの人」放送記録（初版）
発　行　者：近藤　博之（http://www.natsumero.info/）
発　行　日：令和４年３月１２日
著　　　者：近藤　博之
Ｅ－ｍａｉｌ：luckandsun@gmail.com
ホームページ：http://www.natsumero.info/